

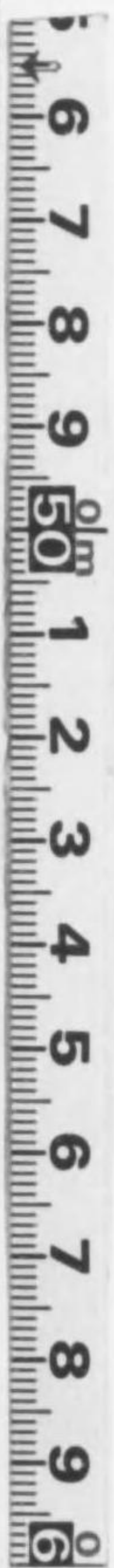
317
984

317-984
1200501372906

福岡縣立
圖書館
和漢圖書增加目錄

自昭和十二年四月至昭和十三年三月

同館編



始



317

984

昭和十四年二月

福岡縣立圖書館 和漢圖書增加目錄

自昭和十二年四月
至同十三年三月

福岡縣立圖書館

昭和十四年二月



和漢圖書增加目錄



自昭和十二年四月
至同十三年三月

福岡縣立圖書館

317
984



福岡縣立
圖書館

和漢圖書增加目錄

(自昭和十二年三月
至昭和十三年四月)

凡 例

- 一、本目錄ハ昭和十二年四月ヨリ昭和十三年三月ニ至ル本館増加ノ和漢圖書ヲ収録ス
- 一、本目錄ハ既定ノ本館分類ニ從ヒ編纂セリ
- 一、一書ニシテ兩様ニ分類シ得ベキモノ又叢書類ノ如キモ複出ハ省略セリ
- 一、圖書ニハ頁數ヲ記入シテ圖書ノ厚薄ヲ知ルニ便ナラシム

昭和十四年二月

福岡縣立圖書館

目次

〇〇〇 總記

| | |
|-----------|---|
| 〇一〇 圖書及書目 | 一 |
| 〇二〇 事彙 | 二 |
| 〇三〇 叢書 | 二 |
| 〇四〇 隨筆、雜書 | 四 |
| 〇五〇 雜誌 | 六 |
| 〇六〇 新聞 | 六 |
| 〇七〇 鄉土資料 | 六 |
| 〇八〇 少年圖書 | 六 |
| 〇九〇 貴重圖書 | 六 |
| 一〇〇 哲學 | 〇 |
| 一一〇 心理學 | 〇 |
| 一二〇 倫理學 | 二 |
| 一三〇 論理學 | 二 |
| 一四〇 支那哲學 | 三 |

二〇〇 教育

| | |
|----------------|---|
| 一五〇 宗教 | 三 |
| 一六〇 神書、神道 | 四 |
| 一七〇 佛教 | 四 |
| 一八〇 基督教 | 六 |
| 一九〇 雜教 | 六 |
| 二〇〇 教育 | 八 |
| 二一〇 教育學 | 九 |
| 二二〇 實地教育 | 九 |
| 二三〇 普通教育 | 三 |
| 二四〇 師範教育 | 三 |
| 二五〇 高等教育 | 三 |
| 二六〇 特殊教育 | 三 |
| 二七〇 女子教育 | 三 |
| 二八〇 學校衛生、體育、遊戲 | 三 |
| 二九〇 社會教育 | 三 |

三〇〇 文學

- 三一〇 日本文學.....天
- 三二〇 國文.....天
- 三三〇 小說.....志
- 三四〇 支那文學.....壹
- 三五〇 歐米文學.....壹
- 三六〇 演說、論說.....商
- 三七〇 語學.....壹
- 三八〇 國語.....壹
- 三九〇 外國語.....天

四〇〇 歷史

- 四一〇 萬國史.....天
- 四二〇 東西洋史.....天
- 四三〇 日本史.....天
- 四四〇 外國史.....豐
- 四五〇 傳記.....豐
- 四六〇 地誌、紀行.....豐

五〇〇 法制

- 四七〇 萬國誌.....豐
- 四八〇 本邦誌.....豐
- 四九〇 外國誌.....豐
- 五〇〇 法制.....志
- 五一〇 國家學.....志
- 五二〇 法律.....志
- 五三〇 古代法制.....壹
- 五四〇 經濟.....商
- 五五〇 財政.....壹
- 五六〇 統計.....壹
- 五七〇 社會.....壹
- 五八〇 風俗.....天
- 五九〇 家政.....天
- 六〇〇 理學.....志
- 六一〇 物理學、化學.....志
- 六二〇 天文學、地文學.....志
- 六三〇 博物學.....志

六〇〇 理學

- 六四〇 數學.....空
- 六五〇 醫學.....商
- 六六〇 基礎醫學.....商
- 六七〇 臨床醫學.....壹
- 六八〇 治療法、養生法、健康法.....空
- 六九〇 獸醫學.....空

七〇〇 工學

- 七一〇 土木工程.....空
- 七二〇 機械工學.....空
- 七三〇 電氣工學.....空
- 七四〇 建築學.....充
- 七五〇 採鑛、冶金.....志
- 七六〇 造船學.....志
- 七七〇 航海.....志
- 七八〇 兵事.....志
- 七九〇 古代兵法及武藝.....志
- 八〇〇 美術.....志

九〇〇 產業

- 八一〇 書畫.....志
- 八二〇 圖案.....志
- 八三〇 寫真.....志
- 八四〇 彫刻.....志
- 八五〇 製版及印刷.....商
- 八六〇 蒔畫、漆器.....志
- 八七〇 音樂.....志
- 八八〇 諸藝、遊戲、娛樂.....志
- 八九〇 運動、競技、其他.....志
- 九〇〇 產業.....志
- 九一〇 農業.....天
- 九二〇 園藝.....志
- 九三〇 林業.....志
- 九四〇 畜產.....志
- 九五〇 畜產、漁業.....志
- 九六〇 蠶業.....志
- 九七〇 工業.....志

九八〇 商 業
 九九〇 交通、通信

福岡縣立圖書館和漢圖書增加目錄 (自昭和一二三年四月至同 一三三年三月)

〇〇〇 總 記

〇一〇 圖書及書目

| | |
|--|--------------------|
| 江戶古書研究叢書 奥川書房發行 昭和一二 第五卷 選擇古書解題水谷弓彦 (不附) | 一〇一〇—四三 |
| 出版年鑑 昭和一二年版 東京堂編 昭和一二 (一三四〇頁) | 一〇一〇—三〇 |
| 趣味の古書通話 附、古寫本 河原廣吉 昭和一二 (五〇三頁) | 一〇一〇—六七 |
| 解題 神宮文庫圖書解題 神宮文庫編 昭和九 (一四三頁) | 冊 分類 番號 一〇一一—四三 |
| 神宮文庫圖書解題 神宮文庫編 昭和九 (一四三頁) | 冊 分類 番號 一〇一二—五九 |
| 岩手縣立圖書館圖書目錄 第一五號 同館編 昭和一二 和漢洋書之部 (四二頁) | 一〇一二—五 |
| 大藏寺和漢圖書目錄 同館編 昭和一二 | 二〇二二—五 |
| 第二六册 昭和一二、四—同、一、三增加(三〇三頁) 同 索引(五〇頁) | 冊 分類 番號 一〇二二—四 |
| 大橋和漢圖書分類目錄 數學 竹內善作編 昭和一二 之部 (二二六頁) | 一〇二二—七 |
| 鹿兒島縣立圖書館和漢圖書目錄 同館編 昭和一二 宗教 哲學 教育之部 (二五三頁) | 一〇二二—二 |
| 慶應義塾圖書館和漢圖書分類目錄 同館編 昭和一二 第一卷 第一門 哲學宗教 第二門 教育 (三三三頁) | 一〇二二—一 |
| 神戶市立增加和漢圖書目錄 同館編 昭和一二 圖書部 昭和一二、四—同、一、二、三 (一四三頁) | 一〇二二—元 |
| 第二册 昭和一二、四—同、一、二、三 | 一〇二二—六〇 |
| 靜岡縣立英文庫 追加之部 同文庫編 昭和一二 和漢圖書目錄 第三(二五九頁) | 一〇二二—六〇 |
| 上海自然科學研究所 圖書雜誌分類目錄 昭和一二、一〇現在 (五七三頁) | 一〇二二—八二 |
| 大連和漢圖書分類目錄 大佐三四五編 圖書部 昭和一二、一〇現在 (五七三頁) | 九〇二二—六九 |
| 第一編 道錄 總記 (昭和一二、四—同、一、二、三) (五一六頁) | 一〇二二—三 |
| 第二編 同 宗教、哲學、教育 (昭和一二、四—同、一、二、三) (三〇三頁) | 一〇二二—四 |
| 第三編 同 文學、語學 (昭和一二、四—同、一、二、三) (四〇四頁) | 一〇二二—五 |
| 第四編 同 歷史、傳記、地誌 (昭和一二、四—同、一、二、三) (六六〇頁) | 一〇二二—六 |
| 第五編 同 政治、法律、經濟、財政、社會、家事統計 殖民 (昭和一二、四—同、一、二、三) (五二六頁) | 一〇二二—七 |
| 第六編 同 數學、理學、醫學、工業、軍事、美術、音 樂演藝、運動 (昭和九、一—同、一、二、三) (一一一頁) | 一〇二二—八 |
| 第七編 產業、交通、通信 (昭和八、一—二) (四三六頁) | 一〇二二—九 |
| 第八編 同 滿洲、蒙古 (昭和九、一—同、一、二、三) (七六頁) | 一〇二二—一〇 |
| 臺灣總督府和漢圖書分類目錄 同館編 昭和一二 圖書部 昭和一二、一〇現在 (二二六頁) | 一〇二二—一一 |
| 朝鮮總督府和漢圖書分類目錄 同館編 昭和一二 圖書部 昭和一二、一〇現在 (二二六頁) | 一〇二二—一二 |
| 通册 一 上卷 第一門 哲學、宗教 第二門 教育、社會 第三門 法律、政治 第四門 經濟、統計 (八六二頁) | 一〇二二—一三 |
| 通册 二 中卷 第五門 語學、文學 第六門 歷史、地理 (八二八頁) | 一〇二二—一四 |

帝國圖書館和漢圖書々名目録 同館編 昭和一二 二〇三二七
 第四編 シート(明治四五、一、大正一五、二) 増加 (一〇〇三頁)
 同 ナーワ(同) 増加 (八二七頁)
 天理圖書分類目録 増加(同館編(三三三頁)昭和一二 一〇三二七
 圖書分類目録 第一編(天理圖書館叢書第一編) 一〇三二七
 東京商工和漢圖書分類目録 同所編 昭和一二 改訂版 一〇三二八
 會所 同 昭和一二 改訂版 一〇三二八
 日本ポルトランドセメント 第二卷 小林行雄編 昭和一二 一〇三二九
 同業會議書目録 第二卷 小林行雄編 昭和一二 一〇三二九
 早稻田大學和漢圖書分類目録 (一〇) 傳記之部 同館編 一〇三三〇
 圖書分類目録 (二〇) 傳記之部 同館編 一〇三三〇
 〇一三 雜 目 冊 分類 巻
 金澤文庫本圖録 岡崎編 昭和一二 二〇三三七
 官廳刊行圖書目録 自第四〇號 内閣印刷局編 昭和一二 二〇三三九
 至第四三號 一〇三三七
 孔夫子に圖書展覽會目録 天津日本圖書館編 一〇三三七
 關係ある圖書展覽會目録 (一七枚) 一〇三三七
 長崎高等商業 同研究館編 昭和一二 一〇三三七
 學校研究館資料目録 (二) 同研究館編 昭和一二 一〇三三七
 〇一〇 事 業 冊 分類 巻
 國民教訓辭典 佐伯常善監修 國民修養會編 一〇〇〇三〇
 百科辭典 (一七四二頁) 昭和一二 二〇〇〇二
 國民百科大辭典 富山房編纂部編 昭和一二 二〇〇〇二
 第三卷 はんあみらん 別巻 地回 一〇〇〇三
 支那學藝大辭彙 (近藤 登 昭和一二) 一〇〇〇三
 (二四四六頁) 一〇〇〇三
 〇一一 日本人叢書 冊 分類 巻
 朝日年鑑 昭和一三年版 大道弘編 昭和一二 一〇〇〇一
 (九九二頁) 一〇〇〇一
 國民年鑑 昭和一三年版 風井金之助編 昭和一二 一〇〇〇一
 (九五〇頁) 一〇〇〇一

時事年鑑 昭和一三年版 同館通信社編 昭和一二 一〇〇一一
 (八三八頁) 一〇〇一一
 東奥年鑑 昭和一二年版 東奥日報社編 昭和一二 一〇〇一一
 (六九六頁) 一〇〇一一
 每日年鑑 昭和一三年版 大毎・東日新聞社編 昭和一二 一〇〇一一
 (六三九頁) 一〇〇一一
 〇一〇 叢 書 冊 分類 巻
 世界大思想全集 春秋社發行 昭和一二 四〇〇〇一
 第二卷 國法學の主要問題(中)(ハンス・ケルゼン著・武井武夫譯) 四〇〇〇一
 第三卷 同 (下の一)(同) 四〇〇〇一
 第二卷 經濟學原理(中)(J.S.ミル著・高橋高三譯) 四〇〇〇一
 第三卷 社會分業論(下)(デュルケム著・山崎早市編) 四〇〇〇一
 〇一一 日本人叢書 冊 分類 巻
 海舟全集 藤安辰海舟著 海舟全集刊行會編 昭和一二 九〇三二八
 第一卷 開國起原(上) 第二卷 開國起原(下) 九〇三二八
 第三卷 吹上(上) 第四卷 吹上(下) 九〇三二八
 第五卷 吹上(下) 第六卷 陸軍歴史(上) 九〇三二八
 第七卷 陸軍歴史(下) 第八卷 海軍歴史 九〇三二八
 第九卷 海軍日記 續の英の記 編 九〇三二八
 解 九〇三二八
 古典保存會本 同會發行 昭和一二 五〇三二八
 拾芥抄(一九枚) 五〇三二八
 拾芥抄(一九枚) 五〇三二八
 古事記下卷(四四枚) 五〇三二八
 指掌録(五六枚) 五〇三二八
 和泉式部日記(六〇枚) 五〇三二八
 新興日本叢書 日本青年館發行 昭和一二 三〇三二八
 第七卷 新興日本の教育(阿部重孝) 三〇三二八
 第二卷 青年如何に生くべきか(田澤義雄) 三〇三二八
 第三卷 新興村の基調(那須浩) 三〇三二八

神典索引 橋本直一郎監修 大倉精神文化研究所編 一〇三二七
 (三九六頁) 昭和一二 再版 一〇三二七
 鈴木重胤全集 穂積重胤撰 樹下快淳編 昭和一二 一〇三二八
 第一卷 日本書紀傳一 (七一〇頁) 一〇三二八
 仙臺叢書 同刊行會編 昭和一二 三〇三二五
 續第四卷 伊達世臣家譜 第三輯 三〇三二五
 同第五卷 同 第四輯 三〇三二五
 同第六卷 同 第五輯 三〇三二五
 日本古典全集 正宗敦夫編校訂 昭和一二 一四〇三二五
 第五期 一四〇三二五
 第四期 國史草木昆蟲攷 附 活龍丹敷 一四〇三二五
 第五期 古名錄索引 一四〇三二五
 第六期 書目集録 一四〇三二五
 第一期 近代著述目録 後編 一四〇三二五
 第二期 近世書目集録 上巻 一四〇三二五
 第三期 地下家傳 (一一七) 一四〇三二五
 第四期 結婚遺具圖集 下巻 附 同索引 一四〇三二五
 第五期 地下家傳 (八一三) 一四〇三二五
 第六期 温古〇堂 一四〇三二五
 第七期 本草通串(一) 一四〇三二五
 第八期 本草通串(二) 一四〇三二五
 第九期 地下家傳 (一四二〇) 一四〇三二五
 第十期 類案名義抄 佛上 佛中 一四〇三二五
 第十一期 地下家傳 (二二二六) 一四〇三二五
 乳井貢全集 中道等校訂 乳井貢顯彰會編 昭和一二 四〇三二六
 第一卷 志學幼辨 大學文官解 上下 (丁子翁註) 四〇三二六
 第二卷 周禮通用 應分志 應分志 上下 四〇三二六
 經國廣量 度量分數 節用則 國家財政 糧量問答 四〇三二六
 向家利道 無名題 四〇三二六
 第三卷 太極圖說 象數 易象 夫貞制 四〇三二六
 定分錄 王制刊權之方 王制刊權方 利權主客之位 四〇三二六
 陸稻記 損益指掌 年穀多寡節用 期月而已可 四〇三二六
 通財一事凡例 得失問答 制地考 檢地法 四〇三二六
 檢地政 城制法 城制規矩 四〇三二六

第四卷 丁見新編日圖解 圓術算法方圓傳 初學算法 一〇三二六
 初學算法 圓中算要 版圖 五島論 津輕名臣傳 一〇三二六
 深山惣次 可樂詠詩集 餘錄 一〇三二六
 富士谷御杖集 國民精神文化研究所編 昭和一二 一〇三二六
 第二卷 神典七神三段奥呂 神典言室 神典學要 開國論 一〇三二六
 五歌三差辨 吟南辨乃異則 歌道非唯抄 一〇三二六
 源氏物語に關する序 三和讃ともしひ 眞言辯 一〇三二六
 北邊顯顯 百人一首燈(草稿) 百人一首燈 一〇三二六
 神樂備馬樂燈 大鼓燈 一〇三二六
 室伏高信全集 同人著 昭和一二 一〇三二六
 第二卷 上に還る 農民の書 第三卷 日本論、先は東より 一〇三二六
 第七卷 支那論、支那論記 第八卷 論語、孔子 一〇三二六
 第二〇卷 結婚の書、女性の書、現代文明講話 一〇三二六
 第三卷 三澤村日記、山の小屋から 一〇三二六
 第三卷 青年の書、現代の書 第四卷 續青年の書、新英雄傳 一〇三二六
 第五卷 南進論、戰爭論 一〇三二六
 〇一二 支那人叢書 冊 分類 巻
 大魯迅全集 支、魯迅著 昭和一二 七〇三二五
 第一卷 小説集(井上紅梅等譯) 七〇三二五
 第二卷 散文詩、回憶記、歷史小説(鹿地亘譯) 七〇三二五
 第三卷 隨筆、雜感集(一)(鹿地亘譯) 七〇三二五
 第四卷 隨筆、雜感集(二)(鹿地亘譯) 七〇三二五
 第五卷 隨筆、雜感集(三)(鹿地亘譯) 七〇三二五
 第六卷 文學史研究(增田涉、松枝茂夫共譯) 七〇三二五
 第七卷 書簡、日記、附、年譜傳記(小田眞夫、鹿地亘共譯) 七〇三二五
 〇一三 西洋人叢書 冊 分類 巻
 厚生新編 佛、ノエル・ショモール著 藤、デ・シャルモット譯 一〇三二七
 馬場貞由外六名譯 貞松修編 (八八六頁) 昭和一二 一〇三二七
 ヘレン・ケラー全集 米、同人著 岩橋武夫等譯 昭和一二 一〇三二七
 第四卷 私の宗教外二篇 一〇三二七

〇四〇 隨筆、雜書

〇四一 日本人隨筆

- 晶子隨筆集 (奥野晶子 昭和一二 再版 (四五四頁)) 一〇四一三七八
- 一日の放樂 (森田章平 昭和一二 (三七四頁)) 一〇四一三七七
- 糸魚川より (相馬御風 昭和一二 (三五二頁)) 一〇四一三八四
- 思ひ出草 (岡本倫堂 昭和一二 (二五九頁)) 一〇四一三八四
- 回廊集 (呼谷善四郎(水哉) 昭和一二 (三八〇頁)) 一〇四一三九三
- 垣隣り (宮城道雄 昭和一二 (三七〇頁)) 一〇四一三六九
- 探訪隨筆 (金田一京助 昭和一二 (三一七頁)) 一〇四一三六五
- 残響 (兼常清佐 昭和一二 (四二二頁)) 一〇四一三六三
- 隨筆貞女 (森田たま 昭和一二 (三三一頁)) 一〇四一三六八
- 禪味 (江原小彌太 昭和一二 (四五九頁)) 一〇四一三七九
- 俗人語録 (譯(實費)水升榮藏) 昭和一二 (二九〇頁)) 一〇四一三七七
- 續村里生活記 (結城京太郎 昭和一二 (四〇七頁)) 一〇四一三九五
- 續もめん隨筆 (森田たま 昭和一二 (三二五頁)) 一〇四一三五二
- 電波に聴く (成澤治用 昭和一二 (三八八頁)) 一〇四一三九〇
- 東西雜記帳 (笠岡早雄 昭和一二 (二四五頁)) 一〇四一三六〇
- 舶來雜貨店 (藤子文六 昭和一二 (三二四頁)) 一〇四一三七三
- 讀ひなたぼこ (讀(實費)水) 昭和一二 (三二五頁)) 一〇四一三九四

冊 分類

- 放送懺悔 (水田秀次郎(青嵐) 昭和一二 (二六二頁)) 一〇四一三七六
- 方便語録 (藤田謙 昭和一二 (三四六頁)) 一〇四一三七二
- 凡人非凡人 (澤田謙 昭和一二 (三九四頁)) 一〇四一三九一
- 股旅の跡 (長谷川伸 昭和一二 (三三七頁)) 一〇四一三六八
- 華南の窓 (辰野隆 昭和一二 (二七二頁)) 一〇四一三八一
- 無限を想ふ (松岡謙 昭和一〇 (五五二頁)) 一〇四一三九五
- 研究と瑪蘭樹 (太宰龍門 昭和一二 (三五八頁)) 一〇四一三六九
- 面とベルツナ (和辻哲郎 昭和一二 (二九七頁)) 一〇四一三五二
- 隨筆森の小徑 (若山秋水 昭和一二 (三五四頁)) 一〇四一三七一
- 駱駝行 (室生犀星 昭和一二 (三一〇頁)) 一〇四一三六六

〇四三 日本人雜書

- 學問及び學者 (鈴木海四郎 大正一〇 (四八三頁)) 一〇四一三七二
- 來るものの爲に (吉岡彌生 昭和一二 (三二八頁)) 一〇四一三七二
- 九州帝國大學文學部十年紀念 (阿武京二郎編 昭和一二 (一〇七六頁)) 一〇四一三八〇
- 哲學史文學論文集 (阿武京二郎編 昭和一二 (一〇七六頁)) 一〇四一三八〇
- 宋明儒學に關する一考察 (楠本正繼) ルツツの國家論(中島慎一) 默照體験の意義(佐久間節) パルト神學の根本問題(佐野勝也) 學習過程に於ける禁止及び促進の問題(矢田部達郎) カント哲學に於ける道德的目的論の意義について(新開長美) 人格的社會的規定(田中 兎) 知覺的空間の構造に關する實驗的研究 第六報告(秋重義治)

冊 分類

- ハプスブルグ・ブルボン兩朝争亂時代 ナント敍令廢止前の時期に於ける北歐小國の動搖(長壽吉) 孫興の對外發展と遼東との關係(重松俊章) 便錢の請義を論じて唐宋時代に於ける制度の發達に及ぶ (日野岡三郎) 西大寺本金光明最勝王經の自註について(春日政治) 英和及び和美辭書の發注(明治二十一年迄)(野田實) 新たに發見されたクワイヌスト書翰について(小牧健夫) 梵詩ラッパンヘーラ和譯(小野島行忠) 愛言語によつて語る哲學(佐藤通次) 九州方言通則調査概要 附錄・接續助詞の「S」九州方言訛形分布(吉岡義雄) Montaigne et La Sagesse Extreme-Orientale (Saiichu Naruse) 虛妄の正義 (萩原朝太郎 昭和一二 (四四四頁)) 一〇四一三七六
- 事業學・人間學 (藤原銀次郎 昭和一二 (二七七頁)) 一〇四一三七七
- 史的素描 (西村真次 昭和一〇 (四〇九頁)) 一〇四一三五四
- 女性と教養 (小池秋草 昭和一二 (二九〇頁)) 一〇四一三七五
- 諸大名の學術と文藝の研究 (福井久藏 昭和一二 (八四〇頁)) 一〇四一三七三
- 世界奇話異聞集 (楠瀬正澄 昭和一二 (二四〇頁)) 一〇四一三七二
- 絶望の逃走 (萩原朝太郎 昭和一二 (二八六頁)) 一〇四一三六九
- 東京文理科大学紀要 同學編 昭和一二 (第二報(田中寛一) 第五卷 東洋諸民族ノ習俗ニ關スル比較研究 第三報(同人) 第五卷 東洋諸民族ノ習俗ニ關スル比較研究 第三報(同人) 新渡戸博士讀本 (矢内原忠雄編 昭和一二 (五二二頁)) 一〇四一三七三
- 日本文化最近二十年誌 (笠倉傳繁編 昭和一二 (五七八頁)) 一〇四一三八一
- 地誌 (獨見左吉雄) 國富と國民所得(青木得三) 産業貿易及交通(木村增太郎) 科學と發明(岡口八重吉)

松崎先生還曆祝賀紀念文集 (三三〇頁) 昭和一二 一〇四一三七九

- 教育と學藝(河原春作) 醫學と國民保健(北島多一) 國際情勢と我國の地位(林毅隆) 六朝古宮本神農本草經の殘缺に就て(黒田源次) 乾隆禁書考(杉村勇造) 轉機圖の研究(大谷健夫) 支那研究に於ける國際協働(伊藤武雄) 支那國民性に現れたる古代養生思想と攝法(守中 清) 總務司赫德(武藤運) 滿蒙の松(佐藤潤平) 奉天同善堂參照記(中山四郎) 書讀(新納元夫) 林旅漫吟(八木沼津雄) ことば(菱田世紀) 成人教育素描(上村哲彌) ジュアン・ブルニオンと其の業績(田口健) 跋(加藤新吉) 未見への出發 (三三〇頁) 昭和一二 一〇四一三七〇
- 武藏三十三年記念論文集 (商業と經濟第十八年第一册附録) 議事録に就て(濱田耕作) 長崎と米地及び置齊(市河三喜) ベナーとゴロントの生涯(藤本幸太郎) 通商政策と通商條約(川島信太郎) 孔子の經濟思想(田崎仁義) Some Early Portuguese Hills of Ladang, 1625-1708 (Captain C. R. Boxer) Chinese Literary Music and its Introduction into Japan (Dr. R. H. van Gulik) 晚香玉(新村出) 經濟の課題と學名(梅田政勝) 鐵道と自動車との調整(田中喜一) 長崎經濟史の若干考察(馬場 誠) ビール委員會(一八二六年)に於けるロバート・オースン (伊藤久秋) 年齡構成の變化と其意義(塚原七) 景品の意義に關し大審院の判決に就いて(堀部瑞雄) ランゲル信用と我貿易金融の改善(奥田唯輔) 保險の基本觀念に關する若干の考察(藤川弘) 租稅轉讓と租稅作用(松野實香) 原價計算の任務としての「經營處理」に就て(山邊六郎) 家族關係に現れたる切支丹の生活(小山 隆) 武藏教授略年譜 同著作論文目録

流線形 (限部一編 昭和一二
(二八五頁))

〇六〇 新聞

動くジャーナリズム (四五本八部 昭和一二
(三六〇頁))
新聞業界思出断 (湯澤清司述 藤田健造編 昭和一二
五十五年 (一五六頁) 寫眞版二六枚)
日本歐字新聞雜誌史 (尾原八郎 昭和九
(二九八頁))

新聞明治編年史 中山泰昌編 昭和一〇一一
集成 (第六卷 歐化政治期(明治一八年—二〇年)
第七卷 憲法發布期(明治二一年—二三年)
第八卷 國會擴張期(明治二四年—二六年)
第九卷 日清戰爭期(明治二七年—二九年)
第十卷 東洋問題多難期(明治三〇年—三二年)

〇七〇 郷土志料

吉支丹丹記録集書 寫本 別名、吉利支丹御改之次第
黒田藩浦方心得書 寫本 別名浦方心得三ヶ條(一九枚)
黒田藩御目付仰付書 寫本 (一一枚)
黒田藩表諸用日記要事抜書 自安永四年 寫本
黒田藩御山奉行連續記 自元禄一七年 寫本(一六枚)
黒田藩心得書 寫本
黒田藩校學規譯文 寫本 (二三枚)
黒田藩御法令三ヶ條廣義 寫本 (一三枚)

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for the items above.

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for items like 黒田藩七年御定書, 黒田藩長崎御番記録, etc.

〇七一 哲學、宗教

沖津宮 橋掛正木編 昭和三
(八三頁)

奥津宮大略(具原常春)
助八日記(寺柳博信)
宗廟神社沖津宮日記抄
紀元二千五百八十四年宗廟神社に参りける時に(見克彦)
浪津島紀行
沖津宮誌(建部運吾)
宗廟三女神座次第考(尾田茂丸)
沖島參拜雜感(高松四郎)
考古學上より見たる奥津宮(津津公憲)
所感(川島澄之助、津津次郎)
詞藻(諸家)
沖ノ島運徳計畫に就き(附録)(吉田重夫)

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for items above.

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for items like 甲子吟社詩鈔, 仙厓和尚遺稿, etc.

〇七四 傳記及各家著述

宗像宮御社參事記 寫本
宗像大宮司系圖 寫本「寶延四年辛未松原正通寫」
宗像系傳抄、宗像事跡抄(一〇枚)

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for items above.

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for items like 梅野多喜藏先生, 益軒年記, etc.

〇七二 教育

九州帝國大學一覽 昭和一二年度 (同學編 昭和一二
(六二九頁))
更生職業の全村學校 福岡縣社會教育課編 昭和一二
論上にある (一〇二頁)
造賀郡水巻村 宗像郡勝浦村
福岡高等學校一覽 第一六年度 (同校編 昭和一二
(二二四頁))
福岡高等商業學校一覽 自昭和一二 (同校編 昭和一二
(一五五頁))
福岡市立高等實業青年學校經營要覽 同校編
官教育の建設 有田喜太郎著 福岡市立學校編
(三四五頁) 昭和一二改訂增補

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for items above.

Table with 2 columns: 冊 分類 番號. Lists book numbers and categories for items like 黒田家舊記, 黒田重時ニ送書, etc.

佐久間種二行書
 調雲集二行書
 神武必勝論 平野國臣 寫本 (三〇枚)
 征西將軍宮と五條氏 福岡縣教育會編 昭和一一
 關家譜 寫本 (七七枚)
 楚辭 寫本 (七四枚)
 男爵團琢磨傳 上、下 同傳記編纂委員會編 昭和一三
 (上六二四頁、下六四六頁)
 筑後郷土史家小傳 筑後史談會編 昭和一〇
 (三二頁)
 筑後人物便覽 筑後史談會編 昭和一〇
 (四三三頁)
 繼高公御行狀 寫本 (二二枚)
 頭山滿翁一代記 薄田新雲 昭和一二 (三二八頁)
 讀辨道 龜井昭陽 寫本 (二九枚)
 黒田長野氏日記 一、二 自元祿八年(一七〇一年)至正徳五年
 中野南強四行書
 中村水城二行書
 西秋谷三行書
 直方考及御家中分限帳 稿本 舌間宗益 (一一四枚)
 寛政元年加藤一純ノ序アリ
 萬丈東堂老師二行書
 藤田謙三郎二行書
 松田矯巴園二行書

一〇七四一〇三九
 一〇七四一〇四三
 一〇七四一〇五八
 一〇七四一〇七五
 一〇七四一〇六一
 一〇七四一〇六〇
 一〇七四一〇七三
 一〇七四一〇七一
 一〇七四一〇七二
 一〇七四一〇七三
 一〇七四一〇六六
 一〇七四一〇五五
 一〇七四一〇五九
 一〇七四一〇六四
 一〇七四一〇四八
 一〇七四一〇四四
 一〇七四一〇五二
 一〇七四一〇六二
 一〇七四一〇五〇
 一〇七四一〇三八

水野疎梅書並贊
 宮小路浩潮二行書
 村山伯敬書並贊
 吉富杏村竹ノ書
 吉富半村二行書
 烈士鐘崎三郎 納戸鹿之助 昭和一二 (一一三頁)
 同
 渡邊一翁(永壽道人)一行書
 〇七五 法制、經濟、統計、社會
 社會習慣演義 松田敏足(豊田編) 明治三五
 (一一二頁)
 博多津中町數軒數覺 寫本 (二八枚)
 昭和 福岡縣統計書 福岡縣編 昭和一二
 第一編 行政 第二編 學事 第三編 勸業
 第四編 警察衛生ノ内(衛生)
 明治 福岡縣統計表 福岡縣編 明治一五
 (一〇五枚)
 〇七六 理學、醫學
 英彦山の鳥 安部幸六 昭和一二 (五七頁)
 氣象解說 福岡調候所編 昭和一二 (三九頁)
 福岡縣災異誌 福岡調候所編 昭和一一
 (三二圖、二六六頁)

一〇七四一〇四二
 一〇七四一〇四〇
 一〇七四一〇四七
 一〇七四一〇四六
 一〇七四一〇四五
 一〇七四一〇五六
 一〇七四一〇五六
 一〇七四一〇四一
 一〇七五一一〇三
 一〇七五一一〇四
 一〇七五一一〇五
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六

〇七七 工學、兵事
 福岡鐵山鑛區一覽 昭和一二、七、現在 (同局編 昭和一二
 管局管内) (一四九頁)
 福岡縣工場鑛山大觀 昭和一二年度 福岡縣鑛工聯合會編
 昭和一二 (四七八頁)
 〇七八 美術、諸藝
 宮小路浩潮法帖 明治一七
 〇七九 産 業
 昭和 産業組合要覽 附、負債整理組合 福岡縣産業組
 一〇年 昭和一二 合併編
 博多築港記念大博覽會誌 同會協賛會編 昭和一二
 (八一圖、四二二頁)
 福岡縣商工人名錄 堺 勝太郎 昭和一二
 (一五二頁) (九州産業大觀附録)

冊 分類 番號
 一〇七七—八
 一〇七七—三
 冊 分類 番號
 一〇七六—二六
 冊 分類 番號
 一〇七九—四二
 一〇七九—四三
 一〇七九—四六
 一〇七九—四六

英彦山の鳥 安部幸六 昭和一二 (五七頁)
 氣象解說 福岡調候所編 昭和一二 (三九頁)
 福岡縣災異誌 福岡調候所編 昭和一一
 (三二圖、二六六頁)

一〇七五一一〇三
 一〇七五一一〇四
 一〇七五一一〇五
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六
 一〇七五一一〇六

100 哲學

- 現象學派の美學 (大西克禮 昭和一二) 冊 分類 叢書
- 現代哲學十二講 (金子馬治編 昭和一二) 一〇〇一七六
- 真理原理論 (曾天從 昭和一二) 一〇〇一七六
- 數理哲學 (兒山敬一 昭和一二) 一〇〇一七六
- ソルゲ 創造の哲學 (坂田徳男 昭和一二) 一〇〇一七三
- 哲 學 (三田哲學會編 昭和一二) 一〇〇一七三
- 第一七輯
- 教論派の實有論(山本快徳)
- プラトン「メノン」研究(星野重顯)
- 宗教の社會學的特質(向井眞一)
- シュライエールマツヘルの美學について(江口正二)
- 色彩の記憶價值に關する一實驗的研究(小島福)
- 第六輯
- 「歴史的なるもの」の本質(川合貞一)
- ゼンタイレの哲學(青木原)
- 存在の論理學(松本正夫)
- 形體の複雜性と其の把握時間(金子秀樹)
- ベルゲ 道徳・宗教の二源泉 (佛、H・ベルグソン著 昭和一二) 一〇〇一六八
- ツラアラツクス トラー (獨、ニリチエ著 登壇信一郎(竹風)譯) 一〇〇一七〇
- ニイチエ論攷 (齊藤兼太郎 昭和一二) 一〇〇一七〇
- 日本哲學への道 (寺田彌吉 昭和一二) 一〇〇一七〇
- 人間と哲學 (佛、ゲオルグ・クルーネル著 杉山英樹譯 昭和一二) 一〇〇一七〇
- 如是説法 (獨、ニリチエ著 登壇信一郎(竹風)譯) 一〇〇一七〇
- ツアラツクス トラー (獨、ニリチエ著 登壇信一郎(竹風)譯) 一〇〇一七〇
- ルソー 人生哲學 (廣瀬哲士譯 昭和一二) 一〇〇一七〇

101 叢 書

- 西哲叢書 弘文堂發行 昭和一二 冊 分類 叢書
- 第七卷 デカルト(野田又夫)
- 第二卷 ヒューム(土井虎賢譯)
- 101 史 傳
- 西洋哲學史講話 (藤平武雄 昭和一二) 一〇〇一七三
- 103 論説、雜書
- 宇宙に於ける人間の地位 (獨、マックス・シュレーラー著 大島豊譯(一六九頁) 昭和一二) 一〇〇一七三
- 現代思想批判 (本莊可宗 昭和一二) 一〇〇一七三
- 遺言辭世の心境 (鳥影 昭和一二) 一〇〇一七三
- 日本の思想文化 (三枝博幹 昭和一二) 一〇〇一七三
- 人間の全貌と個人の型 (松井桂枝 昭和一二) 一〇〇一七三
- 微風ある精神史 (陶山 昭和一二) 一〇〇一七三
- 文化哲學の諸問題 (獨、シュブラング著 昭和一二) 一〇〇一七三
- 歴史的世界 (高坂正顯 昭和一二) 一〇〇一七三
- 110 心理學
- 女子青年期の心理と教育 (田村佐重 昭和一二) 一〇〇一七三
- 心理學要説 (小野島吉左雄 昭和一二) 一〇〇一七三
- 心理學發達史 (野島忠太郎 昭和一二) 一〇〇一七三

110 倫理學

- ディル 想像力の分析 (獨、ディルタイ著 徳水郁介譯) 一一〇一四三
- 日本心理學 種類別 (岸本惣吉 昭和一二) 一一〇一四三
- 人間理解の根本問題 (小野島吉左雄 昭和一二) 一一〇一四三
- イギリス自主精神の本質と起原 (池田 榮 昭和一二) 一一〇一四五
- 國民性及び時代思想 (永井 亨 大正一五) 一一〇一四五
- 114 雜 書
- 神 夢の科學 (吉田泰明子 昭和一二) 一一〇一四三
- 110 倫理學
- 文檢系統的倫理學 (松田友吉 昭和一二) 一一〇一四三
- 實踐倫理要論 (原 孝季 昭和一二) 一一〇一四三
- 道徳思想の研究 (小田 清 昭和一二) 一一〇一四三
- 道徳の原理 (吉田靜致 昭和九 七版) 一一〇一四三
- 軌近倫理の諸問題 (高峯一愚 昭和一二) 一一〇一四三
- 倫理學 上巻 (和辻哲郎 昭和一二) 一一〇一四三
- 113 修身及教訓、事蹟
- 建國由來と皇道政治 (大井一哲 昭和一〇) 一一〇一四三

110 倫理學

- 皇國體大義 (渡邊八郎 昭和八) 一一〇一四三
- 國體精神と教育 (今泉定助 昭和一二) 一一〇一四三
- 國體の本義 (文部省編 昭和一二) 一一〇一四三
- 國民精神讀本 (熊崎進翁 昭和一二) 一一〇一四三
- 國民精神文化研究 第四年 一―五 昭和一二 一一〇一四三
- 第二三册 社會主義的制度觀の批判其の一(山本勝市)
- 第二四册 體の意義と構造(西哲一郎、小島夏次郎)
- 第二五册 自認過程としての歴史(紀平正義)
- 第二六册 歴史觀(川合貞一)
- 第二七册 近世の國體論(河野者三)
- 古代日本精神文化の研究 (大西貞治 昭和六) 一一〇一四三
- 倫理學上 日本精神 (吉田靜致 昭和一二) 一一〇一四三
- 日本精神原論 (伊藤 祐 昭和一二) 一一〇一四三
- 日本精神實踐の訓練 (東 繁光 昭和一二) 一一〇一四三
- 日本精神史論 (高木武外 二名著 伊藤千眞三編) 一一〇一四三
- 日本精神生成史論 (近世篇) 鈴木重松 昭和一二) 一一〇一四三
- 日本精神讀本 (近世篇) 鈴木重松 昭和一二) 一一〇一四三
- 日本精神の作興と涵養 (友田宜剛 昭和一二) 一一〇一四三
- 大日本王道論 (龜岡保三(法尊) 昭和一二) 一一〇一四三
- 日本道徳要論 (伊藤千眞三 昭和一二) 一一〇一四三
- 日本道徳學 (木下 一 昭和一二) 一一〇一四三
- 我が國體より見たる 亦化思想の誤謬 (小倉隆備 昭和一二) 一一〇一四三

○ 教育勸語衍義集成 華岡信吉編 昭和一二
 教育勸語譯解(栗田寛、秋山四郎等)
 教育勸語の御精神(樋口勸治郎)
 論説集(栗田寛)

○ 精神新しき立身道 大槻憲二 昭和一二
 分析(三三三頁)
 上に立つ人の書 前波伸子 昭和一二
 (三三九頁)
 警句と名言 高橋福雄 昭和一二
 (一九八頁)
 健全生活の道 宗像逸郎 昭和一二
 (二七九頁)
 軍國此の精神 池澤由藏 昭和一二
 (三〇八頁)
 美談 今後の進み方 増田義一 昭和一二
 (三三八頁)
 新支配人學 前波伸子 昭和一二
 (三三三頁)
 人生叢書 金星堂發行 昭和一二
 第一編 チェーホフ微笑の責(中村白葉編)
 第二編 レル正義の責(淺見廣編)
 第三編 ユーゴー人生の責(小林龍雄編)
 第四編 カリライル人生の責(加藤一夫編)
 第五編 ハーディ人生の責(日高只一編)
 第六編 アラスコイバニエス人生の責(永田寛定編)
 第七編 ジョーベンハウエル人生の責(山岸光宣編)
 人生と幸福 井上一廣 昭和一二
 (三四五頁)

○ 一三二一六四
 人生は斯う悟れ 宮澤英心 昭和一二
 (三八一頁)
 すべて吾によし 江原小彌太 昭和一二
 (三五四頁)
 國民學將遺訓 高橋史光編 昭和一二
 (三〇五頁)
 青年と理想 安部磯雄 昭和一二 三版
 (三六三頁)
 青年の世界 清水龍太郎 昭和一二
 (二二八頁)
 日本は強し 大久保弘一 昭和一二
 (三三八頁)
 農商古訓 小瀧淳 昭和一二
 (二四二頁)
 本當に生きる道 椎尾辨區 昭和一二
 (二七四頁)
 物の見方考へ方 船川義介 昭和一二 一五版
 (二七六頁)
 世はなさけ 小瀧淳 昭和一二
 (二七九頁)
 私の處世法 牧野元次郎 昭和一二
 (二二六頁)
 吾等に覺悟ありや 江原小彌太 昭和一二
 (三五二頁)

○ 一三三三二七
 婦女鑑 上、中、下 西村茂樹編 大正五 六版
 (三三六頁)

○ 一三三三二七
 女武士道 熊田善城 明治四一
 (四三九頁)

○ 一三三三二七
 日本武士道の再吟味 齋藤要 昭和一二
 (三三一頁)

○ 一三三三二七
 論語葉隠讀本 山本常朝述 田代陣基編 昭和一二
 (二二二頁)

現代女性訓 德富紫一郎(蘇米) 昭和一二
 (二五八頁)
 嫁ぐ女性に捧ぐ 寺川幽馨 昭和一二
 (二〇四頁)
 母の感激 三田啓博 昭和一二 七版
 (二二五頁)
 母の書 市川龍三 昭和一二
 (一九〇頁)
 私の進言 高悦孝 昭和一二
 (三二二頁)

一三七 報徳教
 新興報徳教育 加藤仁平 昭和一二
 (四四〇頁)
 報徳讀本 宮西一積 昭和一二
 (一八九頁)

一四〇 支那哲學
 支那哲學總論 漢語を識る(德富紫一郎) 昭和一二
 思想を識る(宇野哲人) (二二二頁)
 儒教要典 聖部宇之吉編 昭和一二
 (二二二頁)
 儒教の精神 高田眞治 昭和一二
 (三〇八頁)
 東洋古典物語 柳田泉 昭和一二
 (四四七頁)

一四三 經 書
 樂記講義 藤生義輝 昭和一二
 (四五二頁)
 詩經國風篇研究 松野鶴雄 昭和一二
 (三四六頁)
 春秋左氏傳新講 島田約 昭和一二
 (五九一頁)
 民衆の孟子 西川光二郎 昭和一二
 (六四二頁)

一三五八七
 一三五九一
 一三五八八
 一三五八九
 一三五九〇
 一三五九一
 一三五九二
 一三五九三
 一三五九四
 一三五九五
 一三五九六
 一三五九七
 一三五九八
 一三五九九
 一三六〇〇
 一三六〇一
 一三六〇二
 一三六〇三
 一三六〇四
 一三六〇五
 一三六〇六
 一三六〇七
 一三六〇八
 一三六〇九
 一三六一〇
 一三六一一
 一三六一二
 一三六一三
 一三六一四
 一三六一五
 一三六一六
 一三六一七
 一三六一八
 一三六一九
 一三六二〇
 一三六二一
 一三六二二
 一三六二三
 一三六二四
 一三六二五
 一三六二六
 一三六二七
 一三六二八
 一三六二九
 一三六三〇
 一三六三一
 一三六三二
 一三六三三
 一三六三四
 一三六三五
 一三六三六
 一三六三七
 一三六三八
 一三六三九
 一三六四〇
 一三六四一
 一三六四二
 一三六四三
 一三六四四
 一三六四五
 一三六四六
 一三六四七
 一三六四八
 一三六四九
 一三六五〇
 一三六五一
 一三六五二
 一三六五三
 一三六五四
 一三六五五
 一三六五六
 一三六五七
 一三六五八
 一三六五九
 一三六六〇
 一三六六一
 一三六六二
 一三六六三
 一三六六四
 一三六六五
 一三六六六
 一三六六七
 一三六六八
 一三六六九
 一三六七〇
 一三六七一
 一三六七二
 一三六七三
 一三六七四
 一三六七五
 一三六七六
 一三六七七
 一三六七八
 一三六七九
 一三六八〇
 一三六八一
 一三六八二
 一三六八三
 一三六八四
 一三六八五
 一三六八六
 一三六八七
 一三六八八
 一三六八九
 一三六九〇
 一三六九一
 一三六九二
 一三六九三
 一三六九四
 一三六九五
 一三六九六
 一三六九七
 一三六九八
 一三六九九
 一三七〇〇

論語、大學、中庸 田中貢太郎 昭和一二 再版第二卷
 (五九七頁)
 一四四 儒 書
 論語、大學、中庸 田中貢太郎 昭和一二 再版第二卷
 (五九七頁)
 一四五 諸 子
 莊子 公田達太郎編 昭和一二
 卷之一 內篇 逍遙遊第一 齊物論第二 養生主第三
 卷之二 內篇 人間世第四 德充符第五
 卷之三 內篇 大宗師第六 應帝王第七
 哲學の方老子講義 齊藤要 昭和一二
 法による(四六〇頁)
 老子心解 岡田正三 昭和一二
 (二九六頁)

一四八 術 數
 赤ちやんの名付け讀本 熊崎健吉 昭和一二
 (三三八頁)
 古法易學實踐 加藤大祐 昭和一二
 (三三六頁)
 易とは何か 山口泰常 昭和一二 再版
 (三〇〇頁)
 易の根據と應用 「易經全文」 山口泰常 昭和一二
 解釋と占筮(六〇四頁)
 姓名の哲學 熊崎健吉 昭和一二
 (四五六頁)
 占筮の根本的研究 青木桂次郎(桂州) 昭和一二
 (二七三頁)
 迷信の話 神野岩三郎 昭和一二
 (三一九頁)

一五〇 宗 教
 迷信の話 神野岩三郎 昭和一二
 (三一九頁)

宗教の本質 (四、フナイニルバツハ著 高松 隆譯 (四六八頁))

一五二 神話 建國希臘物語 (前田長太(感賞) 大正元 神話(四四四頁))

一五三 雜書 光明祈願 (西田天香 昭和一二 二版 (二七六頁))

宗教日本の大自覺 (伊藤清信 昭和一二 「生長の家」の批判 (三五三頁) 昭和一二)

一六〇 神書、神道

一六三 神宮 大神宮物語 (中山朝之助 昭和一二 (二九六頁))

一六五 神名、神社 稻荷神社史料 第七輯 (同社事務所編 昭和一二 (八八八頁))

石清水八幡宮史 (同宮社事務所編 昭和一二 (六二〇頁))

榎原神宮御祭神記並御由緒記 (西内成徳編 明治三九 (二九頁))

田島氏文書 (尾崎久彌 昭和一二 (五八頁))

日本神社考 (神野岩三郎 昭和一二 (二九四頁))

明治神宮外苑志 (明治神宮奉賛會編 昭和一二 (五四六頁)(寫眞版一四六枚))

一六六 神道 將來の日本と神道の新使命 (清口駒造 昭和一二 (二〇六頁))

一六七 祭儀、祝詞、祓 祭政一致の本義 (津川敬武 昭和一二 (二二頁))

祭典略 (附、祭文例) (藤原朝臣宣隆撰 加茂縣主經春問 明治三二)

神社祭式行事作法精義 (大塚永一 昭和一二 (二六三頁、四八頁))

一七〇 佛 教

阿彌陀佛の研究 (次次慶輝 昭和一二 増訂改版 (五二〇頁))

忠孝の本義と佛教 (福島政雄 昭和一二 (一八九頁))

佛教思想物語 (増谷文華 昭和一二 (二三五頁))

一七二 史 傳 本化の信 (田中智學 昭和一二 (三二六頁))

新居日薩 (清水龍山編 昭和一二 (二四一頁)(圖版二四枚))

傳教大師 (堀入亮忠 昭和一二 (五四七頁))

道元 (非業壽成 昭和一二 (二四一頁)(日本全書第二九卷))

日蓮 (村上 信(浪六) 明治四二 四版 (三八四頁))

一六五—一七三 冊 分類 叢書

一五二—一五八 冊 分類 叢書

一五三—一六〇 冊 分類 叢書

一六三—一六五 冊 分類 叢書

一六五—一七二 冊 分類 叢書

一七二—一七三 冊 分類 叢書

日蓮聖人研究 第一、二卷 山川智徳 昭和四一—六

日蓮聖人傳十講 (山川智徳 大正二〇 (七五八頁))

日蓮門下高僧列傳 (馬田行啓 昭和一二 (六八四頁))

日本偉人信仰實傳 上、下 加藤隆一郎(唯堂) 昭和一二 人間としての日蓮聖人 (三〇七頁)

一七四 寺院、緣起

弘法大師御入定四國靈場寫真大觀 (中西惟清編 昭和九 一千百年記念(寫眞版)二七枚)

一七六 諸宗經典、論說疏釋

觀音經 附、法華經 (岡本かの子 昭和一二 (三七二頁)(佛敎經典を語る叢書)

觀音に生きたる道 (清水谷善照 昭和一二 三版 (四三五頁))

觀心本尊抄 四十五字 (山川智徳 昭和九 (二〇八頁))

南傳大藏經 高楠博士功績記念會編 昭和一二—二二

- 第一〇卷 中部經典二(于渴龍譯)
- 第一一卷下 阿(四)護邊樓譯
- 第一二卷 相應部經典一(赤沼智善譯)
- 第一八卷 增支部經典二(荻原雲來譯)
- 第一九卷 增支部經典三(荻原雲來譯)
- 第二五卷 小部經典三
- 續鬼事經(宮田愛道譯) 長老偈經(增水雲風譯)
- 長老尼偈經(增水雲風譯)
- 第三二卷 小部經典一〇(本生經五)立花俊道外三名譯)
- 第三四卷 小部經典一二(本生經七)高田修外二名譯)
- 第三六卷 小部經典一四(本生經九)立花俊道、高田修共譯)
- 第四一卷 小部經典一九

二七—二六二

一七—一六三

一七—一五九

二七—一五七

一七—一六三

冊 分類 叢書

一七—一五三

一七—一三七

一七—一三九

一七—一四一

一六—一三三

一六五—一七三 冊 分類 叢書

一五二—一五八 冊 分類 叢書

一五三—一六〇 冊 分類 叢書

一六三—一六五 冊 分類 叢書

一六五—一七二 冊 分類 叢書

一七二—一七三 冊 分類 叢書

無礙解讀二(渡邊照安譯) 佛種姓經(立花俊道譯)

所行藏經(松浦謙譯)

第四六卷 分別論一(佐藤密雄譯)

第四八卷 雙論一(渡邊照安譯)

第五〇卷 雙論二(山崎良順譯)

第五二卷 發趣論二(山崎良順譯)

第五四卷 發趣論三(山崎良順譯)

日蓮上人遺文大講座 小林一郎 昭和一二

第二卷 開目抄上

第三卷 開目抄下

第五卷 觀心本尊抄下

第八卷 鎌倉御書

第一卷 身延御書中

第二卷 法華經言影響事其他

身延御書下

法華經と日蓮上人

日蓮上人聖典の新解釋 (里見岸雄 大正九 (二六八頁))

日蓮聖人乃教義 一名「妙宗大意」 (田中智學 明治四三 (七二六頁))

日蓮聖人の三大誓願 (田中智學 大正一二 (二七三頁))

日蓮聖人の實現の宗教 (山川智徳 昭和四 (三二二頁))

法然聖語讀本 (中村謙康 昭和一二 (三九八頁))

法然と親鸞の信仰 (倉田百三 昭和一二 (五〇五頁))

法華經讀誦の功德は (笠谷日賢 昭和一二 再版 如何にして起るや (二六四頁))

法華經の研究 一名、法華經の研究 (里見岸雄 大正一三 (七〇〇頁))

本化聖典解題提要「通論」 (山川智徳 大正一二 (二四一頁))

本化攝折論 (田中智學 明治四四 (二二二頁))

一七—一三三

一七—一三三

一七—一三三

一七—一三三

一七—一三三

一七—一三三

一七—一三三

一七—一三三

一七—一三三

- 本佛の三徳 (田中智學 大正一一) 一〇一六―一〇一五
 立正安國論講義 (了義日達 吉澤孝順編 二七三頁) 大正一〇 三版 一〇一六―一〇一〇
 和譯法華經 (山川智應 明治四五) 一〇一六―一〇一八
 一七七 佛教諸宗派、各宗全集 冊 終 巻 終
 三二七―二〇六
 禪の講座 井上哲次郎監修 昭和一二 一〇一七―一〇一
 和利彦編 第二卷 禪の本義 第一卷 禪の概要 第五卷 禪的生活 二〇一七―一九九
 禪の隨筆 (問答集) 昭和一二 一〇一七―一〇一四
 禪道と儒道 上、下 釋敬俊(大層) 昭和一二 一〇一七―一〇一四
 禪問答 (清水芳巖) 昭和一二 一〇一七―一〇一七
 日蓮主義教學大觀 (自第一卷 田中智學述 至第五卷 山川智應編 大正一四―昭和二二) 一〇一七―一〇一七
 日蓮主義の新研究 (里見厚雄 大正一八) 一〇一七―一〇一七
 日蓮主義の文化的研究 (星野武男(梅鑑) 大正一〇) 一〇一七―一〇一七
 日蓮聖人の言葉 (星野武男(梅鑑) 大正一四) 一〇一七―一〇一八
 日蓮聖人の宗教と其實踐 (里見厚雄 大正一〇) 一〇一七―一〇一七
 働さながら悟る (清水芳巖 昭和一二) 一〇一七―一〇一七
 般若臺禪話 (丘 球學 昭和一二) 一〇一七―一〇一七
 密教概論 (高神登昇 昭和一二 改訂増補) 一〇一七―一〇一七
 一七九 雜 書 冊 終 巻 終
 一〇一七―一〇一五
 一燈園と西田天香の生活 (福井昌雄 昭和一二) 一〇一七―一〇一五
 宗門之維新 (田中智學 明治四四) 一〇一七―一〇一五
 生死を越える道 (高光大船 昭和一二) 一〇一七―一〇一五
 日蓮聖人の足迹 (笠澤藍川 大正一二) 一〇一七―一〇一五
 身延に登りて (田中智學 大正一二) 一〇一七―一〇一四
 一八〇 基督教 冊 終 巻 終
 一〇一八―一〇一七
 アガベとエロオス (岡、A・ニイゲレン著 佐藤信雄譯) 一〇一八―一〇一七
 カルゲイン主義豫定論 (米、L・ボエトナリ著 田中剛二譯) 一〇一八―一〇一七
 宗教讀本 (實川豊彦 昭和一二) 一〇一八―一〇一六
 パウロの神學 (山谷省吾 昭和一二) 一〇一八―一〇一七
 プロテスタント S・H・ウエンライト著 昭和一二 一〇一八―一〇一七
 基督教の原理 中村 錦 雄 譯 一〇一八―一〇一七
 一八二 史 傳 冊 終 巻 終
 一〇一八―一〇一七
 基督教思想史 (高柳伊三郎 昭和一二) 一〇一八―一〇一六
 パウロ傳 (千葉勇五郎 昭和一二) 一〇一八―一〇一五
 ホワイト夫人略傳 (米、E・G・ホワイト著 昭和九) 一〇一八―一〇一五
 リヴィングストン傳 (政池 仁 昭和九) 一〇一八―一〇一五
 一八三 基 督 冊 終 巻 終
 一〇一八―一〇一三
 知られざる基督 (露、M・レジュコフスキイ著 實川豊彦共譯) 一〇一八―一〇一三
 聖典 附、註釋 一〇一八―一〇一三

- 新約聖書通論 (米、E・F・スコット著 原良三譯) 一〇一八―一〇一四
 同 一〇一八―一〇一四
 聖書教育學 (溝上茂夫 昭和一二) 一〇一八―一〇一五
 聖書と民族 (淺野順一 昭和一二) 一〇一八―一〇一七
 ものがたり聖書 (織田研一 昭和一二) 一〇一八―一〇一三
 一八八 論說、雜書 冊 終 巻 終
 一〇一八―一〇一七
 唯一の救済 (三七昌平 昭和一二) 一〇一八―一〇一八
 處世讀本 (實川豊彦 昭和一二) 一〇一八―一〇一七
 我等の信仰 (エミール・アールンハイム著 豊澤 登譯) 一〇一八―一〇一七

二〇〇 教育

- 海外發展教育の要諦 芹田完 昭和一二 一〇〇一六六
- 教育改革論 阿部重孝 昭和一二 一〇〇一六六
- 教育精神の研究 小西重直 昭和一二 一〇〇一六六
- 教育讀本 澤柳武太郎著 三浦善作編 昭和一二 一〇〇一六八
- 現今教育の重要問題 塚原政次 昭和一二 一〇〇一六八
- 校外教育十講 松本健哉 昭和一二 一〇〇一七〇
- 世界の教育の動きをみて 赤井未吉 昭和一二 一〇〇一七〇
- 國民精神と戦時及戦後の教育 中野八十八 昭和一二 一〇〇一七〇
- 日本學の根本問題 小野正康 昭和一二 一〇〇一七〇
- 日本教育の改造 新教育協會編 昭和一二 一〇〇一七〇
- 日本教育の史的新視野 原田實 昭和一二 一〇〇一七〇
- 日本近世教育機關の研究 中泉哲俊 昭和一二 一〇〇一七〇
- 民族教育 石三太郎 昭和一二 一〇〇一七〇
- 日本教育家文庫 北海道出版社發行 昭和一二 一〇〇一七〇
- 第二卷 北島鏡房(中村直勝)
- 第三卷 細谷正志(高須芳次郎)
- 第四卷 藤澤諭吉(伏見猛彌 阿部仁三)
- 第五卷 西村茂樹・杉浦重剛(海陸宗臣)
- 日本教育史資料書 國民精神文化研究所編 昭和一二 一〇〇一七〇

- 第一輯 教育事實史資料 第一編 上古 第三編 中古 一〇〇一七〇
- 第二輯 同 第三編 中世 一〇〇一七〇
- 第三輯 同 第四編 近世 一〇〇一七〇
- 第四輯 同 第五編 近世下 一〇〇一七〇
- 第五輯 同 第六編 最近世 一〇〇一七〇
- 二〇二 史 傳 一〇〇一七〇
- 教育史、教育學概論 獨・W・ディルキイ著 白根孝之譯 昭和一二 (三〇二頁) 一〇〇一七〇
- 教育通論 入澤宗壽 昭和一二 一〇〇一七〇
- 詳解西洋教育史 會田慶司 昭和一二 一〇〇一七〇
- 日本教育史 (英文) 昭和一二 (三六四頁) 一〇〇一七〇
- History of Japanese Education and Present educational system. by Kenleyside, H. and Thomas A. F. 1937. 一〇〇一七〇
- 松下專吉先生 岡功壽記念會編 昭和一二 一〇〇一七〇
- 二〇三 古代教育 一〇〇一七〇
- 師道の研究 武田勤治 昭和一二 (三〇四頁) 一〇〇一七〇
- 日本教育文庫 武田勤治編 昭和一二 一〇〇一七〇
- 吉田松陰教育選集 一〇〇一七〇
- 細井平洲教育選集 一〇〇一七〇
- 石田梅巖教育選集 一〇〇一七〇
- 伊藤仁齋、荻生徂徠教育選集 一〇〇一七〇
- 二〇四 教育制度 一〇〇一七〇
- 日本教育行政法 山崎星二 昭和一二 (三七六頁) 一〇〇一七〇
- 二〇五 學事報告、統計 一〇〇一七〇

- 日本帝國文部省年報 文部大臣官房文書課編 昭和一二 四二五—五
- 第五八年報 上、下(自昭和五、四 至同六、三) 第五九年報 上、下(自昭和六、四 至同七、三)
- 二〇六 學校案内 附學生、學校生活 一〇〇一七〇
- 帝國大學案内 昭和一三年版 帝國大學新聞社編 一〇〇一七〇
- 帝國大學入學摘要 附、入試問題集 文信社編輯部編 一〇〇一七〇
- 帝國大學年鑑 一九三七年版 帝國大學新聞社編 昭和一二 一〇〇一七〇
- 二〇七 受驗法、受驗問題 一〇〇一七〇
- 女子小學校教員入學檢定 中等教員社編 昭和八 一〇〇一七〇
- 女子專門學校入學檢定 一〇〇一七〇
- 獨學受驗案内 一〇〇一七〇
- 專檢、高小小學教育檢定 一〇〇一七〇
- 修身科問題模範解答集 高橋敏也共編 昭和一二 一〇〇一七〇
- 高校、專門學校、大學資料 其輪香村共編 昭和一二 一〇〇一七〇
- 入學試驗問題詳解 昭和一二年版 歐文社編 昭和一二 一〇〇一七〇
- 二〇八 論 說 一〇〇一七〇
- 青年教師に送る 松平傳治 昭和一二 (三〇六頁) 一〇〇一七〇
- 二〇九 雜 書 一〇〇一七〇
- 紙芝居の教育的研究 内山憲堂 野村正二 一〇〇一七〇
- 教育塔誌 帝國教育會編 昭和一二 (四四頁) 一〇〇一七〇
- 教育者と人生觀 高瀬 誠 昭和一二 (二〇七頁) 一〇〇一七〇
- 教育者の行く道 高瀬 誠 昭和一二 (二九八頁) 一〇〇一七〇

- 二一〇 實地教育 一〇〇一七〇
- 郷土教育學習指導案 郷土教育聯盟編 昭和一二 (三四四頁) 一〇〇一七〇
- 兒童生活と學習心理 波多野定治 昭和一二 三版 (三八〇頁) 一〇〇一七〇
- 小學教育能率増進の實際 阿上民祐 昭和一二 (二〇二頁) 一〇〇一七〇
- 生活學校の理想と經營 渡部政盛 昭和一二 (三三五頁) 一〇〇一七〇
- 二一一 兒童心理、兒童研究 一〇〇一七〇
- 教育的環境學 山下 俊郎 昭和一二 (三二二頁) 一〇〇一七〇
- 子供研究叢書 日本兩親再教育協會發行 昭和一二 一〇〇一七〇
- 子供の病氣豫防手當講話(竹内廣長外五名)
- 子供の宗教々育道德教育講話(青木誠四郎外三名)
- 子供の體質と榮養(伊東祐彦外二名)
- 子供精神衛生身體衛生講話(田中寬一外三名)
- 子供心理學講話(倉橋惣三外三名)
- 兒童教育講座 義文閣發行 昭和一二 二〇二—六
- 第二卷 兒童の智能(久保良美)
- 第六卷 兒童と社會生活(鈴木 清)
- 兒童の精神構造と指導 久保良美 昭和一二 一〇〇一七〇

生活指導の日本教育 (和歌山縣師範學校附屬小學校編 (四九八頁) 昭和一二)

戰時體制の學校教育 (入澤宗壽監修 山崎博著 (三四五頁) 昭和一二)

士の勞作教育 (野尻重雄 昭和一二)

十六年低學年の全體學習 (渡邊唯雄 昭和一二)

日本教育方法の獨自性 (佐々木秀一 昭和一二)

體操・體藝の學校經營 (和島龜三郎 昭和一二)

四十年私の學校經營 (四四〇頁) 昭和一二)

二三一 管理、訓練

日本師道と學校訓育 (奈良靖 昭和一二)

私の訓育手帖 (久保田清 昭和一二)

二三二 教授、教授法

作業科教育の指導原理 (野尻重雄 昭和一二)

高等職業指導教材教授概論 (山崎博 昭和一二)

小學職業指導教材教授概論 (三三六頁) 昭和一二)

發聲教授の仕方、言ひ方 (阿保寛 昭和一二)

二三三 各科教授法

參觀各科教授法 (熊山重雄 昭和一二)

批評各科教授法 (三三〇頁) 昭和一二)

低學綜合教育 (川島次郎等 昭和一二)

最近文部省各科學視察復命書全輯 (川口勇編 昭和一二)

小學修身指導書 (小四 上巻 (四〇四頁) 昭和一二)

一三三二一四

修身教授と國民道德 (吉田熊次 昭和一二)

一三三二一四

○ 惠雨讀方教壇 (鹿田重之助 昭和一二)

教師のための口語法 (保科孝一 昭和一二)

國語解釋學 (藤部謙造 昭和一二)

國語教育基礎理論 (大場俊助 昭和一二)

兒童言語學 (菊池知勇 昭和一二)

小學國語讀本解説 (尋常科用巻 宮川菊芳編 八・九・一〇 昭和一二)

評註小學國語讀本原據集成 (香九、一〇 新田寬編 三・二・三 昭和一二)

小學國語讀本 編纂趣旨と取扱 (香九、一〇 教育新聞社編 昭和一二)

新讀本と綴方教育 (秋田喜三郎 昭和一二)

全日本子供の文章 (綴方學校編 昭和一二)

低學年讀方教育の新機構 (西原慶一、鹿田多喜雄 動力の國語教育 (三七六頁) 昭和一二)

日本國語教育概論 (竹澤義夫 昭和一二)

讀方教育大系 基文社發行 昭和一二)

第九巻 讀方教材の類型と指導 (佐藤徳市)

讀方指導過程の實驗的研究 (大場俊助 昭和一二)

○ 小學機械、器具、藥品精説 (桑原理助 昭和一二)

一三三三一四〇

教材化學 (山本俊二編 昭和一二)

新算術の空間學習指導法 (中野善一 昭和一二)

算術の指導原理 (渡邊野完治 昭和一二)

新算術教育要義 (藤原安治郎、石井和夫 昭和一二)

新算術指導原理 (落合徳市 昭和一二)

大正數學教育改造思潮 (算術教育研究会編 昭和一二)

○ 國史教育全體觀 (大松庄太郎 昭和一二)

小學地理書附圖の觀方と使ひ方 (新見清三郎 昭和一二)

新高等小學國史解説 下巻 (四五九頁) 昭和一二)

新國史教授法 (渡海正三 昭和一二)

○ 小學校に音樂指導精義 (近藤重一 昭和一二)

書方教育の新研究 (石川本魚 昭和一二)

學校略畫 (赤津隆助 昭和一二)

國畫學習指導原理 (三宮正雄 昭和一二)

裁縫學習原理 (酒井のぶ子 昭和一二)

一三三二一五

高等裁縫新教授書 第三學年用 (文部省 昭和一二)

裁縫隨想 (成田 昭 昭和一二)

二三四 手工教育

實用手工教育體系 (大竹訓三 昭和一二)

一坪學校園 (森口 昭和一二)

二三〇 普通教育

二三一 家庭教育

愛兒の幃方讀本 (上村實彌 昭和一二)

新人學生の一年生の教へ方 (赤枝一平 昭和一二)

家庭教師に聞かせる (鈴木實一編 昭和一二)

文化と自然の話 (三四一頁) 昭和一二)

小學生の家庭教師 (自一年生 水戸部寅松等著 昭和一二)

正しい家庭教育の仕方 (野瀬寬編 昭和一二)

母なれば (伊藤部敏子 昭和一二)

母のための教育講話 (小西重直 昭和一二)

母のための教育講話 (祝見みゆき 昭和一二)

我子の教育 (三〇四頁) 昭和一二)

我子の教育 (津野秀一 昭和一二)

二三二 幼稚園

一三三二一五

指導綜合保育 (松石治子 昭和一二
日案) (二五七頁)

二三三 小學校
全國各府縣最新研究施設大集 前、後 小學校教育研究會編
優秀小學校 (二五三—二五五頁)

二四〇 師範教育

二四二 文理科大學、高等師範學校
東京文理科大學一覽 昭和十二年版 其校編 昭和一二
東京高等師範學校 其校編 昭和一二
廣島文理科大學一覽 昭和十二年版 其校編 昭和一二
廣島高等師範學校 其校編 昭和一二 (六九二頁)

二五〇 高等教育

二五一 高等學校
第四高等學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
第五高等學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
臺灣總督府臺北高等學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
東京高等學校一覽 第一四 其校編 昭和一二 (一八九頁)

二五二 大學
京都帝國大學一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
臺北帝國大學一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
東京工業大學一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
新潟醫科大學一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二 (一八九頁)

二五三 私立大學

國學院大學一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
東洋大學創立五十年史 (五四八頁) 昭和一二

二五五 學士院

帝國學士院一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二

二六〇 特殊教育

技術教育と職業實修 (日本技術教育協會編) 昭和一二
(二四〇頁)

二六一 實業教育

秋田礦山專門學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
橫濱高等工業學校一覽 第一八年 (二九八頁) 昭和一二

小樽高等商業學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
昭和高等商業學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
集鴨高等商業學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
臺北高等商業學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
長崎高等商業學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二
山口高等商業學校一覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二

二六二 專門教育

昭和醫學專門學校要覽 昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二

神宮皇學館一覽 (其校編 昭和一二) (二四〇頁)

東京寫真專門學校一覽 (昭和一二—昭和一三年 其校編 昭和一二)

二六三 盲啞教育

吃音矯正法 (伊澤藤雄 昭和一二) (四八頁)
點字の研究 (草島時介 昭和一二) (一八頁)
點字發達史 (大河原敬吾 昭和一二) (五九八頁)

二六九 其他

母の學ぶ書 (村岡花子、太田武夫 昭和一二) (二四七頁)
(性教育叢書第五卷)

二八〇 學校衛生、體育、遊戲法

二八一 學校衛生
改訂學校身體檢查法解説 (岡田道一 昭和一二) (二四五頁)

二八二 體育
運動會教材集成 (久本彌吉 昭和一二) (一九九頁)
課外體育運動の實際 (齊藤重雄、山田義郎 昭和一二) (三八六頁)

現代學校體育全集 成美堂發行 昭和一二
學校武道篇
第三卷 中學校武道 (樋谷宗雄) 男子中等學校篇

一〇三六八—一〇三六九—一〇四

一〇三六九—一〇三七〇—一〇三七一—一〇三七二—一〇三七三—一〇三七四—一〇三七五—一〇三七六—一〇三七七—一〇三七八—一〇三七九—一〇三八〇—一〇三八一—一〇三八二—一〇三八三—一〇三八四—一〇三八五—一〇三八六—一〇三八七—一〇三八八—一〇三八九—一〇三九〇—一〇三九一—一〇三九二—一〇三九三—一〇三九四—一〇三九五—一〇三九六—一〇三九七—一〇三九八—一〇三九九—一〇四〇〇—一〇四〇一—一〇四〇二—一〇四〇三—一〇四〇四—一〇四〇五—一〇四〇六—一〇四〇七—一〇四〇八—一〇四〇九—一〇四一〇—一〇四一一—一〇四一二—一〇四一三—一〇四一四—一〇四一五—一〇四一六—一〇四一七—一〇四一八—一〇四一九—一〇四二〇—一〇四二一—一〇四二二—一〇四二三—一〇四二四—一〇四二五—一〇四二六—一〇四二七—一〇四二八—一〇四二九—一〇四三〇—一〇四三一—一〇四三二—一〇四三三—一〇四三四—一〇四三五—一〇四三六—一〇四三七—一〇四三八—一〇四三九—一〇四四〇—一〇四四一—一〇四四二—一〇四四三—一〇四四四—一〇四四五—一〇四四六—一〇四四七—一〇四四八—一〇四四九—一〇四五〇—一〇四五〇—一〇四五〇

第五卷 中學校の球技(安田弘嗣)
第六卷 學校教練(山口敏彦)
女子中等學校篇
第五卷 女學校の唱歌遊戲、行進遊戲(三浦ヒロ)
小學校篇
第六卷 高等科の體育(二宮文右衛門、今村嘉雄)

國民體育 (肥田春光 考按、平田内藏吉編) 昭和一二 (四〇〇頁)
最新運動會資料大全 (齊藤重雄、石井小浪 昭和一二) 上巻 第一、二年用 青年學校用 (二二八頁)

倒立轉廻運動 (宮田豊造 昭和一二) (二五九頁)
姿勢矯正體育 (高橋律之助 昭和一二) (二八〇頁)
小學校に柔道と其の指導 (宮崎泰軒 昭和一二) 放ける柔道と其の指導 (三六一頁)

小學校指導指南 (赤尾英三 昭和一二) (四五〇頁)
新教育體操 (大谷武 昭和一二) (四五〇頁)

新要目五・六體育の原理と實際 (齊藤重雄 昭和一二) に基く五・六體育の原理と實際 (三二二頁)

世界體育史 (出口林次郎 昭和一二) (四一八頁)
體育の基準に關する研究 (岡本規雄男 昭和一二) 西岡富吉 (二七〇頁)
改訂體操科指導細目 (宮田豊造 昭和一二) (一八七頁)

二八三 遊戲法
小學校の遊戲競技 (佐々木等 昭和一二) (一九三頁)

二九〇 社會教育
公民教育實施概要 昭和一二年度 (文部省社會教育局編) (二二四頁) 昭和一二

一〇三六九—一〇三七〇—一〇三七一—一〇三七二—一〇三七三—一〇三七四—一〇三七五—一〇三七六—一〇三七七—一〇三七八—一〇三七九—一〇三八〇—一〇三八一—一〇三八二—一〇三八三—一〇三八四—一〇三八五—一〇三八六—一〇三八七—一〇三八八—一〇三八九—一〇三九〇—一〇三九一—一〇三九二—一〇三九三—一〇三九四—一〇三九五—一〇三九六—一〇三九七—一〇三九八—一〇三九九—一〇四〇〇—一〇四〇一—一〇四〇二—一〇四〇三—一〇四〇四—一〇四〇五—一〇四〇六—一〇四〇七—一〇四〇八—一〇四〇九—一〇四一〇—一〇四一一—一〇四一二—一〇四一三—一〇四一四—一〇四一五—一〇四一六—一〇四一七—一〇四一八—一〇四一九—一〇四二〇—一〇四二一—一〇四二二—一〇四二三—一〇四二四—一〇四二五—一〇四二六—一〇四二七—一〇四二八—一〇四二九—一〇四三〇—一〇四三一—一〇四三二—一〇四三三—一〇四三四—一〇四三五—一〇四三六—一〇四三七—一〇四三八—一〇四三九—一〇四四〇—一〇四四一—一〇四四二—一〇四四三—一〇四四四—一〇四四五—一〇四四六—一〇四四七—一〇四四八—一〇四四九—一〇四五〇—一〇四五〇—一〇四五〇

| | | |
|----------------|----------------------|---------|
| 國民精神總動員教程 | 登山鹿造 昭和一二 | 一三〇—一三九 |
| 國民精神總動員原義 | 三浦藤作 昭和一二 | 一三〇—一三一 |
| 小學校國民精神總動員の實際 | 野瀬寛爾 昭和一二 | 一三〇—一三〇 |
| 青年學校國民精神總動員の實際 | 大杉謙一 昭和一二 | 一三〇—一三六 |
| 新興青年學校の本質と經營 | 片岡榮三郎 昭和一二 | 一三〇—一三五 |
| 青年學校經營 | 山口啓市 昭和一二 | 一三〇—一三七 |
| 壯丁教育調査概況 | 昭和一二年度 文部省社會教育局編 | 一三〇—一七四 |
| 二九一 博物館 | | 冊 分類 叢書 |
| 帝室博物館年報 | 昭和一二年度 一月—三月 共編 昭和一二 | 一三二—一三五 |
| 二九二 圖書館 | | 冊 分類 叢書 |
| 書庫の起原 | 植松安 昭和一二 | 一三二—一三五 |
| 圖書保管法 | 林靖 昭和一二 | 一三二—一四一 |
| 洋書目錄法の理論と實際 | 大佐三四五 昭和一二 | 一三二—一四〇 |
| 教育的觀覽施設一覽 | 昭和一二年度 文部省社會教育局編 | 一三三—一三一 |

三〇〇 文學

| | | |
|------------------------------|-------------------|---------|
| 藝術學 | 高神陽造 昭和一二 | 冊 分類 叢書 |
| 象徵主義の文學 | 英アール・シェンケ著 宮戸辰一譯 | 一三三—一三五 |
| 文藝鑑賞新講 | 小山龍之助 昭和一二 | 一三三—一八二 |
| 文藝の日本的形態 | 大藤信行 昭和一二 | 一三三—一八〇 |
| リアリズム文學論 | 熊澤復六譯編 昭和一二 | 一三三—一七九 |
| 三〇一 事業叢書 | | 冊 分類 叢書 |
| 世界文藝大辭典 | 第五卷 トロツ 古江喬松 昭和一二 | 一三三—一三〇 |
| 文藝年鑑 | 一九三七年 文藝家協會編 昭和一二 | 一三三—一三一 |
| 三〇四 文學合集、全集 | | 冊 分類 叢書 |
| 子を喪へる親の心 | 村田勤、鈴木龍司共編 昭和一二 | 一三四—一〇〇 |
| 佐藤春夫文學讀本 | 春夏の巻 同人 昭和一二 | 一三四—一八四 |
| 佐藤春夫文學讀本 | 秋冬の巻 同人 昭和一二 | 一三四—一八四 |
| 島崎藤村讀本 | 同人著 宇野浩二編 昭和一二 | 一三四—一八〇 |
| 高山樗牛人生讀本 | 高山樗牛著 岡山 務編 昭和一二 | 一三四—一八一 |
| 二葉亭四迷全集 | 同人(長谷川辰之助) 昭和一二 | 一三四—一八三 |
| 第一卷 浮雲、小按察、はぢちがへ、其面影、出産、平凡 | | |
| 第二卷 あひいき、奇譚、片戀、竹葉蘭、夢かたり、うき草 | | |
| 第三卷 親心、くされ縁、酒宴、墨江江野の勇婦、四人共産團 | | |
| つゝを社、四日間、わからずや、露助の妻、賢太人の浮世 | | |

第五卷 評論、翻譯、俳句と和歌

| | | |
|---------------------------------|---------------------|---------|
| 牧野信一全集 | 同人著 宇野浩二外四名編 | 一三四—一八二 |
| 室生犀星全集 | 同人著 昭和一二 | 八三四—七七 |
| 第一卷 復讐、學堂女 | | |
| 第二卷 弄獅子、赤い猿 | | |
| 第三卷 洞窟記、小島注、私の「白い牙」、山河老ゆる、鶴子、 | | |
| 第四卷 野田山、春雷巻の賣立、名聞の幾時、あら漢、木枯、 | | |
| 第五卷 天龍寺にて、冬の蝶、死と彼女ら、觀音院、山のぼり、 | | |
| 第六卷 現代の場合 | | |
| 第七卷 愛の詩集外 | | |
| 第八卷 愛の詩集外 | | |
| 第九卷 田舎の花、高麗の花、故郷園繪集、鶴、鉛筆詩集、鐵別集 | | |
| 第十卷 田舎の花、高麗の花、故郷園繪集、鶴、鉛筆詩集、鐵別集 | | |
| 第十一卷 文藝評論外三篇 | | |
| 第十二卷 感想小品、和歌、澄江空録記、童話四種 | | |
| 第十三卷 別冊 庭菴雜著 | | |
| 第十四卷 1名詞、2庭を作る人、3幽禽蟲魚、4草木異卉、5年譜 | | |
| 橫光利一文學讀本 | 春夏の巻 同人著 昭和一二 | 一三四—一七九 |
| 良寛讀本 | 三本橋外二名編輯 坂上眞一郎編 | 一三四—一七九 |
| 三〇五 文學雜誌 | | 冊 分類 叢書 |
| 或る集團 | 櫻井忠澄 昭和一二 | 一三五—一七六 |
| 生ひ立ちの記 | 附、性に眼をめる頃 室生犀星 昭和一二 | 一三五—一七六 |
| 過渡期文藝の斷層 | 矢崎輝 昭和一二 | 一三五—一七六 |
| 文學朱 線 | 古江喬松 昭和一二 | 一三五—一七九 |
| 全 貌 | 一九三七年 北原白秋 昭和一二 | 一三五—一七九 |
| 漱石の讀書と鑑賞 | 佐藤春夫 昭和一二 | 一三五—一七九 |

旅ゆくこゝろ 吉田枝次郎 昭和一二
 晝夜隨筆 中條百合子 昭和一二
 藤村感想集 島崎藤村 昭和一二
 文學紀行 古谷綱武 昭和一二
 横光利一の文藝思想 山本實次 昭和一二
 若 鮎 水原秋櫻子 昭和一二

三二〇 日本文學

西歐に於ける日本文學 久松静一 昭和一二
 日本文學原論 藤村作 昭和一二
 日本文學の精神 久松静一 昭和一二
 未刊國文古註釋大系 吉澤義則編 昭和一二
 第六册 新古今私抄 拾遺集抄註 拾遺抄物
 後拾遺抄註(關照) 後拾遺集存疑(岡本保孝)
 金葉集存疑(岡本保孝) 詞花集存疑(岡本保孝)
 千載集存疑(岡本保孝)
 第七册 拾遺草抄出題書 拾遺草抄書
 月清集(岡本保孝) 新撰六帖考(岡本保孝)
 長秋集(岡本保孝) 嘉喜門院御歌卷註(谷森善臣)
 百首要解(岡本保孝)
 堀河百首校註(岡本保孝)
 第十册 紫明抄 黒木常明抄
 第十三册 土佐日記校註(池田正式) 蜻蛉日記行解(田中大秀)
 かげろふの日記附續補選(田中大秀)
 紫式部日記解(足立昭直原撰田中大秀等補訂)
 枕草紙存疑(岡本保孝)

一三〇五—一三〇八
 一三〇九—一三一〇
 一三一〇—一三一七
 一三一七—一三二六
 一三二六—一三三〇

三二一 史 傳

日本文學史講話 久松静一編 昭和一二
 日本文學の本質と形體(久松静一) 上代文學史(森本治吉)
 平安朝文學史(藤田徳太郎) 中世文學史(阪口安章)
 日本文學全集 東京堂發行 昭和一二
 卷三 平安朝文學史(五十嵐力)
 卷一 明治文學史下巻(本間久雄)
 兼行法師研究 富倉二郎 附兼行自選集評釋
 (四八九頁) 昭和一二
 三二二 日本文學合集、全集
 短歌文學全集 第一東房發行 昭和一二
 第八回 木下利玄稿(石柳茂編) (四〇五頁)
 第九回 島本赤彦稿(久保田國介編) (四七〇頁)
 第十回 齊藤茂吉稿(宇野浩二編) (五一七頁)
 第一回 伴々木信綱稿(同人) (四三七八頁)
 第二回 伊藤左子夫稿(同人) (四三八頁)
 第三回 吉井勇稿(同人) (四三五頁)
 第四回 石原純稿(同人) (四〇三頁)
 第五回 尾上榮舟稿(同人) (四五五頁)
 三二三 歌學、歌話歌集
 歌かたり 佐々木信綱 昭和一二
 歌人赤彦の鑑賞 高田浪吉 昭和一二
 女性短歌讀本 今井邦子 昭和一二
 短歌鑑賞讀本 高田浪吉編 昭和一二
 短歌入門 土屋文明 昭和一二

一三二一—一三二〇
 一三二〇—一三二二
 一三二二—一三二六
 一三二六—一三二八

受和歌俳句解釋法 川柳 鹿木良雄 昭和一二

〇

金葉和歌集 複製版 國民精神文化研究所編
 古今和歌集評釋 窪田空穂 昭和一一〇
 萬葉山常百首解 久保幸枝撰 明治一六
 註萬葉集 佐野保太郎、藤井寛 昭和一二
 萬葉集講義 卷第三 山田孝雄 昭和一二
 萬葉語法私論 永井善太郎 昭和一二
 萬葉集百話 佐々木信綱 昭和一二
 万葉の精神 中河昇 昭和一二
 新題林和歌集 正徳六
 アラ、ギ年刊歌集 第一三、アラ、ギ同人編 昭和一二
 銀 砂 橋本喜佐子 昭和一二
 歌ささなみ 橋本喜佐子 昭和一二
 歌世界を巡る 平光吾 昭和一二
 年刊歌集 昭和十二年版 大日本歌人協會編 昭和一二

一三三三—一三三四

一三三三—一三三六
 一三三六—一三三七
 一三三七—一三三九
 一三三九—一三四〇
 一三四〇—一三四一
 一三四一—一三四二
 一三四二—一三四三
 一三四三—一三四四
 一三四四—一三四六

三二四 新體詩

詩青 蛙 田中喜四郎 昭和一二
 現代日本詩人論 百田宗治等 昭和一二
 詩人の使命 萩原胡太郎 昭和一二
 自由詩以後 百田宗治 昭和一二
 醉茗詩話 阿井勝者 昭和一二
 童詩讀本 滑川道夫 昭和一二
 明治代表詩人 阿井勝者 昭和一二
 三二五 連歌、俳諧
 校竹林抄 星加宗一 昭和一二
 本苑玖波集新釋 上巻 福井久藏 昭和一二
 俳句と日本國民性 杉田平十郎(鷹村) 昭和一二
 連歌概説 山田孝雄 昭和一二
 俳句文學全集 第一書房發行 昭和一二
 第一回 高瀬虚子稿(同人) (四八七頁)
 第二回 山口響子稿(同人) (四七六頁)
 第三回 飯田蛇笏稿(同人) (四五七頁)
 第四回 日野草城稿(同人) (四四八頁)
 第五回 富安風生稿(同人) (四四八頁)
 加賀の千代女の生涯 吉松祐一 昭和一二
 人間一茶の生涯 吉松祐一 昭和一二

一三四一—一三四二
 一三四二—一三四三
 一三四三—一三四四
 一三四四—一三四五
 一三四五—一三四六
 一三四六—一三四七
 一三四七—一三四八
 一三四八—一三四九
 一三四九—一三五一
 一三五〇—一三五二
 一三五二—一三五三
 一三五三—一三五四
 一三五四—一三五五
 一三五五—一三五七

- 芭蕉 (續前) 昭和一二 (日本全書第三二二卷) 一三二五—一七四
- 手ほどきより俳句の手 萩原井泉水 昭和一二 一三二五—一六四
- 現代俳句の展望 上田基史 昭和一二 (四四六頁) 一三二四—一三三
- 一茶志多良 萩原井泉水 校訂 昭和一二 (一九六頁) 一三二五—一〇六
- 俳人蕉村全傳 加藤榮舟 昭和一二 (五五五頁) 一三二五—一〇七
- 俳人の與謝蕪村 萩原朝太郎 昭和一二 (一六五頁) 一三二五—一〇五
- 小萩天の川 福井治兵衛(譯文) 昭和一二 (一六〇頁) 一三二五—一〇六
- 田麩子規歿後集 杉山田麩 昭和一二 (一六八頁) 一三二五—一〇六
- 承露盤 正岡子規編 昭和一二 (四五九頁) 一三二五—一〇六
- 年刊俳句集 實文堂同人集編 昭和一二 (四四三頁) 一三二五—一〇三
- 浮葉抄 水原秋櫻子 昭和一二 (二四一頁) 一三二五—一〇九
- 自選室 芝 飯田蛇笏 昭和一二 (二五二頁) 一三二五—一〇九
- 鶴巢反古枕 瀧下敬忠著、町田良一校訂 昭和一二 (一九四頁) 一三二五—一〇四
- 評釋奥の細道 廣橋吉士 昭和一二 (三三八頁) 一三二五—一〇三

- 一茶隨筆 相馬御風 昭和一二 (一八五頁) 一三二五—一〇四
- 子規隨筆 小石保太郎編 明治三五 (三三〇頁) 一三二五—一〇五
- 續子規隨筆 正岡子規編 大正三 (二二六頁) 一三二五—一〇五
- 三一六 戯曲
 - 假名手本忠臣藏 附、義經千本櫻 古村重徳註釋 菅原傳授子書流 (四三二頁) 昭和一二 (四三二頁) 一三二六—一〇三
 - 聖史佐 渡 田中智學 大正一〇 (二五四頁) 一三二六—一〇九
 - 釣堀にて 久保田萬太郎 昭和一二 (三三〇頁) 一三二六—一〇八
 - 廣帝ニコラス 武藤貞一 昭和一二 (三五二頁) 一三二六—一〇七
- 三一七 歌 謠
 - 近代歌謠の研究 藤田徳太郎 昭和一二 (五二八頁) 一三二七—一〇五
 - 今様歌 井上通泰 昭和一二 (二九八頁) 一三二七—一〇九
 - 三一八 狂歌、狂詩、狂句、戯文
 - 川柳特選集 昭和九、一〇年版 和田天民子編 一三二八—一〇九
- 三一〇 國文
 - 國分解釋の研究 三ヶ尻浩 昭和一二 (五七〇頁) 一三三〇—一〇七

- 國文解釋の新研究 笠島辰馬 昭和一二 (五九八頁) 一三三〇—一〇八
- 同 一三三〇—一〇八
- 三一三 作文書
 - 皇軍受驗作文 今田哲夫 昭和一二 (二一四頁) 一三三〇—一〇九
 - 受驗作文の作り方と模範答案 尾見修一 昭和一二 (四〇五頁) 一三三〇—一〇九
 - 全日本中等學校生徒優秀作文選 尾崎五編 昭和一二 (二五二頁) 一三三〇—一〇九
 - 文章作法問答 高須芳太郎 昭和一二 (二二三頁) 一三三〇—一〇九
 - 文章讀本 前田寛 昭和一二 (三七七頁) 一三三〇—一〇九
 - 演説、式辭模範用例大全 日本青年婦科會編 昭和一二 (四七四頁) 一三三〇—一〇八
- 女子作文新編 佐伯常隆 昭和一二 (四七八頁) 一三三二—一〇三
- 女子新作文 實川文藏 五井幸助 昭和一二 (九六頁) 一三三二—一〇三
- 三一三 中古文
 - 源氏物語研究史 重松信弘 昭和一二 (四九二頁) 一三三三—一〇五
 - 對源氏物語講話 三夕顔 島津久基編 昭和一二 (三五二頁) 一三三三—一〇四
 - 源氏物語總釋 樂浪書院發行 昭和一二 (一一三頁) 一三三三—一〇四
 - 第一卷 鹿波(島津久基) 桐原(沼澤龍雄) 赤木(同人) 空母(同人) 夕顔(龜田純一郎) 若菜(同人) 木崎(平林治徳) 紅葉實(同人) 花室(同人) 葵(同人)
 - 第二卷 實木(尾上八郎) 花散里(同人) 須磨(石村貞吉) 明石(同人) 西條(同人) 蓬生(同人) 關原(風見武太郎) 治合(同人) 松風(同人)

- 薄雲(同人) 榎(同人) 少女(福井久藏) 玉髮(同人) 初音(同人) 胡蝶(佐伯梅友) 螢(同人) 常夏(同人) 篝火(同人) 野分(同人) 行幸(同人) 藤袴(松尾聰) 直木柱(同人) 梅枝(同人) 赤葉(同人) 若菜(上) 加藤(三) 若菜(下) 島田(忠藏) 柏木(同人) 横濱(加藤三) 鈴鹿(同人)
- 光る源氏叢書 曾根野(龜山) 昭和一二 第一卷 夕顔(三三七頁) 第二卷 空母(二九二頁) 第三卷 須磨(四〇八頁) 一三三三—一〇七
- 參字治拾遺物語新釋 中島悦治 昭和一二 (五八八頁) 一三三三—一〇八
- 和泉式部日記詳解 小室由三、田中榮三郎 昭和一二 (二四二頁) 一三三三—一〇三
- 蜻蛉日記講義 喜多義男 昭和一二 (六七四頁) 一三三三—一〇三
- 三一四 近古史
 - 徒然草新解 武田祐吉 昭和一二 (四六三頁) 一三三四—一〇五
 - 徒然草の鑑賞とその批評 川島益太郎 昭和一二 (四二八頁) 一三三四—一〇五
 - 方丈記新釋 佐野保太郎 昭和一二 (一五四頁) 一三三四—一〇三
 - 十六夜日記 佐野保太郎 昭和一二 (二〇八頁) 一三三四—一〇七
- 三一六 近代文
 - 一三三四—一〇七

現代文の新解釋 古田善信、石山修平 昭和一二
 純現代文解釋 青島作平 昭和一二
 同

三三七 書簡文、消息文

橋路覽書簡集 永井熾、島崎圭一共編 昭和一二
 (二五三頁)

三三〇 小 説

現代小説の諸問題 小林秀雄 昭和一二
 (二八三頁)

三三二 明治以前小説

西鶴裸祖 藤田貞治 昭和一二
 (二七八頁)

致日本永代藏 上巻 守田幸治 昭和一二
 (三〇四頁)

三三三 明治以後小説

純粋小説全集 有光社發行 昭和一二

第九巻 化粧と口眞(川崎康成) 白い蛇赤い蛇(舟橋聖二)

昭和長編小説全集 新潮社發行 昭和九

- 第五巻 男の控(久米正雄) (五〇二頁)
- 第六巻 若藪色の道(中村武雄) (五三二頁)
- 第九巻 東京真歌(加藤武雄) (五三三頁)
- 第十巻 万五郎春記(野村胡堂) (五〇六頁)
- 第一巻 朝の足音(佐藤紅綠) (五四八頁)
- 第二巻 花吹雪(小島政二郎) (五四二頁)
- 第三巻 勝ち運負け運(佐々木邦) (五一一頁)
- 第一四巻 異風黒白記(大伴次郎) (五一一頁)
- 第一五巻 双心蘭(牧逸馬) (五〇八頁)

世界冒險探險叢書 講談社發行 昭和一二

征夷討伐記(中江夫) (四六〇頁)
 未開地探險記(澤田謙) (四三三頁)
 猛獸狩り探險記(小山莊一郎) (四四四頁)

愛の非常線

浅原六朗 昭和九
 (四七八頁)

荒木又右衛門 長谷川伸 昭和一二
 (四四七頁)

居候匆匆々 内田百閒 昭和一二
 (三三三頁)

一体、曾呂利、良寛 武者小路實篤 昭和一二
 (三七二頁)

霧の夜の客間 浅原六朗 昭和五
 (三四四頁) (新潮長編文庫)

甲賀山伏とその一族 大伴 昭和一二
 (四六〇頁)

幸福 阿部知二 昭和一二
 (三三八頁) (書きおろし長編小説叢書)

黄金草 阿部知二 昭和五
 (三〇九頁) (新潮長編文庫)

黒死館殺人事件 小栗虫太郎 昭和一一〇
 (四四六頁)

混血児ジョージ 浅原六朗 昭和八
 (三四四頁)

金色藻、街の毒草 大下宇陀兒 昭和九
 (四二六頁)

宙に浮く首外二篇 大下宇陀兒 昭和六
 (三一〇頁) (新潮長編文庫)

雪崩 大伴次郎 昭和一二

暢氣眼鏡 尾崎士郎 昭和一二

日蔭の村 石川達三 昭和一二
 (三〇三頁)

普賢 石川 昭和一二
 (三〇九頁)

冬の宿 阿部知二 昭和一二
 (二七七頁)

雪國 川崎康成 昭和一二
 (三五四頁)

呼聲 北村小松 昭和一二
 (三〇一頁)

神々の戯れ 佐藤春夫 昭和四
 (三〇七頁)

現代ユーモア傑作集 サトウハチロー等 昭和一二
 (二六五頁)

更生記 佐藤春夫 昭和五
 (二八八頁) (新潮長編文庫)

しかも彼等は行く 下村千秋 昭和五
 (三〇八頁)

秋箋 芥澤光治良 昭和一二

青年及壯年 上・下 島崎藤村 昭和一二
 (藤村文庫第四、五巻)

壯年 房雄 昭和一二

突っかけ侍 子母澤寛 昭和一二
 (六三三頁)

手に手をとつて 佐藤紅綠 昭和一二
 (二九一頁)

田園の憂鬱都會の憂鬱 佐藤春夫 昭和三
 (三〇八頁) (新潮文庫第三編)

備める太陽 佐々木味津三 昭和五

武士道専務 サトウハチロー 昭和一二
 (二〇七頁)

青山一族

坪田譲治 昭和一二
 (三一頁)

AとBの話 芥川龍一 大正一五
 (三八五頁)

同

徳富蘆花 樋田新 昭和一二
 (四五四頁)

戀愛合戦 宇野浩二 昭和四
 (四一七頁)

若い人 上・下 石坂洋次郎 昭和一二
 (上三六六頁) (下四三二頁)

我が日我が夢 宇野浩二 昭和一二
 (四二〇頁)

曉の鐘は西北より 國枝史郎 昭和五
 (二九六頁)

江戸名人傳 邦枝完二 昭和一二
 (三九三頁)

落葉日記 岸田國士 昭和一二

怪奇探偵記 小山雅一郎 昭和一二
 (四〇〇頁)

加藤武雄讀物選集 加藤武雄 昭和六
 (四二〇頁)

菊池寛讀物選集 菊池寛 昭和六
 (四二六頁)

楠木正成 武者小路實篤 昭和一二
 (三七〇頁)

國木田獨歩 藤田善人 昭和一二
 (三二〇頁)

創作化粧と口眞 川崎康成 昭和八

國際スバイ實話 木村發編 昭和一二
 (三九〇頁)

珊瑚の鞭 加藤武雄 昭和一二

大地にしく乳房 倉田百三 昭和一二
 (三三〇頁)

電話を掛ける女 甲賀三郎 昭和五
 (二九六頁)

人妻椿 小島政二郎 昭和一二
 (三九七頁)

蝕める春、春雷 菊池寛 昭和七
 (四四一頁)

むすめ心 川崎康成 昭和一二
 (三〇五頁)

一三三三—一七〇〇
 一三三三—一七〇〇
 一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

一三三三—一七〇〇

若い環境 (武田麟太郎 昭和一二
(二五八頁)) 〇
 女よなぜ泣くか (中村武雄大 昭和一二
(四三八頁)) 〇
 輝く廢墟 (長興善郎 昭和六
(三二九頁)) (新潮長編文庫)
 迎 春 (片羽文雄 昭和一二
(一七〇頁))
 傳八郎の疑問 (直木三十五 昭和六
(三〇五頁))
 中村武雄大讀物選集 (中村武雄大 昭和六
(四二七頁))
 肉體の書廊 (楳崎 勁 昭和八
(三二七頁))
 同
 女人彩色 (片羽文雄 昭和一二
(三四三頁))
 乃木將軍 (木村 俊 昭和一二
(三六七頁))
 乃木將軍 (林 房雄 昭和一二
(二八三頁))
 渥東綺譚 (永井荷風 昭和一二
(一九三頁))
 〇
 田舎がへり (林美英子 昭和一二
(二五〇頁))
 大 阪 (藤澤何夫 昭和一二
(三〇三頁))
 春帯記 (長谷川時雨 昭和一二
(三〇三頁))
 淨婚記 (細田民樹 昭和一二
(四七七頁))
 小説上學愛集 (堀 季實 昭和一二
(二二〇頁))
 花の位置 (林美英子 昭和一二
(三三二頁))
 〇
 放浪記 (林美英子 昭和一二
(三九六頁)) 〇
 山宮血笑記 (三浦 實 昭和一二
(五三〇頁))
 新選組 (村山知義 昭和一二
(三九五頁)) (書きおろし長編小説叢書)
 水晶の座 (牧 逸馬 昭和五
(三四四頁)) (新潮長編文庫)
 太平洋非常艦隊 (宮島惣造 昭和一二
(二〇一頁))
 東海美女傳 (村松梢風 昭和一二
(五八九頁))
 宮本武藏 (風の巻) (吉川英治 昭和一二
(六八二頁))
 〇
 愛と結婚の十字路 (山中峰太郎 昭和一二
(二七〇頁))
 生きとし生けるもの (山本有三 昭和一二
(三二〇頁))
 飢ゑたる彰義隊 (吉川英治 昭和五
(三〇四頁)) (新潮長編文庫)
 男の償ひ (吉屋信子 昭和一二
(三三八頁))
 國境第一戦の前後 (山中峰太郎 昭和一二
(三五三頁))
 五軍並進の包圍戦 (山中峰太郎 昭和一二
(三四六頁))
 失樂の人々 (吉屋信子 昭和五
(三〇四頁))
 昭和動員令 (山中峰太郎 昭和一二
(五七五頁))
 青春迷路 (山中峰太郎 昭和一二
(四二六頁))
 母の曲 (吉屋信子 昭和一二
(三三七頁))
 北方壁壘戦四十里 (山中峰太郎 昭和一二
(三五七頁))
 〇
 一三三三六―二二九
 一三三三七―二二八
 一三三三七―二〇七
 一三三三七―一九九
 一三三三七―二〇五
 一三三三七―二〇六
 一三三三七―二〇四

創作魔 子 (熊野寺 維 昭和八
(三三七頁)) 〇
 三四四 講談、笑話、落語
 金語樓新作落語集 (高木義賢編 昭和一二
(四一三頁))
 愚談漫談 (徳川夢聲 昭和一二
(四二〇頁))
 小勝特選落語集 (高木義賢編 昭和一二
(四二〇頁))
 旦那と奥さん (柳屋金語樓 昭和一二
(二七二頁))
 三四〇 支那文學
 三四四 詩學、詩話、詩集
 漢詩大講座 アトリエ社發行 昭和一二
 第三卷 古體詩作法(前川三郎) (三七八頁)
 第四卷 作詩資料及語彙(仁賀保香城、土屋竹雨) (二八九頁)
 第一〇卷 明治大正名詩選 前、後篇(木下彪選) (前二三一頁後三〇二頁)
 詩吟法 開、和漢二百人詩集 古川太郎 昭和一〇
(五九九頁)
 私 の 詩 の 吟 じ 方 (山田藤吉 昭和一二
(二五九頁)) 〇
 漢城遺稿 (長尾折三(漢城) 昭和一二
(四四枚))
 長恨歌研究 (遠藤實夫 昭和九
(四二八頁))
 關山關日本樂府評釋 (谷口爲次選譯) 昭和一二
(二五〇頁)
 〇
 一三三三九―四四
 冊 分類 叢書
 一三三三四―二六
 一三三三四―二五七
 一三三三四―二五九
 一三三三四―二六〇
 三四五 文集、文話、作文
 漢文縦横 (加藤 健 昭和一二
(三六八頁))
 同
 定晴獻遺言精義 上・下 (法本義弘 昭和一二
(三六〇頁)) (四五六頁)
 三四六 傳奇、小説
 元人雜劇序説 (青木正兒 昭和一二
(二二〇頁))
 三四七 金石文
 日本金石文綱要 (入田豊三 昭和一二
(一六二頁))
 三四八 尺牘、時文
 自修支那現代文 (和田正勝 昭和一二
(二八二頁))
 三四〇 歐米文學
 ソヴェートロシアの藝術 米、ジョセフ、ワッリマン著
 木村利美譯 昭和一二
(四八三頁)) 〇
 英米文學辭典 青藤勇編 昭和一二
(一三五頁)
 大トルストイ全集 中央公論社發行 昭和一二
 第九卷 後期中短編集 原久一郎譯 (七八八頁)
 第二卷 戯曲集 同 (九四八頁)
 第九卷 一日一善上 同 (七四〇頁)
 第三卷 一日一善下 同 (八〇五頁)
 第三卷 書翰 同 (八六一頁)
 三五一 文學史
 冊 分類 叢書
 一三三三六―二二九
 一三三三七―二〇八
 一三三三七―二〇七
 一三三三七―一九九
 一三三三七―二〇五
 一三三三七―二〇六
 一三三三七―二〇四
 一三三三六―一〇五
 一三三三六―一〇七
 一三三三六―一一二
 一三三三六―一〇八
 一三三三六―一〇九
 一三三三六―一一〇
 一三三三六―一一三
 一三三三六―一〇四
 一三三三六―一〇六
 一三三三六―一〇四
 一三三三六―一〇二
 一三三三六―一〇二
 一三三三六―一〇二
 一三三三六―一〇二
 一三三三六―一〇二
 一三三三六―一〇二

グエテ研究 (國、ゲオルグ・アブラハム著 栗原 佐譯 (九九九頁) 昭和一二)

グーテとトルストイ (國、トーマス・マン著 菅谷恒徳譯 昭和一二)

佛蘭西精神史の一面 (後藤水雄 昭和九 (三七〇頁))

ロマン・ロラン (井山敏彦 昭和一二 (三三六頁))

三五四 論文、雜書

新しき糧 (佛、アンドレ・ジイド著 堀口大學譯 (八九九頁) 昭和一二)

英米文藝隨筆 (日高貞一 昭和一二 (三四六頁))

エビキユウルの園 (佛、アナトール・フランス著 京野貞之譯 (三五三頁) 昭和一二)

ゴリキイ文學論 (露、マヤクム、ゴリキイ著 大竹博吉譯 (三〇三頁) 昭和一二)

シエイクスピア (露、A. スミルノフ著 昭和一二)

その世界觀と藝術 (馬正義太郎譯 (二五三頁))

著したチエホフ書簡集 (露、チエホフ著 湯淺 芳譯 (三五二頁) 昭和一二)

同

フランス現代文學 (佛、レジュス・ミシヨオ著 春山行夫譯 的思想的對立 (四一六頁) 昭和一二)

文學生活 (佛、アナトール・フランス著 朝倉季雄譯 (三〇八頁) 昭和一二)

文學的散步 (佛、ゲウルモ著 石川湧譯 (二八七頁) 昭和一二)

ロレンス文學論 (伊藤 整、水松定共譯 昭和一二 (三一五頁))

三五五 小説、物語

經國美談 (矢野文雄(龍溪)譯 明治四三 五版 (四五五頁))

英、H. S. ウォルポール著

ジエレミー (西田琴譯 昭和一二 (四一五頁))

一三五二—七二

一三五二—七二

一三五二—六五

一三五二—七三

分冊 叢書

一三五四—六一

一三五四—六三

一三五四—六五

一三五四—六二

一三五四—六七

一三五四—六九

一三五四—六六

一三五四—六四

一三五四—六八

一三五四—六〇

分冊 叢書

一三五五—一〇六

一三五五—一〇九

少女間諜の手記 (白、マルタ・マツケナ著 谷名輝哉譯 (三八五頁) 昭和一二)

戦へる使徒 (米、パアル・バツク著 深澤正策譯 (三三九頁) 昭和一二)

デツケンス物語全集 松本泰、松本恵子共譯 昭和一二

第五卷 千鶴井家の人々

第六卷 開拓者

第七卷 二都物語

第八卷 男の一生

第九卷 貧富の華

鐵兵十萬 (英、ヤン・ヘイ著 櫻井忠温譯 昭和一二 (四六二頁))

時計 (露、ツルゲーネフ著 菊池武英譯 昭和一二 (五七二頁))

ナルチスとゴルトムント (獨、ヘルマン・ヘツセ著 高木佑一郎譯 (四一八頁) 昭和一二)

ねなしかづら (佛、ジュウル・ルナル著 高木佑一郎譯 (三一二頁) 昭和一二)

花咲く日 (佛、アナトール・フランス著 大塚幸男譯 (三五二頁) 昭和一二)

ヘツセ全集 (獨、ヘルマン・ヘツセ著 石中象治譯 (二九一頁) 昭和一二)

ベータア・カメナント(慈悲の歌) (ヘツセ略傳)

ベータア・カメナントについて

ベータア・カメナントについて

ホーソン奇譚集 (米、N. ホーソン著 村山勇三譯 (三〇四頁) 昭和一二)

モオバツサン選集 (佛、モオバツサン著 平野成馬譯 (四五六頁) 昭和一二)

リュシエンス (佛、ジュウル・ルナル著 富澤純一郎譯 (三〇六頁) 昭和一二)

ロジエストウエン (日露海軍 國、フランク・ツイース著 スキイの悲劇 前篇 伊東俊太郎共譯 昭和一二 中篇 弘平共譯 昭和一二)

三六〇 演説、論説

三六一 演説、講話

一三五五—三九

一三五五—三三

六三五—三七

一三五五—三〇

一三五五—三三

一三五五—三七

一三五五—三五

一三五五—三三

一三五五—三六

一三五五—三四

分冊 叢書

一三五五—三二

一三五五—三三

一三五五—三三

一三五五—三六

一三五五—三四

分冊 叢書

二二八—一八

分冊 叢書

一三八二—一〇

分冊 叢書

一三八三—一五

一三八三—一六

一三八三—一六

一三八三—一七

一三八三—一六

分冊 叢書

一三八六—一四

分冊 叢書

一三八七—一三

一三八七—一四

分冊 叢書

一三八九—一三

一三八九—一一

式辭演説挨拶 (日本辯論研究会編 昭和一二 (三三五頁))

支那の將來と我帝國の使命 (大谷光瑞 昭和一二 (三三〇頁))

不惑の信念を語る (德島敬著 眞成義音編 (四〇七頁) 昭和一二)

三六二 論説、批評

街頭評論 (國、邦華 (第四評論集) (三二四頁) 昭和一二)

教養と文化の基礎 (田中耕太郎 昭和一二 (六六二頁))

現代人の建設 (佐藤正彰譯 昭和一二 (三八二頁))

三七〇 語 學

言語研究 龍度篇 問題篇 小林英夫 昭和一二

言語と文體 小林英夫 昭和一二 (五〇六頁)

トム言語學史 (V. L. P. トムゼン著 泉井久之助 高谷信一共譯 昭和一二 (二〇〇頁))

三八〇 國 語

國語學新講 (東條 操 昭和一二 (四五二頁))

國語書取問題の答案 (山海堂編輯所編 昭和一二再版 (一五〇頁))

三八一 辭 書

類語新詞彙辭典 (加藤武雄、水守龜之助 昭和一二 (一〇二頁))

大言海索引 (大槻文彦 昭和一二 (六五九頁))

一三六一—一〇三

一三六一—一〇四

一三六一—一〇三

分冊 叢書

一三六二—一三五

一三六二—一三六

一三六二—一三七

分冊 叢書

一三七〇—一四

一三七〇—一三

分冊 叢書

一三八〇—一三二

分冊 叢書

一三八一—一四二

一三八一—四五

一三八一—四〇

故事成語考 乾坤 明、丘理山

三八二 史 傳

國語史 第一〇卷 文學篇 (山田孝雄 昭和一二 (二七六頁))

三八三 文典及修辭學

高等國文法概説 (高橋龍雄 昭和一二 (三一四頁))

高等國文法新講 品詞篇 (本枝裕一 昭和一二 (九四二頁))

國文法と書取の新研究 (牧野榮三 昭和一二 (二六四頁))

初歩の國文法 安田喜代門 昭和一二

日本文法 (千代延尚壽編 昭和九 (二二七頁))

ヒノモトノコトバノハグミ (穴戸貞城 昭和一二 (二二六頁))

三八六 語源、語釋

日本語源の心理的解釋 (安井 洋 昭和一二 (二二二頁))

三八七 俗語、方言、諺

續壹岐島方言集 (山口麻太郎 昭和一二 (三九九頁))

方言讀本 (橋 正 昭和一二 (二八四頁))

三八九 朝鮮語其他

原路に臺灣高砂族傳説集 (臺北帝大言語學研究室調査 による臺灣高砂族傳説集 (八三七頁) 昭和一〇)

史讀集成 (朝鮮總督府中樞院編 昭和一二 (三〇九頁))

二二八—一八

分冊 叢書

一三八二—一〇

分冊 叢書

一三八三—一五

一三八三—一六

一三八三—一六

一三八三—一七

一三八三—一六

分冊 叢書

一三八六—一四

分冊 叢書

一三八七—一三

一三八七—一四

分冊 叢書

一三八九—一三

一三八九—一一

三九〇 外國語

三九一 支 那 語

支那語叢話 (渡邊貞輔 昭和一二
三九二頁) (三九二頁)
支那語大辭典 (石山福治編 昭和一一
〇 二七四六頁) (二七四六頁)
○ 文檢漢文典 (佐々木彌之助 昭和一二
〇 一七二頁) (一七二頁)
○ 參考漢文典 (佐々木彌之助 昭和一二
〇 一七二頁) (一七二頁)

滿洲語五十講 (宮城健太郎、武田博 昭和一二
〇 二七二頁) (二七二頁)
蒙和辭典 (精松源一等編 昭和一二
〇 五〇九頁) (五〇九頁)

三九三 英 語

英語三十回總仕上げ (兵頭鑑之助 昭和一二
〇 一八九頁) (一八九頁)
英語商業學及商業英語概論 (山崎宗直編 昭和一二
〇 三五八頁) (三五八頁)
○ 受験英語のこなし方 (北村昇太郎 昭和一二
〇 三五五頁) (三五五頁)
○ 新英和大辭典 (岡倉山三郎 昭和一二
〇 二五二頁) (二五二頁)

英會話商店街 飯田富 (アサヒ秋山 昭和一二
〇 二五五頁) (二五五頁)
英會話スナップ (アサヒ秋山 昭和一二
〇 二四七頁) (二四七頁)
英會話獨學術 (アサヒ秋山 昭和一二
〇 二四三頁) (二四三頁)

英語會話の手ほどき (田中路三郎 昭和一二
〇 三〇二頁) (三〇二頁)
同

英語原語、熟語、解釋相對的新研究 (鏡清賢明 昭和一二
〇 三六二頁) (三六二頁)
同
分英語單語新選 (西脇乃夫彥編 昭和八
〇 三九二頁) (三九二頁)
高級英單語研究 (英語通信社編 昭和一二
〇 一九五頁) (一九五頁)
交通英會話 (アサヒ秋山 昭和一二
〇 一五〇頁) (一五〇頁)
標準英單語の合理的覚え方 (河合逸治、岩田奇輝
三九四頁) (三九四頁)

一年生の英作文 (中野三郎 昭和一二
〇 二二七頁) (二二七頁)
同

初級英語商業通信文 (高橋盛雄 昭和一二
〇 二九五頁) (二九五頁)
英作文の征服 (小原幹造 昭和一二
〇 二二五頁) (二二五頁)
英文手紙の實例と練習 (高橋盛雄 昭和一二
〇 七七〇頁) (七七〇頁)
高等英作文研究 前編 (森本禮二編 昭和一二
〇 三一〇頁) (三一〇頁)

英字新聞の研究 (岡田誠 昭和一二
〇 二九〇頁) (二九〇頁)
英文解釋研究 (雙牧雄編 昭和一二
〇 四五六頁) (四五六頁)
大學入試英文解釋問題研究 (英語通信社編 昭和一二
〇 五八四頁) (五八四頁)
英文公式の合理的學び方 (神戸榮 昭和一二
〇 三五九頁) (三五九頁)

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

同
同
同

精英文和譯法 (信定育二 昭和一二
〇 四二四頁) (四二四頁)

英和根柢三千句 (藤原隆吉郎 昭和一二
〇 三三二頁) (三三二頁)

高等英文解釋の科學的研究 (青木慶藏 昭和一二
〇 三五八頁) (三五八頁)
新英文解釋法 (大塚 豊 昭和一二 五版
四五〇頁) (四五〇頁)

同
登龍英文解釋法 (片岡共太郎 昭和一一
〇 三〇一頁) (三〇一頁)

同
二三年の新英文解釋 (高橋盛雄 昭和一二
〇 四四六頁) (四四六頁)

和文英譯のあたま (村山 功 昭和一二
〇 三七〇頁) (三七〇頁)
訂正増補
和文英譯の方法 (青木常雄 昭和一二
〇 三九二頁) (三九二頁)

同
同

三九四 獨 逸 語

新ドイツ語文典 (井山 尚 昭和一二
〇 三二七頁) (三二七頁)
最近六ヶ年獨逸語入試問題解答 (橋田常久 昭和一二
〇 三八五頁) (三八五頁)
獨逸語の學び方 (川村義雄 昭和一二
〇 三八二頁) (三八二頁)
現代獨逸文法講話 品詞論 (岡本修助 昭和一二
〇 四三九頁) (四三九頁)

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

獨逸文法の難問と解釋 (山田幸三郎 昭和一二
〇 二〇六頁) (二〇六頁)
英獨獨習者の獨逸語 (道部 順 昭和一二
〇 六七二頁) (六七二頁)
獨和言林 (佐藤通次 昭和一一
〇 一〇六三頁) (一〇六三頁)
イオンサ獨和辭典 (山岸光宣編 昭和一一
〇 一四八頁) (一四八頁)
雙獨和大辭典 (片山正雄 昭和一二
〇 二二七九頁) (二二七九頁)
獨文和譯 (大津 康、道部 順 昭和一二
〇 二四版) (二四版)

複式和文獨譯 (大津 康、道部 順 昭和一二
〇 四〇七頁) (四〇七頁)
藥學獨逸語解釋研究 (黒塚壽一、稻垣清二郎 昭和一二
〇 四六二頁) (四六二頁)
和獨大辭典 (木村謙治 昭和一二
〇 二六三頁) (二六三頁)

三九五 佛蘭西語
新佛和中辭典 (井上源次郎、田島清共編 昭和一二
〇 七九七頁) (七九七頁)

新和文佛譯法 (成澤理平 昭和一二
〇 二〇六頁) (二〇六頁)
佛語の發音と綴字 (日黒三郎 昭和一二
〇 一九三頁) (一九三頁)
佛和大辭典 (山本直文、太宰施門等共編 昭和一一
〇 四〇版) (四〇版)

三九六 露西亞語
新露西亞語會話の實例と練習 (八杉貞利 昭和一二
〇 八五四頁) (八五四頁)
露西亞語會話の實例と練習 (井上敬一 昭和一二
〇 八五四頁) (八五四頁)

三九九 其他諸國語
ギリシャ引用語辭典 (田中秀央、落合太郎共編 昭和一二
〇 八五二頁) (八五二頁)
ラテン引用語辭典 (八五二頁) (八五二頁)
西和辭典 (村岡 支 昭和一二 増補
九〇一頁) (九〇一頁)
西藏語文典綱要 (明石憲達 昭和一二
〇 二四二頁) (二四二頁)
初ブラジル語獨習書 (中島文重 昭和一二
〇 五八九頁) (五八九頁)

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九
一三九三三—三九

四〇〇 歴史

四〇一 事象、叢書

説世界史話大成 仲小路 彰 昭和一二

- 第一卷 原始篇 (四六〇頁、四五九頁)
- 第四卷 科學篇 (五〇三頁、五〇一頁)
- 第七卷 社會變革篇 (四九八頁、四九四頁)
- 第八卷 戰亂篇 (五四二頁、五四四頁)

冊 分類 叢書
四四〇—二四

四二〇 東西洋史

四二一 東洋史

概観東洋通史 有馬 謙 昭和一二
(六四四頁)

新制度東洋歴史 佐々木貞之 昭和一二
(三二六頁)

東洋古代文化史談 石川三四郎 昭和一二
(二六七頁)

東洋小文化史 森谷克己 昭和一二
(四〇六頁)

受論東洋史の要領と答案の纏め方 山縣信次 昭和一二
(二七八頁)

東洋文化史大系 昭和一二

第一卷 古代支那及びインド(三三一頁) 白鳥庫吉監修
總説(白鳥庫吉) 概説(橋本增吉)

上代支那の經濟生活(西田保)

上代支那の史的傳記とその批判(出石誠彦)

上代支那の學問と文學(本多龍成)

古代支那の天文曆法及び五行思想(飯島忠夫)

上代インド支那(松本信廣)

東亞考古學上より見た佛領インド支那(小林知生)

冊 分類 叢書
一〇四二—一七
一〇四三—一六
一〇四四—一八
一〇四五—一九
一〇四六—二〇
一〇四七—二一

第四卷 宋元時代 羽田亨監修 (三五三頁)
總説(羽田亨) 五代の紛争と宋の統一(那波利貞)

宋と遼・西夏との關係(宮崎市定)

北宋の黨争(宮崎市定)

宋金の抗爭(曾我部靜雄)

蒙古の勃興(宮崎市定)

蒙古の統一(宮崎市定)

元朝の衰亡(宮崎市定)

宋元時代の東西交通(秋貞實造)

都市の發達と庶民生活の向上(那波利貞)

儒學の興隆(蓋保孝)

文學の發達(長澤規矩也)

宗教(塚本善隆外三名)

北方民族と支那文化(秋貞實造)

繪畫(伊勢專一郎)

四二二 西洋史

西洋近世史講話 齋藤清太郎 昭和一二
(四九〇頁)

四三〇 日本史

國史通論 中村直勝 昭和一二
(三〇三頁)

日本文化史大系 田中一彦編 昭和一二

第三卷 奈良文化(三九一頁)

奈良時代文化の特質(辻善之助)

泉室と奈良文化(坂本太郎)

政治及び制度(藤川政次郎)

經濟(田名網安)

宗教(秋山謙藏)

思想と學問(橋本行)

文學(森本治吉)

美術(源聖宗)

風俗と生活(江馬務)

冊 分類 叢書
一〇四三—一六
一〇四四—一八
一〇四五—一九
一〇四六—二〇
一〇四七—二一

教授 日本文明史講話 岡 輝男 昭和一二
(四九三頁)

新訂 國史大系 黒板勝美編 昭和一二 同二二

第二五卷 類聚三代格、弘仁格抄(七四七頁)

第二六卷 交替式、弘仁式、延喜式(一〇三三頁)

第五四卷 公卿補任第二篇(七四四頁)

史籍解説 大森金五郎編 昭和一二
(二五三頁)

金澤文庫古文書 第一輯 岡 增編 昭和一二
(五四八頁) 金澤文庫叢書第三編

古文書の研究法 魚澄惣五郎外三十一名

歴史學と古文書(魚澄惣五郎)

日本古文書學とその方法論(遠藤元男)

古文書學と金石文(入田繁三)

西洋の古文書(栗田元次)

上古支那の甲骨文及金石文について(中山久四郎)

印度の古文書について(金倉圓照)

日本古文書學發生の意義(藤野俊茂)

現行法律學と古文書研究の必要(岩田新)

古文書研究法に就いて(伊木壽一)

語彙の研究(岩橋小彌太)

宗教研究と古文書(生濱清成)

書札體に關する諸書について(山中武雄)

書風、墨色、用語の研究(伊木壽一)

三筆、三蹟の書風に就いて

紙の知識(田中敬)

硯、墨小知識(飯島龍雄)

印と印内(橋原忠之介)

花押と時代及び人(下村三四吉)

武家使用の印章の撰定に就いて(花見朝巳)

南北朝時代特色ある古文書(橋本徳太郎)

家文書の研究(南榮次郎)

花押の公轉様武家様について(高橋隆三)

一〇四三—一四六

三四三—一六

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

一〇四三—一三

第八卷 安土、桃山文化(橋本三九、三九〇頁)

泉室と安土桃山文化の特質(渡邊世祐)

政治及び制度(高柳光壽)

經濟(中村吉治) 宗教(田中久夫)

思想と學問(桑田忠親)

文學及び音樂(福井久藏)

美術(熊谷宜夫)

風俗と生活(江馬務)

日本とアジア大陸との關係(廣田鏡)

日本とヨーロッパとの關係(岡本良知)

アジア大陸の狀態(清水泰次)

西洋の關係(石田幹之助)

西洋の狀態

第九卷 江戸前期文化(三六六頁) 地圖(一葉)

江戸前期時代文化の特質(栗田元次)

泉室と江戸前期文化(栗田元次)

政治及び制度(栗田元次)

經濟(栗田元次)

思想と學問(吉田三郎外三名)

宗教(野田武)

文學(藤村作)

美術(奥平英雄)

風俗と生活(江馬務)

日本と亞細亞大陸との關係(野原四郎)

日本とヨーロッパとの關係(齋藤阿具)

アジア大陸の狀態(和田清)

西洋の關係(石田幹之助)

西洋の狀態(今井登志喜)

日本文化史點描 西村眞次 昭和一二
(三二八頁)

日本文化史點描 長沼貫海 昭和一二
(六六〇頁)

一〇四三—一四五

一〇四三—一四九

- 手紙、密書、戀文、去り狀、請取證(中山太郎) 本邦書誌學雜考(今井眞人) 古寫經の研究(奈良朝時代)兒島紗麗) 寫經の美術的な一面(平安朝時代)若澤啓之助) 血判、爪印、手印、筆印の研究(佐野啓三) 金文に現はれた宛字(桂崎四郎) 金文に現はれた宛字(桂崎四郎) 全外官文書の形態と其部分の略解(松平年一) 正倉院文書の形態と其部分の略解(松平年一) 書誌の研究(山田悟平) 續に現れた日本最古の文字(後藤守一)
- 史料大成 (四〇〇頁) 昭和一二
第三〇卷 康富記二
- 大日本史料 東京帝國大學史料編纂所編 昭和一二〇—一二一五
第一編之一〇村上天皇(自天曆七年八月(九五四頁)至應和元年二月(一〇〇五頁))
第三編之八 堀河天皇(自長治二年二月(一〇〇五頁)至嘉永元年二月(一〇〇五頁))
第六編之二八 後村上天皇(自正平二年五月至同年十二月(九七〇頁)至光嚴天皇(自貞治六年五月至同年十二月(九七〇頁))
第七編之七 後小松天皇(自應永十二年正月(九七一頁)至同治五年五月(九七一頁))
第一二編 後水尾天皇(自元和五年二月(八一九頁)至同治五年五月(八一九頁))
- 大日本古文書 東京帝國大學史料編纂所編 昭和一二〇—一二一五
二二(追加一六)自寶龜四年五月至同五年八月(五九〇頁) 家わけ二二の二)上杉家文書之二(六二四頁) 家わけ一四(熊谷家文書、三浦家文書、平賀家文書)(七六〇頁) 立入宗繼文書 柴田實、西田直二郎解説 川端道喜文書(三三二頁) 圖版二九枚
- パタピヤ城日誌 村上直次郎譯註 昭和一二 一四〇—一四一〇
- 慶長以前の石燈籠 (天沼俊一) 昭和一二 (三六頁八八頁)
- 史的日本の特性 (栗田元次) 昭和一二 (四二八頁)
- 日本歴史考古學 (後藤守一) 昭和一二 (一〇四七—一〇三三頁)
- 民族點描 (中山太郎) 昭和一二 (三二〇頁)
- 有史以前の日本 (鳥居龍藏) 昭和一二 (四五〇頁)
- 史蹟調査報告 文部省編 昭和一二
第一〇、一一編 明治天皇聖蹟
- 神武天皇風蹟志 (國府重東) 昭和一二 (二九五頁)
- 歴史地理の研究 (魚澄忠五郎) 昭和一二 (三三八頁)
- 國史奇説新學説考 (藤井尚治) 昭和一二 (三三二頁)
- 國祖の研究 (堀尾慶輔) 大正六
- 日本及日本國民之起原 (小谷部全一郎) 昭和九 (三九三頁)
- 日本建國の研究 (西村眞次) 外六者 (三六四頁)
- 四三—通 史
國史重要問題の研究 (鈴木茂乃夫) 昭和一二 (四三七頁)
- 國史大観 (藤井時太郎) 昭和一二
第一卷 序説、上古史(大和時代、飛鳥時代) 中古史(改新時代、奈良時代)(一一四五頁) 第二卷 中古史(平安時代)(一一五五頁)
- 日本古代史の基礎問題 (渡邊義通) 外三者 昭和一二 (三七三頁)
- 日本「古代」における土地所有關係の發展(渡邊義通) 上代における「部」その内容、意義及び歴史(早川二郎) 古代日本における政治的支配形態(伊豆公夫) 上代における社會經濟的構成(林澤修二)
- 四三—中 古 史
平家物語 (久松静一、石津紀道) 昭和一二 (二八頁)
- 改訂平家物語評釋 (内海弘藏) 昭和九 四五版
- 四三—近 古 史
鎌倉武士 (大町祥月) 明治四三 再版
- 增鏡新釋 (佐野保太郎) 昭和一二 (七二〇頁)
- 建武中興と新田義貞公 (和島芳男) 昭和一二 (二〇四頁)
- 四三—近 世 史
鳥原大戦記 (自第一卷 寫本 至第九卷 寫本)
- 隨筆赤穂浪士 (高須芳次郎(梅溪)) 昭和一二 (一四三—一三九)
- 幕末勤王思想の研究 (國學院大學道義會編) 昭和一二 (一九三頁)
- 古田松陰の讀書講學と佐久間象山(小柳司氣太) 大岡隆正と幕末の國學(河野者三) 眞木和泉守思想(松本村) 幕末志士の思想的背景(井野邊茂雄) 幕末思想界に於ける藤田東湖(岸本芳雄)

- 參新日本史 (木宮泰彦) 昭和一二 (四八五頁)
- 綜合國史概説 太田亮、阿部直喜 昭和一二 (七〇三頁)
- 日本國民思想史講話 石田文四郎 大正二三
- 新日本史參考 (吉田三男也) 昭和一二 (五一四頁)
- 增訂日本歴史 (長沼實海) 昭和一二 (五三三頁)
- 日本歴史概説 (英文) 嵐 一三二頁
- 神皇正統記講義 上・下 (今泉定介) 昭和一二 (四三三—四三三)
- 神皇正統記新釋 (森山右) 昭和一二 (三三八頁)
- 書記集解 卷下 (河村秀根) 昭和一二 (四五三頁) (國民精神文化文獻ノ五)
- 日本書紀通證 第一卷 (谷川士清) (國民精神文化文獻ノ五) (三二四頁) (國民精神文化文獻ノ五)
- 國六國史 第二 日本書紀下 今泉忠義編 昭和一二 (一四三—一三七)
- 近世日本國民史 德富猪一郎(蘇峯) 昭和一二 第五四卷 筑波山一帯の始末(五五五頁) 第五五卷 内外交渉篇(四五六頁) 第五六卷 長州征伐(四三〇頁) 第五七卷 幕長交戦(五二六頁)
- 日本外史新釋 (鳥田約) 昭和一二 (六二七頁)
- 四三—太 古 及 上 古 史
古事記のお話 (土水國男) 昭和一二 (三三三頁)
- 慶長以前の石燈籠 (天沼俊一) 昭和一二 (三六頁八八頁)
- 史的日本の特性 (栗田元次) 昭和一二 (四二八頁)
- 日本歴史考古學 (後藤守一) 昭和一二 (一〇四七—一〇三三頁)
- 民族點描 (中山太郎) 昭和一二 (三二〇頁)
- 有史以前の日本 (鳥居龍藏) 昭和一二 (四五〇頁)
- 史蹟調査報告 文部省編 昭和一二
第一〇、一一編 明治天皇聖蹟
- 神武天皇風蹟志 (國府重東) 昭和一二 (二九五頁)
- 歴史地理の研究 (魚澄忠五郎) 昭和一二 (三三八頁)
- 國史奇説新學説考 (藤井尚治) 昭和一二 (三三二頁)
- 國祖の研究 (堀尾慶輔) 大正六
- 日本及日本國民之起原 (小谷部全一郎) 昭和九 (三九三頁)
- 日本建國の研究 (西村眞次) 外六者 (三六四頁)
- 四三—通 史
國史重要問題の研究 (鈴木茂乃夫) 昭和一二 (四三七頁)
- 國史大観 (藤井時太郎) 昭和一二
第一卷 序説、上古史(大和時代、飛鳥時代) 中古史(改新時代、奈良時代)(一一四五頁) 第二卷 中古史(平安時代)(一一五五頁)
- 日本古代史の基礎問題 (渡邊義通) 外三者 昭和一二 (三七三頁)
- 日本「古代」における土地所有關係の發展(渡邊義通) 上代における「部」その内容、意義及び歴史(早川二郎) 古代日本における政治的支配形態(伊豆公夫) 上代における社會經濟的構成(林澤修二)
- 四三—中 古 史
平家物語 (久松静一、石津紀道) 昭和一二 (二八頁)
- 改訂平家物語評釋 (内海弘藏) 昭和九 四五版
- 四三—近 古 史
鎌倉武士 (大町祥月) 明治四三 再版
- 增鏡新釋 (佐野保太郎) 昭和一二 (七二〇頁)
- 建武中興と新田義貞公 (和島芳男) 昭和一二 (二〇四頁)
- 四三—近 世 史
鳥原大戦記 (自第一卷 寫本 至第九卷 寫本)
- 隨筆赤穂浪士 (高須芳次郎(梅溪)) 昭和一二 (一四三—一三九)
- 幕末勤王思想の研究 (國學院大學道義會編) 昭和一二 (一九三頁)
- 古田松陰の讀書講學と佐久間象山(小柳司氣太) 大岡隆正と幕末の國學(河野者三) 眞木和泉守思想(松本村) 幕末志士の思想的背景(井野邊茂雄) 幕末思想界に於ける藤田東湖(岸本芳雄)

竹内式部の思想的西義書と其意義(横井金男)
松永教授の「王道の研究と其の批判」を讀む(小柳可氣太)

鷗助 (安房(海舟) 明治三〇
ベルリ日本遠征記 未、M.C.ベルリ著 昭和一二
提督 鈴木則作譯

勤王都日記 (有馬新七 明治三六
事跡(一〇七頁)

四三六 今代史

維新史料綱要 阿史料編纂事務局發行 昭和一二
卷一(自弘化三年二月至安政元年一月)(六九二頁)
卷二(自安政二年正月至同五年六月)(六〇四頁)
卷四(自文久二年正月至文久三年十月)(六四九頁)
卷八(明治元年戊辰)(六四〇頁)

戊辰私記 (味岡實編 明治三六
(六五頁)

明治維新史讀本 田中憲五郎 昭和一二
(三六六頁)

明治大正國民史 明治修稿 (白柳武秀編) 昭和一二
(四四三頁)

日清、日露、戦争史話 (渡邊治郎 昭和一二
(四一〇頁)

支那事變畫報 大毎、東日 第一輯—第一五輯
新聞社發行 昭和一二—昭和一三、一
支那事變實記 讀賣新聞社編輯局編 昭和一二—昭和一三
第一輯 自事變勃發至八月三十一日
第二輯 自九月一日至九月三十日
第三輯 自十月一日至十月三十一日

支那戰線寫真 星野辰男編 第四輯—第二六輯 昭和一二—昭和一三
第四輯 自十一月一日至十一月三十日
第五輯 自十一月一日至十二月三十一日
第六輯 自十一月一日至十二月三十一日
第七輯 自十二月一日至十二月二十八日

上海通信 木村 毅 昭和一二

上海戰線 (編山 潤 昭和一二
(二六四頁)

北支陣中手記 (武藤富太郎(夜舟) 昭和一二
(二〇八頁)

聖戰忠話 小笠原長生 昭和一二
(四一〇頁)

支那忠烈日本魂 小西武夫 昭和一二
(二四四頁)

滿洲建國と滿洲上海大事變史 (九州日新新聞社編
(寫眞版二二八頁)

四三七 地方史

東京市史稿 東京市役所編 昭和一二
產業編第二 (九四三頁) 市街編第二八 (九二六頁)

長崎市史 長崎市役所編 昭和一二
地誌編(名勝蹟部) (一〇六一頁)

新北海道史 北海道廳編 昭和一二
第二卷 通説第一編 上古より平安朝に至る(五九四、八一七頁)
第三卷 通説第二編 開拓使時代及其前後(七〇四、八八二頁)
第四卷 通説第三編 北海道開拓時代(大正末期迄)(一〇一四、
一〇六九頁)
第七卷 北海道廳編
管轄略誌、年表統計、索引、編纂略程

古蹟調査報告 朝鮮總督府編 昭和一二
昭和七年 第二册 慶州忠孝里石室古蹟調査報告(有光教一)
昭和九年 第一册 慶州皇南里第百九號墳墓群
第一四號墳墓調査報告(齋藤忠)

朝鮮歴史讀本 朝、李濟源 (三四八頁)

四四〇 外國史

四四一 支那史

對譯十八史略新講 (宮野敏吉 昭和一二
(二八一頁)

同

新十八史略精解 (藤野貞二 昭和一二
(五八二頁)

滿洲建國五年小史 (國務院總務廳情報編 康徳四
(三二二頁)

鮮滿文化史觀 (島山喜一 昭和一〇
(二九六頁)

四四四 歐羅巴諸國史

世界大戰 第一卷—第九卷 英、W.チャール 昭和一二
廣瀬將等譯

エムデン陸戦隊 (岡、フオシ・ミハツネ著 尾崎主税譯
(二六四頁) 昭和一二

概觀フランス史 (廣瀬哲士 昭和一二
(二六九頁)

洪牙利史 (洪、フエルデナンド・メツゲル譯 昭和一二
(二七二頁)

四五一 叢傳

現國際人名辭典 國際事情研究會編 (四〇〇頁) 昭和一二

女性史研究 (下村三四吉外二三名
(四二八頁) 昭和一二

明治實話稿 附、感想雜智女錄 (村井鏡次郎(鏡鏡) 昭和一二
(二〇二頁)

偉人暗殺史 (坂井邦夫 昭和一二
(三五二頁)

四五二 日本人叢傳

偉人秘話 (山名次郎 昭和一二
(三三八頁)

明治、大志士秘録 (淺野謙郎 昭和一二
(三二二頁)

忠勇列傳 第五卷 滿洲上海 忠勇顯彰會編
事變之部 (八一八頁)

父の映像 (大友健 昭和一二
(三二八頁)

歴代總理大臣傳記全集 木村 毅 昭和一二
第七卷 西園寺公望傳 澤川 譯 昭和一二
第二卷 廣田弘毅傳

獨學博士の榮冠 (春山霞男 昭和一二
(三三三頁)

幕末三俊 (川崎三郎(紫山) 明治三〇
(二〇四頁)

朝鮮人名辭書 (朝鮮總督府中樞院編
(二四一六頁) 昭和一二

新大日本人名辭書 同刊行會編 昭和一二
第一卷 アーカミヤ 第二卷 カミヤータナカ

第三卷 タナカホリ 第四卷 マーウ補遺
第五卷 年表、系譜、索引、刀剣製造史、錫物製造

藏前工業會會員名簿 昭和二年用 (同會發行) 昭和一二
人事興信録 上、下 内尾直三編 昭和一二、十一版

中央大學學員名簿 昭和二年用 (同會編) 昭和一二
博士名鑑 昭和二年版 (同會編) 昭和一二

北海道と九州人 (佐藤一雄編) 昭和一二
北支在留邦人芳名録 (早川隆純編) 昭和一二

非常時軍部の人物展覧 (松下芳男) 昭和一二
非常時局と人物 (山浦賢一) 昭和一二

合津孝子傳 藤田祐治編 昭和一二 (福岡縣立圖書館)
青森縣人名録 昭和二年版 (東興日報社編) 昭和一二

愛媛縣先哲偉人叢書 (阿蘇教育會編) 昭和一二
第四卷 堀内平傳、三輪田元編 附、三輪田富傳 高房傳

女博士列傳 (附、陶野孫女史を語る(小松茂) 長島 謙
(二二〇頁) 昭和一二

皇國女性乃鑑 (八谷大輔編) 昭和一二

日本人は斯く鍛へられた (小瀧 淳) 昭和一二

四五三 支那人叢傳

支那機構と人物 (齊藤 晴) 昭和一二

皇國の姿 (和田信二郎) 昭和一二

四五六 皇室

正仁親王行實 (高松宮家藏版) 昭和一二

好仁親王、良仁親王、(高松宮家藏版) 昭和一二

日本武尊の研究 (池田未海) 昭和一二

グラント將軍との御對話筆記 (國民精神文化研究所編
(國民精神文化文獻第一四) 昭和一二

明治天皇と明治の建設 (渡邊義治郎) 昭和一二

明治天皇の哲學 (田中巴之助(哲學) 昭和一二

皇太子殿下第三艦隊記念寫真帖 (同艦隊司令部編
御 禮 歐 (寫真版一四四枚) 大正二〇 一四五五—一六
昭和一二 秩父宮兩殿下御高德錄 (本多徳治) 昭和一二 一四五六—一四

一四五七—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

一四五三—一七

四五八 系譜及家傳

加賀藩史料 第一編、前田家編 昭和一二
日享和元年至文化七年(昭和一二)

四五九 各 傳

淺野長動自叙傳 (同人著) 手島益雄編 昭和一二
山岡鐵舟おれの師匠 (小倉鐵樹、石津直等編) 昭和一二

親としての乃木將軍 (菊池又祐) 昭和一二

宇垣一成 (鎌田謙一郎) 昭和一二

植村正久傳 (青芳勝久) 昭和一二、再版

江藤二翁傳 (電房 區) 昭和一二

江藤基三郎(漢名) 昭和一二

回顧七十年 (正木直彦) 昭和一二

回想の寺田寅彦 (小林勇編) 昭和一二

巨人齋藤實 (村上貞一) 昭和一二

菊池寛傳 (鈴木氏) 昭和一二、再版

工學博士長谷川謹介傳 (同博士傳編纂會編
(三五頁) 昭和一二

侯爵久邇邦久傳 (武島喜三郎) 昭和一二

互算翁(野本恭八郎) (丸田龜太郎編) 昭和一二

五代五兵衛 (附、須藤 昭島彦次郎編) 昭和一二

西郷南洲先生傳 (南洲神社五十年祭奉賛會編) 昭和一二

造船家の生活設計 (吉岡彦一) 昭和一二

冊 分類

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

松陰本山彦一翁 (同傳編纂委員會編) 昭和一二

松陰本山彦一翁遺稿 (同傳編纂委員會編) 昭和一二

聖人中江藤樹 (柴田共五郎) 昭和一二

男爵山川先生遺稿 (新城新藏) 昭和一二

中江藤樹 (大久保 昭) 昭和一二

新島襄 (根岸謙三郎) 大正一二 五版

人間豊臣秀吉 (藤高橋一郎) 外四十一名著 昭和一二

伯爵伊東巳代治 上、下 栗原廣太 昭和一二

伯爵鹿島萩藏 (伯爵鹿島家編) 昭和一二

原田二郎傳 上、下 原田積善會編 昭和一二

林銑十郎傳 (神山友義) 昭和一二

福田大將傳 (黒坂勝美) 昭和一二

古市公威 (同男爵記念事業會編) 昭和一二

北條時宗 (菅谷勝義(秋水) 明治四二 再版

キヤラウ森永太郎傳 (山本清月) 昭和一二

本居宣長の研究 (國學院大學道義學會編) 昭和一二

山縣大貳 (町田源太郎(柳菴) 明治四三 三版

山鹿素行先生 (松本純郎) 昭和一二

山中鹿介の概観 (谷口龍淵編) 昭和一二

樂翁公傳 (藤田榮一) 昭和一二

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

一四五九—一七

田園陶淵明 村上忠治 昭和一二
詩人陶淵明 (一八〇頁) (春秋文庫第二部)

偉大なる教師ナルゲン 岩橋武夫、芥川潤共譯
ケイブロン將軍 (卷首題) (谷部一佐) 昭和一二
附、ダランド大統領來朝の真相

クラーク先生とその弟子達 大島正健 昭和一二

スターリン傳 (譯、ドミトリエフ著) 上藤進譯
智能の英雄 エドワード・ボック 京谷大助 昭和一二

トルストイ最後の日記 (文學アカデミア註釋) 八住利雄譯
聖へれん・けらあ 神野岩三郎 昭和一二

ヘレン・ケラー 小室篤次 昭和一二

ナボレオン回想録 (佛、スタングアル著) 佐藤正彰譯
農村産業ライフアイゼン (獨、ウイリケレニアス著) 原三郎譯
組合の文 (一八四頁) 昭和一二

四六〇 地誌、紀行

政治地理學研究 上、下 飯本信之 昭和一二
(上四三〇頁下七三二頁)

四六三 世界紀行及案内記

歐亞新風景 (橋爪憲(橋爪) 昭和一二)
周遊六萬軒 渡邊良助 昭和一二

一〇四五九—一〇三三

一〇四五九—一〇三三
一〇四五九—一〇二七

二〇四五九—一〇二四

一〇四五九—一〇二三

一〇四五九—一〇一八

一〇四五九—一〇一一

一〇四五九—一〇一〇

一〇四五九—一〇一〇

一〇四五九—一〇二六

一〇四五九—一〇二五

一〇四五九—一〇一五

世界一周 (佛、ジャン・コクトオ著) 堀口大學譯 昭和一二
世界の處女地を行く (三好武二) 昭和一二
歐羅巴東洋人の旅 (齊藤清衛) 昭和一二
紀行東洋人の旅 (四三三頁)
未開地 (安藤一) 昭和一二

四六五 探險及漂流記

南北極地探險記 (加宮真一) 昭和一二
(四一〇頁) (世界探險探險叢書)

四六九 雜 書

湖沼學 吉村信吉 昭和一二

山岳雪崩 (坂部護郎) 昭和一二

アルプス記 (松方三郎) 昭和一二

山に逝ける人々 (日本山岳遺跡史) 春日俊吉 昭和一二
(三三二頁) (改題増補)

四七〇 萬國誌

世界小國地誌 (國松久編) 昭和一二

新修外國地理 (山上德信) 昭和一二

四八〇 本邦誌
分類日本地理 (山本幸雄) 昭和一二
(二八六頁)

一〇六三—一〇八六

一〇六三—一〇八三

一〇六三—一〇七

一〇六三—一〇八

一〇六三—一〇九

一〇六三—一〇六

一〇六三—一〇五

一〇六三—一〇七

一〇六三—一〇七

一〇六三—一〇五

一〇六三—一〇五

日本風景讀本

風景協會編 昭和一二
(二五六頁) (寫眞版二四枚)

四八二 地 圖

大日本分縣地圖 併、地方名總覽 日下伊兵衛編
昭和一二 年 版 昭和一二

四八三 紀行及案内記

幾山河 若山牧水 昭和一二
(三三九頁)

ガイド旅子 中西芳朗 昭和一二 四版
(六二二頁)

紀行文・俳文 高濱成子 昭和一二
(四七一頁)

日本交通風土記 都築之助 昭和一二
(五〇〇頁)

老記者の旅 德富庸一郎(蘇峰) 昭和一二
(三五二頁)

道中閑話 和田篤重 昭和一二
(二九九頁)

名勝調査報告 第三輯 文部省編 昭和一二
(一一〇頁圖版二九枚)

名勝旅程案内 吉田圃編 昭和一二
(六三四頁)

山嶽と海洋 渡邊萬次郎 昭和一二
(二五四頁)

登山案内 風道省編 昭和一二
(二二三頁)

伊邪那美尊神祇の研究 山陰史蹟協會編 昭和一二
(二二二頁)

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

四八四 本 州

相模腰越考 (矢野龍溪) 昭和一二 普及版
(二〇〇頁)

銀座百話 藤田錦造 昭和一二
(三〇一頁)

常陸風土記の研究 (室積虎男) 昭和一二
(一六〇頁)

枝正郷里雜記 (八木美穂著) 岩倉章夫編 昭和一二
(一五〇頁)

四八八 朝 鮮

匠人談義 (藤島支治郎) 昭和一二

四八九 臺灣、樺太

臺灣の山と蕃人 (田中一善) 昭和一二
(四一八頁)

四九〇 外國誌

四九一 亞細亞誌

新西域記 (大谷家藏編) 上原芳太郎編 昭和一二
(上下八—八頁) (圖版上九二枚下二〇六枚)

上卷 パミール紀行(序篇) 入新編日記(本田惠隆)

タシケントガシ通信(渡邊哲信)

スリナガル通信(本田惠隆) 印度紀行(上原芳太郎)

錫蘭海在小記(島地大等)

尼波羅探検日記(清水謙)

尼波羅通信(島地大等) 孟買通信(藤井立政)

龍樹天親兩菩薩遺蹟探査(和氣善巧)

龍樹菩薩遺蹟探査(青木文敏)

龍樹より雲南へ(前田徳水) 雲南紀行(前田徳水)

大崎山紀行(同人) 石經山紀行(上原芳太郎)

善導大師の遺跡に就いて(大谷光瑞) 長安發願碑記(渡邊哲行)

唐の諸陵墓を採る(藤島) 乾陵の探査(藤島)

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

一〇四八—一〇三三

自由連枝連環刺刺と會見す(堀賢雄)
 西藏入國記(青木文政) 印度隨遊記(足利瑞義)
 印度隨遊小記(柱本瑞俊)
 釋尊入滅の地(那羅維の遺蹟に就いて(青木文政)
 中央亞細亞探險記(渡邊哲信) 西域旅行日記(渡邊哲信)
 蒙古新探險旅行日記(野村榮三郎) 支那紀行(吉川小一郎)
 新疆通信抄(橋本超) 中央探險(橋本超)
 新疆探險記(同人)
 補遺 編向より蘭州に至る旅程表(渡邊哲信)
 北京より喀什噶爾に至る旅程表(堀賢雄)
 附録一 中亞探險(羽田亨) 西本願寺の發掘物(内藤虎次郎)
 同二 朝鮮總督府博物館中央亞細亞發掘品目録
 關東廳博物館大谷家出品目録

四九三 支那誌

北支那の地理 佐々木清治 昭和一二
 支那讀本 長野朝 昭和一二
 土匪村行脚 後藤朝太郎 昭和一二
 戦禍の北支上海を行く 吉屋信子 昭和一二
 躍進支那を診る 神田正雄 昭和一二
 悲風千里 尾崎士郎 昭和一二

北支通覽 東洋事情研究会編 昭和一二
 北支八省の資源 馬場敏太郎 昭和一二
 北支事情綜覽 滿鐵總務部資料課編 昭和一二
 隣邦ロシヤ 秦彦三郎 昭和一二

冊 分類 巻號
 一四九三—三六
 一四九三—三五
 一四九三—三四
 一四九三—四三
 一四九三—四二
 一四九三—四一
 一四九三—四〇
 一四九三—三九
 一四九三—三八

支那人・文化・風景 (小田巖夫 昭和一二)

南滿の影壁 林富喜子 昭和一二
 思ひ出 西野耕正 昭和一二
 吉林地史 西野耕正 昭和一二
 滿鐵を語る 松岡洋右 昭和一二
 滿洲國現勢 康徳四年版 松本於菟男編 昭和一二
 滿洲國地方事情 鹿野政一編 滿洲國大同學院編 康徳元

蒙古高原横斷記 東亞考古學會蒙古調査班 昭和一二
 印度佛跡を観る 菅久光 昭和一二
 最近の印度地誌 高橋四郎 昭和一二

埃及紀行 天沼俊 昭和一二
 歐洲紀行 横光利一 昭和一二
 歐羅巴諸國誌 近歐米各國事情 井上徳太郎 昭和八

フランス通信 藤澤敏一 昭和一二

一四九三—二八
 一四九三—二七
 一四九三—二六
 一四九三—二五
 一四九三—二四
 一四九三—二三
 一四九三—二二
 一四九三—二一
 一四九三—二〇
 一四九三—一九
 一四九三—一八
 一四九三—一七
 一四九三—一六
 一四九三—一五
 一四九三—一四
 一四九三—一三
 一四九三—一二
 一四九三—一一
 一四九三—一〇
 一四九三—〇九
 一四九三—〇八
 一四九三—〇七
 一四九三—〇六
 一四九三—〇五
 一四九三—〇四
 一四九三—〇三
 一四九三—〇二
 一四九三—〇一
 一四九三—〇〇

ソグエト紀行修正 佛、アンドレ・ジイド著 堀口大率譯 (二七四頁) 昭和一二
 ソグエト滞在記 野野金政 昭和一二
 ソグエト旅行記 佛、アンドレ・ジイド著 小松清譯 (二四六頁) 昭和一二
 隣邦ロシヤ 秦彦三郎 昭和一二

四九八

北亞米利加周遊記 一〇三階 岩本信一郎 昭和一二
 北米合衆國新地誌 楠田謙雄 昭和一二

南洋叢書 佐田弘治郎 昭和一二
 第一卷 關領東印度篇(經濟資料別冊)
 第二卷 佛領東印度支那篇

南方政策を現地に視る 船原勝治等著 日本外事協會編 (三九三頁) 昭和一二
 日本の南洋群島 南洋協會南洋群島支部 昭和一〇

一四九七—五三
 一四九七—五二
 一四九七—五一
 一四九七—五〇
 一四九七—四九
 一四九七—四八
 一四九七—四七
 一四九七—四六
 一四九七—四五
 一四九七—四四
 一四九七—四三
 一四九七—四二
 一四九七—四一
 一四九七—四〇
 一四九七—三九
 一四九七—三八
 一四九七—三七
 一四九七—三六
 一四九七—三五
 一四九七—三四
 一四九七—三三
 一四九七—三二
 一四九七—三一
 一四九七—三〇
 一四九七—二九
 一四九七—二八
 一四九七—二七
 一四九七—二六
 一四九七—二五
 一四九七—二四
 一四九七—二三
 一四九七—二二
 一四九七—二一
 一四九七—二〇
 一四九七—一九
 一四九七—一八
 一四九七—一七
 一四九七—一六
 一四九七—一五
 一四九七—一四
 一四九七—一三
 一四九七—一二
 一四九七—一一
 一四九七—一〇
 一四九七—〇九
 一四九七—〇八
 一四九七—〇七
 一四九七—〇六
 一四九七—〇五
 一四九七—〇四
 一四九七—〇三
 一四九七—〇二
 一四九七—〇一
 一四九七—〇〇

五〇〇 法制

九州帝國大學法文 法學論文集 (阿武京二郎編 昭和一一
學部十周年記念 (一〇三二頁)
手形の優格性に就いて(野津勝)
ヘーゲル國家論におけるフアラッショの要素(今中次郎)
裁判官と陪審との職分(田中和夫)
近世懲役刑小考(廣本龍平)法研究序章(金田平一郎)
北九州五都市合併問題の検討(宇賀田順三)
歐羅巴中世紀に於ける平和觀念(中世國際法論者判例の特
異性の根據として(野見山温)
個人主義的、民主主義國家觀と國家法人説(佐治謙讓)
英國に於ける略式刑事手續(田村豐)
行政法の類型(林田和博)
生命權侵害に基づく損害賠償請求權に關する私法理論
意見表示の錯誤(民法第九十五條の理論と判例(舟橋洋一)
羅馬法の展開—マンキパチオとマメミツシオを中心として
(武藤賢雄)
憲法に關する伊藤巳代治の意見を中心として(河村文介)
安全保障に於ける相互援助條約の地位(大澤章)
労働契約の本質—その社會的性質について(菊地勇夫)

五〇〇 國家學

一般國家學 獨・H・J・レンゼン 昭和一一(八三三頁)
津澤四郎譯(京城帝國大學法學會議議叢書第一卷)
構成地理學と國防政策 (中村良之助 昭和一一
(一九〇一頁)
國家學 (アリストテレス著 青木巖譯
(三七八頁) 昭和一一
日本國家學 (藤澤銀雄、大串重代夫 昭和一一
(二二二頁)
日本民族の政治哲學 (藤澤銀雄 昭和一一
(五九八頁)
五一一 政治史及政治學史
日本憲政史論集 (尾佐竹編 昭和一一
(三八五頁)

冊 分類 巻號

一五〇〇—一四

五二三 憲法

憲法原理 (今長定之助 昭和一一
(一四八頁)
憲法制定と歐米人の評論 (金子聖太郎 昭和一一
(三九三頁)
日本憲法論 上巻 (黒田覺 昭和一一
(二四八頁)
日本憲法制定史講 (渡邊義太郎 昭和一一
(四二二頁)
五一一 議院法、選舉法
昭和一二年衆議院委員會先例彙纂(同院事務局編 昭和一一
七月改訂衆議院先例彙纂(同院事務局編 昭和一一
七月改訂衆議院先例彙纂(三二五頁)
五一一 行政法
關東局施政三十年業績調查資料(同局文書課編 昭和一一
關東局施政三十年史(同局編 昭和一一
朝鮮總督府施政年報(昭和一一年度同府編
(六二五頁) 昭和一一
大日本帝國勳章記章誌(勳章會編 昭和一一
(一六九頁)

冊 分類 巻號

一五〇〇—一四

五二六 內務行政

巡查看守消防手受驗獨習三週問(岩崎高敏 昭和一一
(二二七頁)
巡查看守消防部補助消防手 都築彌太郎 昭和一一
試驗問題及解答集(四一〇頁)
警視廳、各府廳巡查員實際試驗 橋原清次 昭和一一
新領土、外務省 問題解答案(三三三頁)
五二七 地方行政
自治行政叢書 常盤書房發行 昭和一一(昭和一一
(一五二—一五三)

冊 分類 巻號

一五〇〇—一四

地方自治の基本問題

日本都市年鑑 昭和一二年版 東京市政調査會編 昭和一二
(一〇〇六頁) 昭和一二
有栖川宮記選錄 第五輯 高松宮家發行 昭和一二
念厚生資金選錄 (二一八頁)
五一九 政治論說、雜書
英國敢て挑戦するか (池崎忠孝 昭和一二(二三〇頁)
石原莞爾 (西郷潤作 昭和一二
(三八四頁)
動く北支 (高橋坦校閱、第二國民會編輯部編
(二七七頁) 昭和一二
關東州地回順座談會 (同編長官、労働課編
(一八六頁) 昭和一二
近代支那論 (矢野仁、大正五
(三七三頁)

現代支那の政治と人物

抗日論 「如何にして抗日」 支、再分石外一八名 昭和一二
國民精神總動員と 佐藤隆徳 昭和一二
戦時戦後の學校經營 (二九四頁)
國際日本の自覺 (杉森孝二 昭和一二
(一七四頁)
國策大衆講座 人文社 昭和一一
第一巻 革新政綱概論(麻生久)(三三五頁)
重要産業國策論(片山哲)(三三五頁)

冊 分類 巻號

一五二七—五二

五二三 憲法

憲法原理 (今長定之助 昭和一一
(一四八頁)
憲法制定と歐米人の評論 (金子聖太郎 昭和一一
(三九三頁)
日本憲法論 上巻 (黒田覺 昭和一一
(二四八頁)
日本憲法制定史講 (渡邊義太郎 昭和一一
(四二二頁)
五一一 議院法、選舉法
昭和一二年衆議院委員會先例彙纂(同院事務局編 昭和一一
七月改訂衆議院先例彙纂(同院事務局編 昭和一一
七月改訂衆議院先例彙纂(三二五頁)
五一一 行政法
關東局施政三十年業績調查資料(同局文書課編 昭和一一
關東局施政三十年史(同局編 昭和一一
朝鮮總督府施政年報(昭和一一年度同府編
(六二五頁) 昭和一一
大日本帝國勳章記章誌(勳章會編 昭和一一
(一六九頁)

冊 分類 巻號

一五〇〇—一四

五二六 內務行政

巡查看守消防手受驗獨習三週問(岩崎高敏 昭和一一
(二二七頁)
巡查看守消防部補助消防手 都築彌太郎 昭和一一
試驗問題及解答集(四一〇頁)
警視廳、各府廳巡查員實際試驗 橋原清次 昭和一一
新領土、外務省 問題解答案(三三三頁)
五二七 地方行政
自治行政叢書 常盤書房發行 昭和一一(昭和一一
(一五二—一五三)

冊 分類 巻號

一五〇〇—一四

五二四 國家宣傳

國・イ・ヴグイエ 國家宣傳と高麗第二部譯 昭和一二
トを中心としたアジアナリズム統制(二二二頁)
思想戦と宣傳 (神田孝一 昭和一一
(一九二頁)
支那事變解決論 (肥田琢司 昭和一一
(一九〇頁)
支那の再認識 (長野 昭 昭和一一
(四一四頁)
支那の全貌 (竹内夏樹等 昭和一一
(一五九—一六二)
支那の知識 (高木隆郎外一七名、清澤潤、濱伏高信共編
(三七三頁) 時局シリーズ第二巻(昭和一一)
支那は生存し得るか (H・H・ヒンガム、共著 村田牧郎
譯(三三九頁) 昭和一一
昭和の青年と世界の展望 (下位春吉 昭和一一
(三五〇頁)
スペイン革命の政治的基礎 T・レハル共著 昭和一一
青年日本の指標 (宮伏高信 昭和一一
(四〇二頁)
赤軍は嘲笑ふ (三〇〇頁)
赤色アジアが防共アジアか (中保興作 昭和一一
(四五四頁)
政界夜話 (城東謙士 昭和一一
(五九七頁)
政治と社會 (堀 眞琴 昭和一一
(二八三頁)
制度・時・人 (末川 博 昭和一一
戦後の施設と陸軍の動向(回答書)(二二八頁) 昭和一二
戦時概言 (徳富春一郎(蘇峰) 昭和一一
同 (二九四頁)
戦捷に續くもの (國際情報研究會編 昭和一一
(二六二頁)

冊 分類 巻號

一五二七—五二

五二六 內務行政

巡查看守消防手受驗獨習三週問(岩崎高敏 昭和一一
(二二七頁)
巡查看守消防部補助消防手 都築彌太郎 昭和一一
試驗問題及解答集(四一〇頁)
警視廳、各府廳巡查員實際試驗 橋原清次 昭和一一
新領土、外務省 問題解答案(三三三頁)
五二七 地方行政
自治行政叢書 常盤書房發行 昭和一一(昭和一一
(一五二—一五三)

冊 分類 巻號

一五〇〇—一四

祖國を顧みて (香野 昭和一二) 一五二九三三
 蘇聯を監視せよ (池崎忠孝 昭和一二) 一五二九三六
 ツ聯の真相 (古村忠三 昭和一二) 一五二九三九
 對支政策の本流 (中山俊 昭和一二) 一五二九四二
 一獨第二次世界大戰 (國際政治研究會編 昭和一二) 一五二九四五
 獨逸大觀 一九三七—三八年版 (光永星郎編 昭和一二) 一五二九四八
 獨逸大觀 (下村 安(海南) 昭和一二) 一五二九五〇
 東亞の理想 (室伏高信 昭和一二) 一五二九五二
 謎の國・支那の全貌 (二六六頁) 一五二九五三
 ナチス華戰時國家體制 (獨、F.ヘルムート著 昭和一二) 一五二九五九
 南洋は日本をいかに見るか (竹井十郎 昭和一二) 一五二九六〇
 日獨防共協定の意義 (松岡洋右 昭和一二) 一五二九六一
 日支共存への道 (長野 朗 昭和一二) 一五二九六二
 同 一五二九六三
 日支事變と次に來るもの (武藤貞一 昭和一二) 一五二九六四
 國際政治 日支の抗爭 (田中直吉 昭和一二) 一五二九六五
 日・支遂に敵か! (水上茂編 昭和一二) 一五二九六七
 日本に迫る影 (米、マイルス・ゴアソン著 鈴木東民譯 昭和一二) 一五二九六八
 日本の南進策を世界は斯く見る (國際情報研究會編 昭和一二) 一五二九六九
 日本は支那を如何する (中野正剛 昭和一二) 一五二九七〇
 日本はどうなるか (尾崎行雄(夢堂) 昭和一二) 一五二九七一

一五二九三三
 一五二九三六
 一五二九三九
 一五二九四二
 一五二九四五
 一五二九四八
 一五二九五〇
 一五二九五二
 一五二九五三
 一五二九五九
 一五二九六一
 一五二九六二
 一五二九六三
 一五二九六四
 一五二九六五
 一五二九六七
 一五二九六八
 一五二九六九
 一五二九七〇
 一五二九七一

排外支那の解剖 (貴島外交研究會編 昭和一二) 一五二九四三
 反日デマに踊る列國輿論 (内外資料協會編 昭和一二) 一五二九四四
 非常時局にたつ近衛公 (福岡靜祐 昭和一二) 一五二九四五
 時局百科要覽 (附錄、時局要地圖五葉 下中彌三郎編 昭和一二) 一五二九四六
 百千萬民衆に訴ふ (附、西安監禁日記 支、蔣介石 竹田俊郎譯 昭和一二) 一五二九四七
 フラツシズムと其國家理論 (五來欣造 昭和一二) 一五二九四八
 風雲の滿ソ國境 (岩田孝三外一二名 茂森唯士編 昭和一二) 一五二九四九
 武人國を懲るか (野依秀一 昭和一二) 一五二九五〇
 米國極東政策の真相 (米、ワルフ・タウソン著 大江專一譯 昭和一二) 一五二九五二
 包圍された日本 (石丸龜太 昭和一二) 一五二九五三
 滿洲國出現の合理性 (ブロンソン・レイ著 田村幸策譯 昭和一二) 一五二九五四
 ユダヤの人々 (安江仙弘 昭和一二) 一五二九五五
 新法學辭典 上、下 (末川博編 昭和一二) 一五二九五七
 法哲學 (尾高慎雄 昭和一二改訂) 一五二九五八
 考試口述提要 (岡村正男、尾山萬次郎 昭和一二) 一五二九五九
 五二一 法 規 一五二九六〇

一五二九四三
 一五二九四四
 一五二九四五
 一五二九四六
 一五二九四七
 一五二九四八
 一五二九四九
 一五二九五〇
 一五二九五二
 一五二九五三
 一五二九五四
 一五二九五五
 一五二九五七
 一五二九五八
 一五二九五九
 一五二九六〇

五二〇 法律

大審院 民事裁判例集 (尾山萬次郎 昭和一二) 一五二九六一
 ソグエイト 説、イェー・ペー・パルネカー・メス著 山之内一郎譯 (五〇四頁) 昭和一二 一五二九六二
 國際法概論 (田中直吉 昭和一二) 一五二九六三
 空襲と國際法 (田中直吉 昭和一二) 一五二九六四
 外務省公表集 第一五輯 (外務省編) (二二二頁) 一五二九六五
 五二九 論説、雜書
 六法に諸願届書式大全 (岸 藏吉 昭和一二) 一五二九六六
 婦人の法律 (石川時之助 昭和一二) 一五二九六七
 法律相談 (大平 久 昭和一二) 一五二九六八
 法憲秘聞 (尾佐竹盛 昭和一二) 一五二九六九
 五三〇 古代法制
 日本國家と聖德太子 (眞宗各派協和會編 昭和一二) 一五二九七〇
 五三一 公 家
 延喜式 春第十(舊翻版) (神宮皇學館發行 昭和一二) 一五二九七一
 五三三 官 職
 諸家官位昇進之次第 寫本 一五二九七二
 五三六 支那古代法制 一五二九七三

一五二九六一
 一五二九六二
 一五二九六三
 一五二九六四
 一五二九六五
 一五二九六六
 一五二九六七
 一五二九六八
 一五二九六九
 一五二九七〇
 一五二九七一
 一五二九七二
 一五二九七三

米穀法規 (柴野和真夫 昭和一二) 一五二九七四
 民法大要 (石川文次郎 昭和一二) 一五二九七五
 ナボレオンと佛蘭西民法 (宮崎孝次郎 昭和一二) 一五二九七六
 五二三 商 法 一五二九七七
 手形法 (大橋光雄 昭和一二) 一五二九七八
 健康保險通解 (田上明男 昭和一二) 一五二九七九
 破産法・和議法大要 (香藤富三郎 昭和一二) 一五二九八〇
 五二四 刑 法 一五二九八一
 刑法雜筆 (瀧川幸辰 昭和一二) 一五二九八二
 五二五 訴訟法 一五二九八三
 假處分申請と其裁判 (澤村正路 昭和一二) 一五二九八四
 岸清一訴訟記録集 岸同門會編 昭和一二) 一五二九八五
 第一輯 特許審判篇 (一三三頁) 一五二九八六
 第七輯 民事篇 (二二六頁) 一五二九八七
 〇
 實務を中心 民事裁判手續 (竹田元一 昭和一二) 一五二九八八
 として 一五二九八九
 五二七 判決例 一五二九九〇

一五二九七四
 一五二九七五
 一五二九七六
 一五二九七七
 一五二九七八
 一五二九七九
 一五二九八〇
 一五二九八一
 一五二九八二
 一五二九八三
 一五二九八四
 一五二九八五
 一五二九八六
 一五二九八七
 一五二九八八
 一五二九八九
 一五二九九〇

五二八 國際法
 大審院 民事裁判例集 (尾山萬次郎 昭和一二) 一五二九六一
 ソグエイト 説、イェー・ペー・パルネカー・メス著 山之内一郎譯 (五〇四頁) 昭和一二 一五二九六二
 國際法概論 (田中直吉 昭和一二) 一五二九六三
 空襲と國際法 (田中直吉 昭和一二) 一五二九六四
 外務省公表集 第一五輯 (外務省編) (二二二頁) 一五二九六五
 五二九 論説、雜書
 六法に諸願届書式大全 (岸 藏吉 昭和一二) 一五二九六六
 婦人の法律 (石川時之助 昭和一二) 一五二九六七
 法律相談 (大平 久 昭和一二) 一五二九六八
 法憲秘聞 (尾佐竹盛 昭和一二) 一五二九六九
 五三〇 古代法制
 日本國家と聖德太子 (眞宗各派協和會編 昭和一二) 一五二九七〇
 五三一 公 家
 延喜式 春第十(舊翻版) (神宮皇學館發行 昭和一二) 一五二九七一
 五三三 官 職
 諸家官位昇進之次第 寫本 一五二九七二
 五三六 支那古代法制 一五二九七三

一五二九六一
 一五二九六二
 一五二九六三
 一五二九六四
 一五二九六五
 一五二九六六
 一五二九六七
 一五二九六八
 一五二九六九
 一五二九七〇
 一五二九七一
 一五二九七二
 一五二九七三

戰時經濟の基礎知識 岩井良太郎 昭和一二 一五九三〇五
 戰時社會經濟體制 小濱重雄 昭和一二 一五九三〇七
 戰時體制と日本 田中辰志 昭和一二 一五九三〇八
 戦争と財産 野田豊 昭和一二 一五九三〇九
 戦争の經濟學 藤田貞次 昭和一二 一五九三一一
 戰時體制讀本 大塚、東日、エコノミスト部編 一五九三一二
 獨占資本と物質 堀江、グエ、セレブリア、コフ著 昭和一二 一五九三一三
 ナチス經濟法 日滿財政經濟研究會編 昭和一二 一五九三一四
 ナチスの經濟と哲學 獨、ヘルマン、ゴロツク、ナチ 一五九三一五
 北支經濟讀本 小島精一 昭和一二 一五九三一六
 物の經濟 太田正孝 昭和一二 一五九三一七
 躍進ソグエト經濟讀本 直井武夫 (三三四頁) 一五九三一八
 列強の戰時 露、R、M、ブルツ、パン著 昭和一二 一五九三一九
 經濟政策 白谷忠三譯 (現代國防研究叢書第一卷) 一五九三二〇
 我國の戰時經濟 渡多野郎 昭和一二 一五九三二一

五五〇 財政

財政學入門 井澤宇編 昭和一二 一五九三二二
 租稅讀本 大塚、東日、エコノミスト部編 昭和一二 一五九三二三

五六〇 統計

印紙稅法の起源と 田中秀吉 昭和一二 一五九三二四
 其の史的展開 (二九八頁)
 相續稅の話 藤正康 昭和一二 一五九三二五
 取引稅の研究 安藤春夫 昭和一二 一五九三二六
 五五五 國 債
 軍事公債論 英、リカード著 三田村一郎、井手文雄譯 一五九三二七
 公社債年鑑 山一證券株式會社調查部編 昭和一二 一五九三二八
 五五八 論說、雜書
 財政讀本 上方成美 昭和一二 一五九三二九
 銃後の財政經濟 附、臨時資金調製法解説 賀屋興宣 一五九三三〇
 戦争と増稅 山崎源太郎 昭和一二 一五九三三一
 五六一 本邦統計表
 出生・出生・死産及 患胎時圍產會編 昭和一二 一五九三三二
 乳幼児死亡統計 (二八五頁、附圖五〇枚) 一五九三三三
 父母の年齢と 内閣統計局編 昭和一二 一五九三三四
 出世との關係 (五四頁) (調査資料第一輯) 一五九三三五
 五六三 臺灣、朝鮮及道府縣統計表
 高砂族調查書 臺灣總督府警務局理番課編 昭和一二 一五九三三六
 第二編 生活 (六九七頁) 第三編 進化 (六〇七頁) 一五九三三七
 第四編 總括 (四〇三頁) 一五九三三八
 拓務統計 昭和一〇年 (二四二頁) 拓務大臣官房文書課編 昭和一二 一五九三三九
 朝鮮總督府統計年報 昭和九・一〇 朝鮮總督府編 昭和一二 一五九三四〇

第五南洋廳統計年鑑 同廳長官文書課編 昭和一二 一五九三四一
 南洋群島々勢調查書 南洋廳編 (一六六頁) 昭和一二 一五九三四二
 第一卷 統計表 (七三二頁) 第二卷 願末 (八六頁) 附圖四七枚) 一五九三四三

五七〇 社會

教育的社會學 田制佐重 昭和一二 一五九三四四
 ゲマインシャフト (新明正道) 昭和一二 一五九三四五
 社會心理學 英、M、ギンズ、スパー、ク著 昭和一二 一五九三四六
 集團社會學原理 松本潤一郎 昭和一二 一五九三四七
 日本社會學 (一六二頁) 昭和一二 一五九三四八

五七四 青年團

當世世波心得讀本 小林清治 昭和一二 一五九三四九
 の泉
 職業指導講話 小山文太郎 昭和一二 一五九三五〇
 學生諸君に 就職必携 穴田秀男 昭和一二 一五九三五〇
 青年團の經營實踐 榎原保、栗下喜久次郎 昭和一二 一五九三五〇
 五七五 工場及勞働
 工場經營統計 群翁之助 昭和一二 一五九三五〇
 工場災害防止の研究と實例 實業編輯部 昭和一二 一五九三五〇
 工場事務管理論 金子利八郎 昭和一二 一五九三五〇
 工場防護施設の實際 船野久香 一五九三五〇
 熟練の科學 米、セリス、グレス著 昭和一二 一五九三五〇
 全國工場職山退職 佐々木節 昭和一二 一五九三五〇
 解雇手當規程輯覽 (五五六頁) 昭和一二 一五九三五〇
 退職積立金及退職手當法釋義 (六五五頁) 昭和一二 一五九三五〇
 滿洲工場要覽 昭和一〇年 長水義正編 昭和一二 一五九三五〇
 勞働統計要覽 昭和五年版 内閣統計局編 昭和五年 一五九三五〇
 勞働年鑑 昭和一年 (六二七頁) 昭和一一 一五九三五〇
 勞働年鑑 昭和二年版 町田辰次郎編 昭和一二 一五九三五〇
 勞務管理 桐原健兒 昭和一二 一五九三五〇
 (工業經營叢書第九卷) 一五九三五〇
 五七六 濟民、感化、慈善 一五九三五〇

濟世顧問制度之精神 笠井信一著 昭和一二
 少年不良化の 第一輯 日本少年指導會編 昭和一二
 原因と其對策 (三九七頁)

五七七 犯 罪

五七八 家族及男女問題
 家の問題と家族 江原小彌太 昭和一二
 (四〇二頁)

家庭讀本 石井滿 昭和一二
 (三四九頁)

女性讚美と母性崇拜 實川豐彦 昭和一二
 (四三二頁)

人生讀本 福井才平 昭和一二
 (五五六頁)

日本農村婦人問題 主婦、母性篇 丸岡秀子 昭和一二
 評論 婦人と世相 山川菊榮 昭和一二
 (二九五頁)

五七九 論說、雜書

次代の廓清 安部磯雄 昭和一二
 (二八八頁)

支那原始社會史考 支、呂振羽著 昭和一二
 後藤富男譯 (二九四頁)

支那人街 四五本八郎 昭和一二
 (三二〇頁)

世界の一環としての日本 戸坂潤 昭和一二
 (四三八頁)

世界征服を 岡、リリー・アベック著 昭和一二
 目ざすもの 鈴木東民譯 (三六〇頁)

世界よ何處へ行く 岡、ヘルマン・ヘルナーニ著 昭和一二
 増富平譯 (二七三頁)

現代世相讀本 阿部眞之助 昭和一二
 (六四七頁)

謎のロシア「新著ロシアの全貌」 昇曙夢 昭和一二
 (三三七頁)

第二の暴虐支那の正體 附、赤露の動向 笠井允司
 スベイン 昭和一二 (二八四頁)

一〇五六一—四四
 冊 分類 書誌
 一〇五七—三六
 冊 分類 書誌
 一〇五八—九七
 冊 分類 書誌
 一〇五九—八八
 冊 分類 書誌
 一〇六〇—二〇〇
 冊 分類 書誌
 一〇六一—九六
 冊 分類 書誌
 一〇六二—四五
 冊 分類 書誌
 一〇六三—四八
 冊 分類 書誌
 一〇六四—五三
 冊 分類 書誌
 一〇六五—四六
 冊 分類 書誌
 一〇六六—四九
 冊 分類 書誌
 一〇六七—四四
 冊 分類 書誌
 一〇六八—四七
 冊 分類 書誌
 一〇六九—五一
 冊 分類 書誌
 一〇七〇—五二
 冊 分類 書誌

蒙古社會制度史 露、ボリス・ウラヂミルツォフ著
 外務省調査部譯 昭和一二

五八〇 風 俗

山村生活の研究 柳田國男編 昭和一二
 (五六二頁)

朝鮮風俗資料集説 朝鮮總督府中樞院發行
 扇 左編 打毬 砲 (四九六頁)

五九〇 家 政

衣類整理難問題解決五百題 二宮 佐 昭和一二
 (二二二頁)

家事化學講義 石澤吉壽 昭和一二
 (四九五頁)

最新家事教育原論 常見育男 昭和一二
 (三九三頁)

洗濯の理論と實際 青木良吉 昭和一二
 (二八〇頁)

日本家事教育 石井季代子 昭和一二
 (四〇〇頁)

五九一 家事經濟
 買物讀本 村上正夫 昭和一二
 (二二七頁)

五九二 裁縫、手藝
 趣味の手藝新教材 南雲ハッポ 昭和一二
 (二七七頁)

新デザイン毛 自由學園工藝研究所編 昭和一二
 糸あみもの集 (二六〇頁寫眞版四七頁)

人形のつくり方 濱村あさ子 横山敏子 昭和一二
 (三〇〇頁)

五九三 料理、製菓

一〇五七九—一五〇
 冊 分類 書誌
 一〇五八〇—一五三
 冊 分類 書誌
 一〇五八〇—一五四
 冊 分類 書誌
 一〇五九〇—一七七
 冊 分類 書誌
 一〇五九〇—一七五
 冊 分類 書誌
 一〇五九〇—一七六
 冊 分類 書誌
 一〇五九〇—一七四
 冊 分類 書誌
 一〇五九一—一三五
 冊 分類 書誌
 一〇五九二—一九〇
 冊 分類 書誌
 一〇五九二—一九一
 冊 分類 書誌
 一〇五九二—一九二
 冊 分類 書誌

經濟營養料理 中島靜夫 昭和一二
 本位 (三四五頁)

御菓子の作り方五百種 主婦之友社編 昭和一二
 (五二六頁)

お料理軌範 土井わか 昭和一二
 (三七二頁)

家庭向き西洋料理の作り方 主婦之友社編 昭和一二
 (四九二頁)

續美味求真 木下謙太郎 昭和一二
 (六四八頁)

調理士教程 機友會編 昭和一二
 (三〇四頁)

四季漬物讀本 日本放送協會編 昭和一二
 (二四三頁)

手輕な御辨當の作り方 村井多喜子 昭和一二
 (二六七頁)

一〇五九三—一七〇
 冊 分類 書誌
 一〇五九三—一七四
 冊 分類 書誌
 一〇五九三—一七六
 冊 分類 書誌
 一〇五九三—一七五
 冊 分類 書誌
 一〇五九三—一七二
 冊 分類 書誌
 一〇五九三—一七一
 冊 分類 書誌
 一〇五九三—一七〇
 冊 分類 書誌

六〇〇 理 學

- 近代科學 (佐藤信爾 昭和一二) (現代哲學全集第一二卷) 一六〇〇—四六
- 自然科學概論 (櫻田健子 昭和一二) 一六〇〇—四四
- ツゲエトの自然科學 (英、T. G. タラウザイ著 石井友幸譯 (三八四頁) 昭和一二) 一六〇〇—四五
- トムソン科學物語 第一・二・四卷 松平道夫 昭和一二 三六〇〇—四三
- 六〇二 史 傳
 - 自然科學史講話 上卷 (四邦雄 昭和一二) 一六〇三—二三
 - 日本科學發達史 (寺島恒史 昭和一二) 一六〇三—二四
- 六〇四 論說、雜書
 - 科學通信 (竹内時男 昭和一二) 一六〇四—六四
 - 科學と民族 (浦本清彌 昭和一二) 一六〇四—六五
 - 驚異の科學 (柴山雄三郎 昭和一二) 一六〇四—六三
 - 理學新報告 (竹内時男 昭和一二) 一六〇四—六三
- 六二〇 物理學、化學
 - 六二一 物理學
 - 初めて学ぶ物理學早わかり (松野本俊雄 昭和一二) 一六二一—六三
 - 量子力學の基礎 (エギル・アール・ヒレロス著 坂井卓三・恩田式司共譯 (一九八頁) 昭和一二) 一六二二—二七

- 冊 分類 番號
- 一六〇〇—四六
- 一六〇〇—四四
- 一六〇〇—四五
- 三六〇〇—四三
- 冊 分類 番號
- 一六〇三—二三
- 一六〇三—二四
- 冊 分類 番號
- 一六〇四—六四
- 一六〇四—六五
- 一六〇四—六三
- 一六〇四—六三
- 冊 分類 番號
- 一六二一—六三
- 一六二二—二七
- 温度測定法 (大石二郎 昭和一二) (日本工學全集) 一六二二—二二
- 騒 音 (守田榮 昭和一二) (二〇九頁) 一六二三—一三
- 光と物質 (藤田光治 昭和一二) (二八二頁) 一六二四—一四
- 宇宙線 (竹内時男 昭和一二) (一三三頁) 一六二六—二六
- 物理電磁學理論及び空中線 (岩片秀雄 昭和一二) (四五五頁) 一六二六—二五
- 六二二 化 學
 - 化學機器圖集 第六編 (燃燒室爐 淺田彌平、中野義雄共編) 一六二二—四五
 - 化學三週問 (遺清久賀 昭和一二) 一六二二—五七
 - 同 一六二二—五七
 - 高等化學深論 卷七 昭和一二—一〇—二二 二六二二—五六
 - 第一卷 基礎高(理論化學) (七一八頁) 二六二二—五六
 - 第二卷 非金屬(九三九頁) 二六二二—五六
 - 高等化學總論 (橋本吉郎等 昭和一二) (二四〇頁) 一六二二—五八
 - 歐和、和化學用語新辭典 (橋本吉郎 昭和一二) (六九一頁) 一六二二—五九
 - 無機及理論化學大要 (金田一雄・菅原健等 昭和一二) (二一九頁) 一六二三—二二

六二〇 天文學、地文學

- 有機化學大要 (妻本徳一・菅原健等 (二四九頁) 昭和一二) 一六二三—二三
- 有機化學 上卷 (小竹無二雄 昭和一二) 一六二三—二三
- 〇 〇
 - 同解定性分析化學 (河村文一 昭和一二) 一六二三—二二
 - 容量分析實驗指針 (石橋雅義 昭和一二) 一六二三—二三
- 膠質學 下卷 (飯島實三郎 昭和一二) (七五二頁) 一六二五—一五
- 六二二 星 學
 - 天象と藝術 (金井崇雲 昭和一二) (圖版二九枚、三〇四頁) 一六〇〇—一三
 - 趣味の天文學 (永澤謙次 昭和一二) 一六二二—一八
 - 星雲の宇宙 (E. ハッブル著 昭和一二) 一六二二—一八
 - 星雲の宇宙 (相田八之助譯 (二四九頁) 圖版一四枚) 一六二二—一八
 - 圖説天文講座 山本一清編 昭和一二 第五卷 遊星 (二六三頁) 一六二二—一八
 - 太陽系の形成(竹田新一郎) 水星、金星、火星(木邊成齋) 小惑星(渡邊敏夫) 木星と土星(田中宗愛) 天王星海王星、冥王星(稻葉通義) 月と其の觀測法(村上忠敬) 第五卷 恒星 (二五〇頁) 恒星(山本一清) 星辰スペクトル(鷲本俊馬) 恒星の内部構造と星の進化(栗原道徳) 變光星、新星と其の觀測法(小山秋雄)

- 冊 分類 番號
- 一六二三—二三
- 一六二三—二三
- 〇 〇
- 一六二三—二二
- 一六二三—二三
- 一六二五—一五
- 冊 分類 番號
- 一六〇〇—一三
- 冊 分類 番號
- 一六二二—一八
- 一六二二—一八
- 一六二二—一八
- 一六二二—一八
- 一六二二—一八
- 六二二 曆學、曆書
 - 天文と宇宙 鷲本俊馬 (三五〇頁) 一六二二—一八
 - 康徳五年戊寅時憲書 (中央觀象臺編 康徳五) 一六三三—一四
 - 昭和十三年 西曆一九三八年 曆 (東京天文臺編 昭和一二) 一六三三—一五
 - 曆 (渡邊敏夫 昭和一二) 一六三三—一八
- 六二三 地 文 學
 - 啓蒙地文學 上・下 (山田龜扶 明治一四) (五二枚) 一六三三—二四
 - 六二四 氣 象 學
 - 氣象學礎石 上卷 (岡田武松 昭和一二) (四六四頁) 一六三四—一七
 - 續測候瑣談 (岡田武松 昭和一二) (二九三頁) 一六三四—二二
 - 潮 汐 表 昭和十三年 (中央氣象臺編 昭和一二) (二二一頁) 一六三四—二〇

六二五 地震學
駒ヶ岳爆發災害誌 (池田清 昭和一二) 一六五—一九
地震と火山 (觀泰と紀行) (池上剛地郎 昭和一二) 一六五—一八

六三〇 博物學

天然紀念物調査報告 文部省編 昭和一二
動物之部 第三輯 (一四六頁圖版四〇枚)
トキ及びタマガラの棲息地とナイロテウ毒瘧地 (内田清之助)
畜養動物の天然紀念物 (橋本外隆雄)
野生獸の天然紀念物 (同人)
野生鳥類の天然紀念物 (同人)
兩棲類の (同人)
魚類の (同人)
昆蟲の (同人)
軟體動物の (同人)
植物之部 第一七輯
東京府、京都府、福島縣、栃木縣、三重縣、愛知縣、新潟縣、富山縣、鳥取縣、長野縣、大分縣、群馬縣下の植物に關する天然紀念物調査報告 (三好學)
霧ヶ峯温泉調査報告 (中野治房)
植物之部 第一八輯
神奈川県、靜岡縣、東京府、大阪府、石川縣、千葉縣、岐阜縣、愛知縣、熊本縣、鹿児島縣下及北海道の植物に關するもの (三好學)
大島の標本、磯長神社のイボザタラ、明治神宮外苑のヒトツバタゴの年輪調査 (小倉謙)

六三三 進化論、原生論
優生と結婚 (大島正滿 昭和一二) 一六三—一六〇
六三四 人類學
植物之部 第一八輯

六三六 植物學
學界新制植物學 (秋山達三 昭和一二) 一六六—一七五
同

櫻と日本民族 (佐藤太平 昭和一二) 一六六—一七五
六三七 地質學
地質學講話 (望月壽海 昭和一二) 一六六—一七五
地質學汎論 (藤本治義 昭和一二) 一六六—一七五

六三八 礦物學
礦物學要論 (木下龜城、梶沼市 昭和一二) 一六六—一七五
本邦礦物圖誌 第一卷 (伊藤貞市 昭和一二) 一六六—一七五

六四〇 數學

科學的精神と數學教育 (小倉金之助 昭和一二) 一六四—一四六
古代エジプトの數學 (高崎昇 昭和一二) 一六四—一四八
趣味の世界數學物語 (藤田隆 昭和一二) 一六四—一四七
珠算は如何にして上達すべきか (川村實治 昭和一二) 一六四—一四六
大全塵劫記 (長谷川善左衛門校閱 川柳安兵衛編) (一四三枚) 一六四—一四三

有色民族の擡頭と其發展 (長谷川善雄 大正一四) 一六四—一三七
猶太民族の世界的活動 (渡邊巳之次郎 大正一一) 一六四—一三八

六三五 動物學

動物學 (石橋榮建等 昭和一二) 一六五—一六二
動物記 一、二、三卷 加奈院、E. T. シートン著 昭和一二
動物の行動環境 英、E. S. ラッセル著 昭和一二
動物模範答案作成法 (田中正智 昭和一一) 一六五—一五九
外動物原色大圖鑑 同刊行會編 昭和一二
第二卷 哺乳類 (七四頁、圖版三四枚)
第三卷 鱗皮、毛類、前肛、環形、扁形動物 (小野田勝造、同生久馬) (二〇六頁、圖版四一枚)
第三卷 腔腸、海綿、原生動物 (小野田勝造) (九六頁、圖版四〇枚)
續野鳥禮讚 (内田清之助 昭和一二) 一六五—一四二
鳥類寫生圖譜 小島勝爾 土岡春郊 昭和一二
第一期 第一〇輯 (圖版四枚) 第二期 第一輯 (圖版四枚)
日本鳥類生態學資料 (川口孫治郎 昭和一二) 一六五—一四一
魚病學 (藤田健信 昭和一二) 一六五—一四〇
魚類の化學 (大谷武夫、富土川謙 昭和一二) 一六五—一三三
綱 (梶山英二 昭和一二) 一六五—一三五

精密時耗換算表 (森隆 昭和一二) 一六四—一四〇
六四一 算術
圖式推理算術 (宮内康晴 昭和一二) 一六四—一五一
六四二 代數學
生きた代數の急所 (數學研究會編 昭和一二) 一六四—一八六
易い一二年代數の急所 (渡邊英雄 昭和一二) 一六四—一九〇
易い三四年代數の急所 (渡邊英雄 昭和一二) 一六四—一九九
私の受験代數指導 (光安弘 昭和一二) 一六四—一九二

同
代數學習の軌道 (小林幹雄 昭和一二) 一六四—一八七
代數學精講 (青山勇 昭和一二) 一六四—一九一
同
代數受験の急所 (野本道一 昭和一二) 一六四—一九三
同
代數問題の手のつけ方 (奈良善雄 昭和一二) 一六四—一八八
必勝の代數 (佐久間謙 昭和一二) 一六四—一九四
同

六四三 幾何學

幾何學精講 (青山勇 昭和一二) 一六四—一五〇
立體解析幾何學問題詳解 (松室隆光 昭和一二) 一六四—一五〇
平面解析幾何學問題詳解 (松室隆光 昭和一二) 一六四—一五〇

六三六 植物學
學界新制植物學 (秋山達三 昭和一二) 一六六—一七五
同

櫻と日本民族 (佐藤太平 昭和一二) 一六六—一七五
六三七 地質學
地質學講話 (望月壽海 昭和一二) 一六六—一七五
地質學汎論 (藤本治義 昭和一二) 一六六—一七五

六三八 礦物學
礦物學要論 (木下龜城、梶沼市 昭和一二) 一六六—一七五
本邦礦物圖誌 第一卷 (伊藤貞市 昭和一二) 一六六—一七五

六四〇 數學

科學的精神と數學教育 (小倉金之助 昭和一二) 一六四—一四六
古代エジプトの數學 (高崎昇 昭和一二) 一六四—一四八
趣味の世界數學物語 (藤田隆 昭和一二) 一六四—一四七
珠算は如何にして上達すべきか (川村實治 昭和一二) 一六四—一四六
大全塵劫記 (長谷川善左衛門校閱 川柳安兵衛編) (一四三枚) 一六四—一四三

同
 綜合幾何・代數・三角法問題精義 高田六郎 昭和一二
 幾何代數及び三角融合問題研究 川本武司 昭和一二
 同
 新撰幾何學辭典 渡部貞市郎 昭和一二
 同
 能率幾何 芳形俊一 昭和一二
 同
 平面幾何作圖題の考へ方 鈴木義一 昭和一二
 六四四 三角法
 三角法徹底的研究 佐藤常三 昭和一二
 新銳三角法 山本一助 昭和一二
 六四五 高等數學
 高等代數學問題詳解 松室隆光 昭和一二
 同
 同
 近高等數學講座 共立社發行 昭和一二
 第二卷 微分積分學上巻 坂井英太郎 二二八頁
 初積分學學方考へ方と解き方 藤森良夫 昭和一二
 積分學通論 山崎榮作 昭和一二

一六四三—一五四
 一六四三—一五三
 一六四三—一五五
 一六四三—一四五
 一六四三—一四九
 一六四三—一四九
 一六四三—一五二
 一六四三—一五二
 一六四三—一五一
 一六四三—一五一
 冊 分類 叢書
 一六四四—一三八
 一六四四—一三七
 冊 分類 叢書
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六
 一六四五—一九六

微分學問題詳解 松室隆光 昭和一二
 微積分學 上・下 坂井英太郎 昭和一二
 工業微分方程式 梶尾竹治 昭和一二
 數學微分方程式 (三六三頁) 昭和一二
 ベクトル解析 平賀良藏 昭和一二
 六五〇 醫學
 長壽の醫學 內島昌雄 昭和一二
 醫學十五萬語辭典 橋本節齊 昭和九
 醫藥法規全書 岡部庄次編 昭和一二
 六五三 和漢古方
 灸治一發療法 岸田健堂 昭和一二
 關病と灸法 湯美石 昭和一二
 臨床漢方醫學總論 矢野有直 昭和一二
 六五六 雜書
 醫療と國民生活 鈴木梅四郎 昭和一二

一六四五—一九五
 一六四五—一九〇
 一六四五—一九七
 一六四五—一九四
 冊 分類 叢書
 一六五〇—一三
 一六五〇—一七
 冊 分類 叢書
 一六五二—一
 一六五二—一三
 一六五二—一五
 一六五二—一四
 冊 分類 叢書
 一六五六—三八

六六〇 基礎醫學
 六六三 衛生學、細菌學

近衛生教育の理論と實際 佐藤正 昭和一二

最榮養講話 高木眞一 昭和一二
 食物大觀 雨森兼太郎 昭和一二
 調理食品成分照鑑 佐伯 昭外四名 昭和一二
 理科圖說顯微鏡活用法 井上 勇 昭和一二
 六六四 藥學調劑、處方
 大阪藥種業誌 第三卷 飯沼善三郎 昭和一二
 模範藥種商全書 辰橋尙次郎 昭和一二
 改訂藥種商試驗問題答案集 松平靜一、日下部益五郎
 藥局の制度と醫藥分業論 池松重行 昭和一二
 藥劑と食品 三越俊一、星 忠生 昭和一二
 蘭蕙辨妄 甲田健之助、今津慈海 昭和一二
 六六五 化學
 生化學實驗法 定性篇 藤井朝三 昭和一二
 六六七 法醫學
 最新法醫學 渡田 昭和一二

一六六二—一〇
 一六六三—一七
 一六六三—一六九
 一六六三—一六八
 一六六三—一七
 冊 分類 叢書
 一六六四—一九
 一六六四—一〇
 一六六四—一三
 一六六四—一二
 一六六四—二五
 一六六四—四六
 冊 分類 叢書
 一六六五—一九
 冊 分類 叢書
 一六六七—一三

六七〇 臨床醫學

家庭に於ける診斷と治療 益井 著 昭和一二
 發疹 永井幸一郎編 昭和一二
 皮膚科(横山治) 內科(中村惣治) 小兒科(和泉成文)
 六七一 診斷學
 レントゲン診斷學入門 田宮知雄夫 昭和一二
 六七二 內科學
 內科レントゲン診斷學 第一卷 田宮知雄夫 昭和一二
 肺結核療養秘訣 原澤七齊 昭和一二
 新しい腦の衛生 原田十次郎 昭和一二
 傳染病の知識 內田次郎 昭和一二
 腦病院風景 杉村 幹 昭和一二
 六七三 外科學
 外科手術書 高橋信美、鈴木五郎 昭和一二
 六七五 産科婦人科、產婆學
 妊娠惡阻 谷口彌三郎 昭和一二

冊 分類 叢書
 一六七〇—一三
 一六七〇—一三
 冊 分類 叢書
 一六七二—一三
 一六七二—一三
 冊 分類 叢書
 一六七三—一五
 一六七三—一七
 一六七三—一六
 冊 分類 叢書
 一六七三—一三〇
 冊 分類 叢書
 一六七五—一四八

- 產婆學辭典 坂本彌太郎 昭和一二 一六七五—一七四
- 六七七 耳鼻咽喉科學 用、症狀索引 香宗我部 壽 昭和一二 一六七—一六六
- 細谷耳鼻咽喉科學 細谷雄太 昭和一二 一六七—一七
- 六七八 齒 科學 一六七—一六八
- 口腔外科通論及手術學 遠藤至六郎 昭和一二 一六七—一三九
- 齒科金屬學 加藤 勉 昭和一二 一六七—一四〇
- 實驗齒牙拔去術 加藤清治 昭和一二 一六七—一四〇
- 六七九 皮膚病學、微毒學、泌尿生殖器 橋本 喬 昭和一二 一六七—一四
- 皮膚性病學 第二卷 橋本 喬 昭和一二 一六七—一三
- 皮膚病微毒學 若見省吾 昭和一二 一六七—一三
- 膀胱鏡圖譜 高橋 明 昭和一二 一六七—一三五

六八〇 治療法、養生法、健康法

- 六八一 治療法 一六七—一〇三
- 溫泉須知 西川義方 昭和一二 一六八—一〇四
- 最近のビタミン療法 三友義雄 一七四頁

六八三 養生法、健康法

- 深呼吸健康法 熊代彦太郎 昭和一二 一六三—一六七
- 靜座と教育 若田憲之助 昭和一二 一六三—一六九
- 絕對安眠法 式場隆三郎 昭和一二 一六三—一六八
- 長壽の科學 竹内芳衛 昭和一二 一六三—一六五
- 防疫保健の常識 井口兼海 昭和一二 一六三—一六六

六九〇 獸醫學

- 獸疫調査所報告 第十五次 同所編 昭和一二 一六〇—一五
- 馬匹血統登錄書 第一二卷 增山忠次 昭和一二 一六〇—一七

七〇〇 工 學

工業數學「熱傳導及擴散」 伊藤德之助 昭和一二 一七〇—一三

七〇二 力 學

一般剛節構の實用解法 廣部辰福平 昭和一二 一七〇—一三

熱力學 岡、マクス・プランク著 芝龜吉譯 昭和一二 一七〇—一四

七〇五 鐵筋コンクリート

實用鐵筋混凝土工學 內村三郎 昭和一二 一七〇—一五

鐵筋コンクリート設計法 吉田德太郎 昭和一二 一七〇—一三

七〇七 用器畫法、製圖學

新高等圖學 平山 高等 昭和一二 一七〇—一四二

用器畫法原論 大和喜榮 昭和一二 一七〇—一四三

用器畫法演習 宮本幸恵 昭和一二 再版 一七〇—一四四

立體圖學 上下巻 講口好忠 昭和一二 一七〇—一四六

立體圖學 上下巻 講口好忠 昭和一二 下巻六二三頁

高等立體圖學 上巻 神門久太郎 昭和一二 一七〇—一四五

七一〇 土木工學

地質工學 試驗法及び 渡邊實、富山道三 昭和一二 一七〇—一三七

アル、土木工學大講座 アルス發行 昭和一二 一七〇—一三六

第三巻下 應用力學(鶴岡鶴吉)(三八九頁)

第五巻 土木施工法(平山復二郎・櫻崎傳作)(五一六頁)

第七〇巻 都市鐵道工學(橋本敬之)(四一二頁)

第七巻 發電水力學(菊地美彦)(三八八頁)

第八巻 上水道(岩崎富久)(二八五頁)

第九巻 下水道(高橋其也)(三五七頁)

七一一 鐵 道

- 鐵道車輛 關本仙太郎・金野政富 昭和一二 一七一—一三
- 七一二 道路、陸道、橋梁 櫻井盛男 昭和一二 一七二—一三五
- 各拱橋の實地設計法 小林廣二 昭和一二 一七二—一三四
- 樞構式鐵筋コンクリート道路橋 小林廣二 昭和一二 一七二—一三五
- 鋼橋設計法 上巻 牧野 喬 昭和一二 一七二—一三五

七二三 治水、水理

- 砂防工學 浦 學 昭和一二 一七三—一三七
- 七二四 築 港 內務省土木局港灣課編 昭和一二 一七四—一五
- 大日本帝國港灣統計 昭和一〇年 (折一校) 昭和一二 一七四—一五
- 大日本帝國港灣統計要覽 昭和一〇年 (折一校) 昭和一二 一七四—一五
- 大日本帝國港灣統計 昭和一二一年 (內務省土木局編) 昭和一二 一七四—一五

七二五 衛生工事

- 仙臺市下水道誌 同市役所編 昭和一二 一七五—一一
- 衛生工業便覽 朝倉希一 昭和一二 一七〇—一六二

七二〇 機械工學

- 衛生工業便覽 朝倉希一 昭和一二 一七〇—一六二

- 機械工作實習指導 (大日本工業學會編 昭和一二) 一七二〇—六五
- 機械設計圖表 原口進編 昭和一二 二七〇—六九
- 第一卷 輪送機篇(三四四頁)
- 第二卷 輪送機篇(六七三頁)
- 機械標準用語 (資源局編 昭和一一) 一七二〇—六六
- 機構學 (野口尚一編 昭和一二) 一七二〇—七三
- 實用機械製圖 (服部延壽編 昭和一二) 一七二〇—六八
- 實用機械製圖設計法 (奥田 篤編 昭和一二) 一七二〇—六四
- 實用精密機械講座 誠文堂發行 昭和一二
- 第一回 航空發動機並計器内藤邦雄(二三四頁)
- 第二回 兵器(大田成三)(三四八頁)
- 英和最新機械用語辭典 (大陽堂編輯部編 昭和一〇) 一七二〇—七二
- 送風機と其應用 (後藤一雄編 昭和一二) 一七二〇—七二
- 圖解施盤工作 (相澤治郎編 昭和一二) 一七二〇—七〇
- メカニズム (別役萬愛編 昭和一二) 一七二〇—七四
- 冷凍及び冷凍機械 (長野梯介編 昭和一二) 一七二〇—七三
- 汽罐士講座 共立社發行 昭和一二
- 第二卷 汽罐修理及強度計算實例(石谷清一、上野民治)(三三七頁)
- 汽罐の設計 (山中秀男編 昭和一二) 一七二〇—七六
- 新高速ディーゼル機 (門馬孝吉編 昭和一二) 一七二〇—七五
- 蒸汽及瓦斯タービン (大賀嘉二編 昭和一二) 一七二〇—七五
- ディーゼル機關之設計 (山下仙之助編 昭和一二) 一七二一—五五
- 漁船用ディーゼル機關 (菅原善一編 昭和一二) 一七三三—一八
- 七三三 船用機關
- 七三三 航空工學
- グライダー競技 (菊池和夫編 昭和一二) 一七三三—五三
- グライダー操縦法 (水谷 博編 昭和一二) 一七三三—五二
- 航空五年 (片岡直道編 昭和一二) 一七三三—五一
- 航空隨想 (飯沼正明編 昭和一二) 一七三三—四五
- 航空年鑑 昭和一二年版 (北尾龜男編 昭和一二) 一七三三—四七
- ソグエト航空の全貌 (澤 青島編 昭和一二) 一七三三—五四
- 七三四 自動車
- オートバイ三輪車操縦と修繕 (岡安隆編 昭和一二) 一七三四—六三
- 各種オートバイ故障修理法 (淺野清治編 昭和一二) 一七三四—六二
- 七三〇 電氣工學
- 外線工事 (淺邊久夫編 昭和一二) 一七三〇—一九
- 電氣高電壓發生裝置 (島山四男、鎌原邦吉編 昭和一二) 一七三〇—一九
- 交流回路學 (安宅彦三郎編 昭和一二) 一七三〇—一八
- 英和最新電氣用語辭典 (大陽堂編輯部編 昭和一二) 一七三〇—一八
- 地中電線路 (杉山一清編 昭和一二) 一七三〇—一八

- 電氣工學 第三卷 交流機 (柴田文六編 昭和一二) 一七三〇—一九
- 電氣工學原理 (細谷資忠編 昭和一二) 一七三〇—一八
- 電氣事業評價の基礎 (中川元治郎編 昭和一二) 一七三〇—一八
- 電氣事業要覽 第二十三回 朝鮮總督府通信局編 昭和一二) 二七〇—六七
- 電氣ハンド・ブック (電氣普及會編 昭和一二) 一七三〇—一八
- 日本の發電所 中部日本編 (日本動力協會編 昭和一二) 一七三〇—一七
- 變壓器 (新木啓助編 昭和一二) 一七三〇—一七
- ラヂオ用電氣讀本 (松山雅石編 昭和一二) 一七三〇—一六
- 七三一 電 信
- 新電氣通信工學講座 オーム社發行昭和一二一同一三
- 第三卷 有線電線(二)傳送並に檢査(遠田貞治)
- 第四卷 無線電電話(一)回路と真空管(中上豐吉、小野孝)
- 第六卷 無線電電話(三)電波の輻射(中上豐吉、小野孝)
- 第七卷 無線電電話(四)測定と應用(中山豐吉、小野孝)
- 第八卷 特殊通信工學(千葉茂太郎)
- 實用無線學 (黒田吉郎編 昭和一二) 一七三一—一七
- 無線寫真電送 (丹羽保次郎編 昭和一二) 一七三一—一八
- 七三二 電 話
- アンテナ (加藤安太郎編 昭和一二) 一七三一—一五
- 實用電話學 前編 (遠田貞治編 昭和一二) 一七三一—一五
- 標準ラヂオ回路集 製作法 (無線と實驗編輯部編 昭和一二) 一七三一—一五
- 解説付 (一四八頁) 昭和一二
- 銅石式からラヂオ組立讀本 (塚原 勇編 昭和一二) 一七三一—一五
- 七三三 電 燈
- 自然は真空を忌む 「電球ロー」 矢島林二郎編 昭和一二) 一七三三—一六
- 電燈照明學及設計法 (不破一氣編 昭和一二) 一七三三—一五
- 七四〇 建築學
- 伊藤忠太建築文獻 同文獻編纂會編 昭和一二) 二七四—二〇
- 第一卷 日本建築の研究(上)(五六〇頁)
- 第四卷 東洋建築の研究(下)(五〇〇頁)
- 近世便所考 (建築知識社編 昭和一二) 一七四〇—二三
- 沿革篇 日本便所考(井上一之) 東洋便所風景(田邊泰)
- 西洋側史(藤島友治郎)
- 近世便所の構成(木下功一)
- 近世便所の實例(平林金吾)
- 本邦衛生工業の發達(須賀藤五郎)
- 建築と設備現行法令全書 (菊地芳三編 昭和一二) 一七四〇—二六
- 工場建築 (平岡正夫編 昭和一二) 一七四〇—二四
- 趣味の住宅建築 (丸山敬太郎編 昭和一二) 一七四〇—二五
- 日本建築史講話 (關野 貞編 昭和一二) 一七四〇—二六
- 七四一 設 計
- 建築施工 (四宮安太郎編 昭和一二) 一七四一—三三
- 新住宅の設計と施工 (西村久二編 昭和一二) 一七四一—三三

塗道獨歩傳 寫本 (二十七枚)
 梁及柱の新理論 (佐藤玄夫 昭和一二) 一七四一—一三
 七四三 建築圖
 美しい民家を求めて (本間乙彦、小林清 昭和一二) 一七四三—一六四
 横濱高等工業建築設計圖集 (同校出版會編 昭和一二) 一七四三—一五
 學校建築學科建築設計圖集 (同校出版會編 昭和一二) 一七四三—一四七
 建築寫真類聚 高梨由太郎編 昭和一二 一七四三—一四七
 第九期二四輯和洋支圖集第一、第二〇期第二輯床の間集 卷五

七五〇 採鑛、冶金
 抗氣調整學 (吉川岩義、中野實 昭和一二) 一七五〇—一三
 日本鑛業法精義 (渡野兼助 昭和一二) 一七五〇—一七
 七五一 採 鑛
 新編鑛床地質學 (加藤武夫 昭和一二) 一七五一—一四
 七五五 各鑛物採掘鑛冶業
 金銀探鑛法 (阿田英 昭和一二) 一七五五—一八
 鐵鋼經濟讀本 (小島精一 昭和一二) 一七五五—一三
 鐵・銅・鋼材 (兒玉哲五 昭和一二) 一七五五—一三
 鐵鋼電氣冶金學 (向山幹夫 昭和一二) 一七五五—一七

實用鑄造法 (澤田政勝 昭和一二) 一七五三—一六
 實用機械採炭法 (美、M.D.ワイリアム著 日野神兒譯) 一七五三—一三
 石炭 (中久木 昭和一三) 一七五三—一四
 石炭 (岩崎重三 昭和一二) 一七五三—一五
 石炭と炭鑛業の知識 (厚見利作 昭和一二) 一七五三—一六
 炭鑛讀本 昭和一二年版 (三土安美 昭和一二) 一七五三—一七
 石油の問題 (外務省調査部編 昭和一二) 一七五三—一〇
 七六〇 造船學
 主要海運國救命艇構造規格 (造船省管船局編) 一七六〇—一三
 船舶修理 (清水秀夫 昭和一二) 一七六〇—一四
 船型試驗法 (山縣昌夫 昭和一二) 一七六〇—一三
 木造船構造術 (桑原周雄 昭和一二) 一七六〇—一三
 七七〇 航海
 海事讀本 (浪川彌次 昭和一二) 一七七〇—一三
 現行海事法令集 昭和一二年版 (海文堂編輯部編 昭和一二) 一七七〇—一六
 航海力學 後編 (雙木 勲 昭和一二) 一七七〇—一六

近代戰と國防 (原嘉章 昭和一二) 一七八〇—一六
 近代戰とプロバガンダ (小松孝彰 昭和一二) 一七八〇—一七
 近代日本軍事史 渡邊農治郎 昭和一二 一七八〇—一〇
 空襲 (片岡健 昭和一二) 一七八〇—一〇
 空中襲撃に對する國民の準備 (宇山鶴太郎 昭和一二) 一七八〇—一〇
 空中戰 (大場彌平 昭和一二) 一七八〇—一〇
 軍人寶典 (研文社編輯部編 昭和一二) 一七八〇—一〇
 支那の長期國防計畫 (文、謝國城 昭和一二) 一七八〇—一〇
 スパイ撲滅讀本 (R.W.ローアン著 和田篤憲譯) 一七八〇—一〇
 戰爭と科學 (松平道雄 昭和一二) 一七八〇—一〇
 大陸作戰論 (小林知治 昭和一二) 一七八〇—一〇
 敵機來らば (高橋常吉 昭和一二) 一七八〇—一〇
 日蘇戰爭は何時始まるか (國際情報研究會編 昭和一二) 一七八〇—一〇
 日支戰爭より日ソ戰爭へ (茂森唯士 昭和一二) 一七八〇—一〇
 防空讀本 (大場彌平 昭和一二) 一七八〇—一〇
 列強の空軍 (星野辰男編 昭和一二) 一七八〇—一〇
 列強兵隊氣質 (大内 隆 昭和一二) 一七八〇—一〇
 われ等の空軍 (大場彌平 昭和一二) 一七八〇—一〇

吾等の無敵空軍 (山岡一編 昭和一二) 一七八〇—一〇
 七八五 陸 軍
 輝く陸軍將校生徒 (陸軍將校生徒試驗常設委員編) 一七八五—一〇
 軍隊教育概論 (鈴木康三 昭和一二) 一七八五—一〇
 陸軍志願兵合格案内 (文教科學協會編 昭和一二) 一七八五—一〇
 陸軍諸學校入學試驗問題集 (其論香村 昭和一二) 一七八五—一〇
 最近陸軍幼年學校、工科學校 (其論香村 昭和一二) 一七八五—一〇
 陸海軍幼年航空兵入學試驗 (春陽堂編 昭和一二) 一七八五—一〇
 六ヶ年試驗問題及模範解答 (一〇〇頁) 一七八五—一〇
 最近陸軍幼年學校入學 (其論香村、高橋鐵也) 一七八五—一〇
 十ヶ年試驗問題解答全集 (二四八頁) 昭和一二 一七八五—一〇
 最近陸軍幼年學校入學試驗問題集 (軍事學指針社) 一七八五—一〇
 十ヶ年試驗問題解答集 (三三三頁) 昭和一二 一七八五—一〇
 陸軍少年航空兵 (星野辰男編 昭和一二) 一七八五—一〇
 陸軍通信學校入學受驗案内 (其論香村 昭和一二) 一七八五—一〇
 七八六 海 軍
 大日本海の旗風 明治篇 (中島 武 昭和一二) 一七八六—一〇
 海軍史の旗風 明治篇 (三五〇頁) 昭和一二 一七八六—一〇
 海軍工廠見習工採用受驗案内 (其論香村 昭和一二) 一七八六—一〇
 海軍志願兵志願受驗案内 (海軍々人受驗立身指導會編) 一七八六—一〇
 海軍志願兵受驗法 (日本青年教育會編 昭和一二) 一七八六—一〇
 海軍生徒採用試驗問題集 (橋本正雄 昭和一二) 一七八六—一〇

海軍讀本 阿部信夫 昭和一二 (四〇八頁) 一七六—一七
 軍人問答 福永忠助 昭和一二 (二六四頁) 一七六—一七
 この海軍 古澤漢太郎、西寛治 昭和一二 (二六五頁) 一七六—一七
 佐久間艇長遺言書 寫眞版 千原正武 明治四三 再版 一七六—一七
 七七八 兵 器 一七六—一七
 射擊大觀 兒島富雄 昭和一二 (七八一頁) 一七六—一七
 兵器讀本 青木保 昭和一二 (四六〇頁) 一七六—一七
 七七八 古代兵器 一七六—一七
 日本刀講座 別巻四 刀劍金 委原平次郎 昭和一二 工藝覽 (二七一頁) 一七六—一七
 七九〇 古代兵法及武藝 一七六—一七
 七九一 古代兵法、支那兵法 一七六—一七
 楠判官正成流流兵將行軍卷 寫本 (二四枚) 一七六—一七
 楠正成一卷書 川島芳太郎編 二大正六 (四五頁) 一七六—一七
 旅行出陣諸事心得書 寫本 (五七枚) 一七六—一七
 七九二 武 藝 一七六—一七
 現代柔道と修練法 金丸英吉郎 昭和四 (二六九頁) 一七六—一七
 劍客逸話集 島村喜勝 昭和一二 (三一頁) 一七九—一八〇
 劍道指南 小澤愛次郎 昭和五 (三二頁) 一七九—一八〇
 日本劍道と西洋劍技 中山善道、中山善道 昭和一二 (一九八頁附文九六頁) 一七九—一八〇
 磯流小筒目錄 第一、二、三巻 寫本 一七九—一八〇
 磯流小筒歌卷 寫本 一七九—一八〇
 磯流小筒免許之卷 寫本 一七九—一八〇
 犬追物御覽記 寫本 (二二枚) 一七九—一八〇
 犬追物、射手具足次第 寫本 (三〇枚) 一七九—一八〇
 犬笠掛流鎗馬之禮法 寫本 (三七枚) 一七九—一八〇
 上原豊前守享録記拔書 寫本 (一一枚) 一七九—一八〇
 弓術極意教授圖解 大日本陸軍會々員編 (二三八頁) 一七九—一八〇
 弓馬大概 乾坤 寫本 (乾二七枚坤二六枚) 一七九—一八〇
 弓道天追物 寫本 一七九—一八〇
 遠笠懸之次第 寫本 (二七枚) 一七九—一八〇
 日置流弓之書秘記 附、同流目錄 寫本 (二七枚) 一七九—一八〇
 箭沙汰 寫本 (九枚) 一七九—一八〇

八〇〇 美 術 一七九—一八〇
 ソグエト藝術の二十年 丹野夢 昭和一二 (四六七頁) 一七九—一八〇
 八〇二 史 傳 一七九—一八〇
 日本美術の概説 野島好二 昭和一二 (二八二頁) 一七九—一八〇
 八〇四 圖譜、圖録 一七九—一八〇
 日本國寶全集 第七四—七七輯 文部省編 昭和一二 八〇五 論説、雜書 一七九—一八〇
 十三松堂閑話録 正本直彦 (三三三頁) 一七九—一八〇
 美術の現實を語る 一氏義良 昭和一二 (四一五頁) 一七九—一八〇
 緑の時代 川島理一郎 昭和一二 (三〇五頁) 一七九—一八〇
 八一〇 書 畫 一七九—一八〇
 偽物がたり 佐々木三味 昭和一二 (二二二頁) 一七九—一八〇
 八一一 繪 畫 一七九—一八〇
 土田麥僊の藝術 豊田豊、猪木卓爾 昭和一二 (二六二頁) 一七九—一八〇
 黒田清輝 坂井岸水 昭和一二 (二六五頁寫眞版三一枚) 一七九—一八〇
 八一四 畫 譜 一七九—一八〇
 華香墨蹤 都路都良景(華香)畫、宮田淡仙編 昭和一二 (四六頁、附録五六頁) 一七九—一八〇
 現代洋畫大全集 第一七巻—第二〇巻 北原義雄編 昭和一二 四八四—一七
 十竹齋書畫譜 アトリエ社發行 昭和一二 六八四—一七
 第九册 蘭語上 第一〇册 蘭語下 第一一册 竹譜上 第一二册 竹譜下 第一三册 梅譜上 第一四册 梅譜下
 文展號 昭和十二年版 星野辰男編 昭和一二 (寫眞版二四頁) (アサヒグラフ増刊) 一八四—一七
 略書と圖案 日本美術會編 昭和一二 (圖版二九頁) 一八四—一七
 八一五 書 一八四—一七
 書學新講 黒木拜石、荻野謙堂 昭和一二 (四二二頁) 一八五—一六
 書道原義 細田謙成 昭和一二 (三〇頁) 一八五—一七
 圖解書道通解 鈴木香雨編 昭和一二 (六四頁) 一八五—一七
 國書論集成 西川寧編 昭和一二 一—一三 第一巻 漢魏六朝 (角田孤峰譯) 一五五頁) 一八五—一七
 第五巻 元(二) (角田健三譯) 二八七頁) 一八五—一七
 第一〇巻 清(一) (直田但馬譯) 一四二頁) 一八五—一七
 第一一巻 清(二) (三好 寛譯) 二八六頁) 一八五—一七
 第一二巻 清(三) (直田但馬譯) 二八三頁) 一八五—一七
 和漢書道講話 入澤所江 昭和一二 再版 (三六二頁) 一八五—一六
 八一九 文 房 具 一八五—一六
 文房至寶 後藤朝太郎 昭和一二 (四五〇頁) 一八五—一七
 八二〇 圖 案 一八五—一七
 應用大圖按畫集 岡田三郎助、丹羽禮介 昭和一二 (圖版二四一頁) 一八〇—一八
 カット圖案 萬 富三 昭和一二 (圖版共二八八頁) 一八〇—一七

五百選新作圖案集 第一四輯 和田三造編 昭和一二

八三〇 寫真

八三一 寫真術 小黒誠 昭和一二

構圖とトリミング (二九〇頁) 石津良介 昭和一二

子供の寫し方 (寫真版) (〇〇圖解附) 全研會 昭和一二

寫真藝術自由自在 (二三四頁) 紅村清彦 昭和一二

正しい現像法と藥品の知識 (二二七頁) 如宗一 昭和一二

8ミリ映畫の新技术 (五三三頁) 島崎清彦 昭和一二

八三三 活動寫真

現代映畫論 (三三五頁) 菅見恒夫 昭和一二

八五〇 製版及印刷

八五三 印刷 印刷局編 昭和一二

印刷局五十年略史 (二二八頁) 中山弘治 昭和一二

合理的印刷註文の知識 (九〇頁) 松島肇 昭和一二

八七〇 音樂

音樂概論 (九二頁) 伊原敏郎(青々園) 昭和一二

四八二—一八〇

現代音樂論 (久志卓眞) 昭和一二 (二五六頁)

洋樂夜話 (大田惠元) 昭和一二 (二六七頁)

音樂叢書 清教社發行 昭和一二 第二卷 西洋音樂史(湯淺永年、堀内敬三等)(三四〇頁) 第六卷 和聲學及作曲法(山田耕作)(二六七頁)

八七一 事象、史傳 純音樂辭典 (小松平五郎編) 昭和一二 (三二七頁)

八七四 樂器、樂譜

名典詳解 (田邊尚雄) 昭和一二 (三九〇頁)

八八〇 諸藝、遊戲、娛樂

八八一 演劇、舞蹈 演出論 (八田元夫) 昭和一二 (二七二頁)

歌舞伎通鑑 (守田憲治) 昭和一二 (四八六頁)

東明治演劇史 (林進太郎) 昭和一二 (六三三頁)

歌舞伎逸話 (法月歌客編) 昭和一二 (二二二頁)

續團菊以後 (伊原敏郎(青々園)) 昭和一二 (二七六頁)

一八七〇—一六五

一八七〇—一六

二八七〇—一九

一八七〇—二四

一八七四—二六四

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇

一八八二—二〇



團菊以後 (伊原敏郎(青々園)) 昭和一二 (二七九頁)

淨瑠璃所作事全覽 (坂東實助、利倉幸一) 昭和一二 (三三四頁) (舞踊藝術附錄)

日本舞踊文化史 (二七五頁) 藤田滿洲野 昭和一二

舞踊藝術教程 (三八五頁) 木村駒子 昭和一二

舞踊藝話 (坂東三津五郎、坂東實助共編) 昭和一二 (二〇九頁) 利倉幸一

演劇外題要覽 (日本放送協會編) 昭和一二 (五四四頁)

八八二 舞樂、能樂、謠

能樂談叢 (三三六頁) 橫井春堂 昭和一二

八八三 花道、茶道

茶人言行錄 (石田誠實) 昭和一二 (二九九頁)

古休傳 寫本 (二六枚)

茶道讀本 (櫻尾風翠) 昭和一二 (二〇三頁)

千家茶の湯の秘法、上、下 (一等庵宗心) 昭和一二 (上一〇四頁、下七四頁)

八八四 圍碁、將棋

圍碁三昧 (高橋桂二) 昭和一二 (三七六頁)

圍碁圍碁定石精解 (天野錦三郎編) 昭和一二 (五七三頁)

圍碁大觀 (藤金華、高部道平) 昭和一二 (五三九頁)

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

一八八三—三三

圍碁の學び方 (久保松野喜代、前田陳爾) 昭和一二 (二〇八頁)

坂田將棋近代將棋爭霸錄 (菅谷北斗星) 昭和一二 (二二二頁)

將棋名匠の面影 (飯塚勲一郎) 昭和一二 (三四八頁)

八九〇 運動、競技、其他

八九一 運動、競技 昭和一二

昭和二年運動年鑑 (朝日新聞運動部編) 昭和一二 (三九七頁)

歐洲體育の諸問題 (植田三四彦) 昭和一二 (一三四頁)

都會人型虛弱兒の體育 (一三四頁) 廣瀬謙三(オリンピック叢書第二卷)

オリンピック競技史 (二〇〇頁) 昭和一二

第一回オリンピック寫真集 (パウル・グオルフ撮影) 昭和一二 (二八二頁) 寫真館出版(八八頁)

スポーツ百科 (讀賣新聞社運動部編) 昭和一二 (三八一頁)

聖火は東へ 全日本體育振興會編 昭和一二

體位向上運動の體驗 (日比野直) 昭和一二 (三七七頁)

八九二 球 戲

テニス (藤田謙之助) 昭和一二 (六〇四頁)

私の庭球術 (ベニイ・オーステン著 水谷博譯) 昭和一二 (二〇二頁)

八九四 相 撲

現代力士出世讀本 (鈴木彦太郎) 昭和一二 (三八九頁)

昭和相撲大觀 (清水建兒、清水品) 昭和一二 (四四四頁)

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

一八八四—四六

八九五 水 泳

最新水泳術 G・ヘッヂエス著 水谷博譯 昭和一二
 小学の水泳 東京小学校水泳聯盟編 昭和一二
 日本水泳讀本 著者不詳 昭和一二
 八九七 ス キ ー

日本のスキーター術 高橋次郎 昭和一二

| | |
|---------|---------|
| 册 分類 番號 | 一〇八五—三七 |
| 册 分類 番號 | 一〇八五—三九 |
| 册 分類 番號 | 一〇八五—三八 |
| 册 分類 番號 | 一〇八七—一三 |

九〇〇 産 業

最近世界生産と物價の動向 外務省通商局譯 國際聯盟編 (三三三頁) 昭和一二

九〇一 史 傳 册 分類 番號
 明治産業發生史 神長會 眞民 昭和一二 (五四三頁) 一〇九一—六九

名古屋市産業要覽 昭和一二年版 同市産業部編 昭和一二 (二六三頁) 一〇九四—三三

九〇七 事 務 法 册 分類 番號
 事務能率十二講 高田琴三郎 昭和一二 (四一七頁) 一〇七—二九

九〇九 論 說、雜 書 册 分類 番號
 鹿兒島高等農林記念論文集中後編 同校編 昭和九 (九二三頁) 二〇九—三三

前編 農學科 第一部
 The Relation of Protein derived Constituents to Quality of Cheese (松田喜六)
 A preliminary Report on the Chromosome Number, pollen Sterility, and the Formation of Abnormal pollen Tetrads in Citrus (中村三八夫)

稻の浸水に關する研究(瀧口義資)
 資本主義經濟組織の發展と農村産業組合制度の動向 (吉田安喜雄)

農學科 第二部
 朝鮮鳥類目録(元洪九)
 エンギキトリノニ就いて(堀清)
 Natizen auf Lantaoen von Taiwan (上河内壽)
 木村商標の形態並に生理に關する研究(北島君三)
 薩藩博物學年表(長井實孝)

針葉樹の心材腐朽を基因するカイメンタケ (Polyporus Schweinitzii Fr.) の研究 (永友勇)

鹿兒島縣産植物目録(内藤高) 梶原重盛
 Thielavia basicola (B. et Br.) Zopf の寄生植物に就いて (中村壽夫)

種子の處理に依る染色體變に就いて(中村威)
 九州に於ける稻の害蟲の種類及其分布(岡島銀次)
 稻を加害する浮座子の驅除劑に關する研究(酒井久馬)
 朝鮮産蠶類に關する研究(石宙明)
 朝鮮産時形の蝶 (同人)
 Die greenidrenen-Biathause Japans (Hemipt., Aphidae) (米水二)

日本産松屬の地理的分布に就いて(鈴木重良)
 The Cytological Studies of The Alimentary Canal of Simulium pictipes Hagen: Its Structure and Metamorphosis (田中教義)

A Conclusion of Physiological Studies on The Cause of self-incapability in Petunia violacea (安田貞雄)

後編 林學科
 ハケ鐵天然林の構造と其作業法に就いて(麻生誠)
 九州産木本植物の地理的分布(初島住彦)
 霧島山之浦山の森林産業に就いて(石野武二)
 森林金融論(川島明八)
 慣習的町村財産利用權に就いて(久保山功)
 森林の施業計畫並に其實行(萬年信吉)
 大氣の温度、湿度と木材中の水分との關係(松本文三)
 Eine Untersuchung über die Wasserbewegung im Holz und die Einflüsse, denen sie unterworfen ist. (松本文三)
 山崩の形状(西力造)

高限演習林の植生と造林(西田政喜)
 樟樹生長量調査並に樟立木材積表(野間口榮義)
 炭炭資料としてのナラの胸高形數利用串其の他に就いて (落合嘉善)
 樹木の生長と氣象因子との關係數並其造林技術への應用に就いての考察(豫報)(佐多一至)
 樟樹及樟腦に就いて(鈴木一)
 松の人工造林不成績と蟲害に就いて(玉利長助)
 瀧口栽培事業の今昔と其將來(瀧口樹の樹形表につきて (照屋全昌)

養蠶學科
家蠶飼育とクハアブエダシヤク及夜蠶(北島誠雄)
飼育の研究(北島誠雄、堂岡克己)
遺傳性不産卵蛾の内部生殖腺の解剖的所見(小畑龍太)
蠶兒生産量に及ぼすレントゲン線の影響(小畑龍太)
農産化學科
蠶繭用粉糖草の研究(福谷貞・藤田泰外一名)
茶種油粕製造中に於ける含窒素成分の變化に就いて(岩田武志)
有機肥料の分解に依りて生ずる低級脂肪酸類並に
乳糖分定法(村田久次)
油粕類の製造中に於ける窒素化合物の熱變質が
油粕の肥効に及ぼす影響に就いて(村田久次・岡田保)
蠶繭の生化學的研究 第二報
蠶繭乾燥の成分中に其性的差異に就いて(西田孝太郎、山田有朝)
Chemical studies on some special Fermentation
Products in the District of Kagoshima (西田孝太郎)
大豆發芽の際に於けるモノアミノ二種基性酸及
其體アミドの變化に就いて(佐々木則都)
二種(尾張系・池田系)温帯柑の果實成長中並に
貯藏中に於ける成分の比較(岡田晋次郎)
蛋白質、ペプトン・グリシンを含むポリペプチド及
アミノ酸無水物等の加水分解速度より蛋白質構造
の研究第一報(鈴木重雄)
同 第二報(鈴木重雄・仁科清彦外一名)
硫黄處理土壤の水稲効果に就いて(山口武之助)
事業と其人の型(石山賢吉) 昭和一二

九一〇 農 業

有畜農業精説(相原信三郎) 昭和一二
實用農藝全書 明文堂發行 昭和一二
第三卷 農業土木 上巻(千種虎正・近坂百一) 二五八頁

日本農業全書 日本評論社發行 昭和一二
第三卷 米穀政策論(荷見安) 四九八頁
第四卷 地方行政論(蝦山政道) 二六二頁
農藝相談叢書 賢文館發行 昭和一二
第一卷 病蟲防除相談(錫方末彦) 三三八頁
第二卷 農産加工相談(高橋武雄) 三四〇頁
第三卷 有畜農業相談(多木晋七郎) 三三五頁
第四卷 養蠶家畜相談(伊藤雅吉) 二八三頁
第五卷 食用作物相談(岩槻信治) 三三三頁
第六卷 土壤肥料相談(松本五樓) 三五五頁
第七卷 蔬菜園藝相談(小田真八) 三〇六頁
第八卷 花卉園藝相談(關根之介) 三一九頁
第九卷 養蠶及農村工業相談(大山彦二) 三三八頁
日本農業年鑑 昭和一三年版(西村健吉) 昭和一二
(三九四頁)
昭和農業發達史 國寶外一二名著 西村健吉編 昭和一二
日本農業年報 日本農業研究會編 昭和一二
第九輯 農業金融問題(昭和一一上半年) 四五四頁
第十輯 農業土地問題(同下半年) 四八九頁
日本農民史(柳田國男) 昭和八
昭和一年農用器具機械鑑定試驗成績(農林省農務局編) 二八四頁 昭和一二
農業經濟學 上巻(六六一頁) 昭和一二 直井武夫譯
農業經濟の根本問題(大槻正男) 昭和一二 (四四〇頁)
農政學要論(石坂橋樹) 昭和一二

農村産業機構史(我妻東策) 昭和一二 (四九四頁) (農業經濟學講座)
九一二 農 具
犂と犂耕作法(森 周六) 昭和一二 (二八三頁) (日本農業全書第五卷)
九一三 農業理化學
厩肥要説(角田英二・永田厚平) 昭和一二 (二八五頁)
酸・アルカリ及肥料 下巻(庄司 務) 昭和一二 (六三三頁)
九一四 農産製造
實驗果實加工法(庄司謙次郎) 昭和一二 (三六〇頁)
小麥製粉と製麵(橋本康人) 昭和一二 (三三〇頁)
漬物の加工法(加藤謙一・小泉彦三郎) 昭和一二 (三三三頁)
日本及各國澱粉事情(岩瀬宗・渡邊惠三) 昭和一二 (三九九頁)
茶果加工法(舟本平太郎) 昭和一二 (三九四頁)
九一五 作物病害
農業昆蟲學(神谷一男) 昭和一二 (二二〇頁)
九一七 耕種栽培
大麻の研究(長谷川榮一郎・新里實三) 昭和一二 (二五二頁)
米の營養と貯藏(秋元 稔) 昭和一二 (一五八頁)
静岡縣茶業史(編輯) 昭和一二 (二七頁)

茶業組合創立論文集(加藤德三郎編) 昭和一二 五十年記念論文集(二一九頁) 第二輯
茶中に含有される沃素に就いて(板野新夫)
碾茶及び碾茶製茶オミノアリンの糖尿病に對する俾効に就いて(實和田益二)
製茶のグイタミニンC様物質の含有量に就いて(星野風夫)
茶樹のグイタミニンCに就いて(附)貯藏茶のグイタミニンC量(田村要三郎・木田泰一)
茶樹の生育と之に伴ふ養分の吸收に就いて(高橋善・石岡尚)
蘆原池に於けるアツサム種及自生種茶樹の栽培に就いて(谷村愛之助)
茶樹の取木繁殖と育苗に就いて(北村茂馬)
茶の製治史(諸岡存)茶葉の兩手摘(足立東平)
第三輯
製茶機械と製茶工場設備に就いて(淺田美徳)
茶とその文化(諸岡 存) 昭和一二
米穀要覽(農林省農務局編) 昭和五
米穀統計年報 日本之部(農林省農務局編) 昭和二三
九一九 論説、雜書
農家經營(實原龜五郎) 昭和一二
農村更生指導の實際(折目六右衛門) 昭和一二
農村の工業と副業(大河内正敏) 昭和一二
農村文化の建設(谷本龜次郎) 昭和一二
農村問題入門(唐俣津南雄) 昭和一二
佛獨白諸國農村の考察(笠森傳業) 昭和一二
村に關ふもの(野口明徳) 昭和一二

九二〇 園藝

九二一 庭園

山水極意秘書 寫本 (三〇枚)
趣味の庭木 (高山 始 昭和一二
(一三〇頁) (庭園シリーズ第二輯)

九二二 盆栽

盆栽讀本 (清水長壽 昭和一二
(寫眞) 八枚 三八七頁)

九二三 蔬菜

胡瓜・茄子・甘藷増収法 (佐々木忠吉 昭和一二
(二〇〇頁)
結球白菜の栽培法 (笠岡治三郎 昭和一二
(二二五頁)

西瓜の栽培法 (古谷春吉 昭和一二
(一〇〇頁)

蔬菜の研究 (喜田茂一郎 昭和一二
(七二頁)

蔬菜の栽培法 (古谷春吉 昭和一二
(三〇四頁)

九二四 花卉

球根植物の水栽培 (坂本 勇 昭和一二
(一三五頁)

趣味園藝 (池田春樹編 昭和一二
(圖版九二頁)

趣味の草花園藝 (松崎直枝 昭和一二
(二七二頁 圖版二八枚)

九二五 果樹

果樹園藝の研究 (菊地秋男 昭和一二
(五九二頁) (國書院部・矢後正俊 昭和一二
原色果樹害虫圖説 (國書院部・矢後正俊 昭和一二
(圖版) 六枚 解二六頁)

日本の密柑 (安部眞之輔 明治三七
(三〇〇頁)

九三〇 林業
日本の林業と農 (渡邊 全 昭和一二
山村經濟の更生 (五八二頁)

實用林業叢書 明文堂發行 昭和一二
第三卷 木材商業 (奥野道夫) (三五〇頁)
第四卷 砂防工事及林道 (藤原貞夫・藤田次郎) (三七六頁)
第五卷 特用林産及林産加工 (三浦伊八郎・原敬三) (三八二頁)

九三一 山林

山林要覽 (農林省山林局編
(三〇一頁)

九三四 山林利用、樹木及木材

樹木の外科手術 (國谷文彦 昭和一二
(九六頁)

九四〇 畜産

九四一 養畜

畜産學集成 第二卷飼料學 (岩田久敏 昭和一二
(三二二頁)

家畜疾病豫防學 (加藤季一 昭和一二
(三七八頁)

家畜文化史 (加藤季一 昭和一二
(八二七頁)

農家の小家畜の飼ひ方 (衣川義雄 昭和一二
(三四二頁)

〇

アンゴラ養兔の經營 (山口泰司 昭和一二
(二二八頁)

犬の疾病と看護 (武藤義治 昭和一二
(三八八頁)

一。九二五—七三
冊 分類 巻説

一。九三〇—一七
冊 分類 巻説

三。九三〇—一一

冊 分類 巻説

一。九三二—四三

冊 分類 巻説

一。九三四—五七

冊 分類 巻説

一。九四〇—一六

冊 分類 巻説

一。九四二—一九

冊 分類 巻説

一。九四二—二〇

冊 分類 巻説

一。九四二—二九

冊 分類 巻説

九五〇 水産、漁業

新愛犬家讀本 (白木正光 昭和一二
(三〇六頁)

理の飼ひ方 (古谷春吉 昭和一二
(二四〇頁)

農村産馬要説 (伊藤小一郎 昭和一二
(三二二頁)

明治馬政功勞十一氏事蹟 (山田七郎編 昭和一二
理論 細羊飼育精説 (岡本正行 昭和一二
賞 細羊の飼ひ方 (古谷春吉 昭和一二
(二二七頁)

毛皮 (三島康七 昭和一二
(二九五頁) (畜産加工叢書第一卷)
鞣製學 (澤山 哲 昭和一二
(五〇四頁)

初生雌雄鑑別の研究 (岩井 清 昭和一二
(八七頁 圖版二二頁)

鶏の衛生並疾病 (井上正太郎 昭和一二
(一九〇頁)

養鶏の經營 (大矢敏雄、永瀧 浩 昭和一二
(四九一頁)

九五一 水産

實用水産寶典 (日暮 忠外二名 昭和一二
(九三〇頁)

養蠶(日暮 忠) 製造(木村金太郎) 漁撈(川合角也)

日本水産年報 (野口新治編 昭和一二
(五〇三頁)

〇 第一輯 陸産水産業の全展望

一。九四二—二九〇
冊 分類 巻説

一。九四二—二八九
冊 分類 巻説

一。九四二—二九三
冊 分類 巻説

一。九四二—二九六
冊 分類 巻説

一。九四二—三〇〇
冊 分類 巻説

一。九四二—三〇三
冊 分類 巻説

大日本水産史 (井山房吉 昭和一二
(一〇二頁)

九五二 養殖

鱸養殖法の研究 (森田茂次 昭和一二
(一一八頁)

九五四 漁業

漁業組合講演集 中巻 (農林省水産局編 昭和一二
(一〇八頁) 漁業組合登記(辻朝郎)
漁業組合の指導に就て(山中練治) 漁業組合登記(辻朝郎)
漁業動産信用法(周東英雄) 低利資金に就て(米澤恒雄)

九六〇 蠶業

蠶事試験成績 十年報第一次 (農商省農務局編 明治二八
(二三四頁)

九六一 養蠶

養蠶栽桑相談 (野中幸兵衛 昭和一二
(三三八頁)

九六四 製絲

合蠶絲經濟論 上巻 (本位田詳男 昭和一二
(五九四頁)

九七〇 工業

工業と工業政策 (河津 忠 昭和一二
(四〇九頁)

商品の科學 (白崎亨、佐久間哲三郎 昭和一二
(四三八頁)

新興工業の吟味 (東京工業大學工業調査部編 昭和一二
(三五五頁)

生産力擴充産業讀本 (都新聞經濟部編 昭和一二
(四四〇頁)

戦時化學産業讀本 (藤田貞次 昭和一二
(二六二頁)

一。九五二—一一
冊 分類 巻説

一。九五二—三三
冊 分類 巻説

一。九五二—三六
冊 分類 巻説

一。九五二—三九
冊 分類 巻説

一。九五二—四二
冊 分類 巻説

一。九五二—四五
冊 分類 巻説

一。九五二—四八
冊 分類 巻説

一。九五二—五一
冊 分類 巻説

一。九五二—五四
冊 分類 巻説

一。九五二—五七
冊 分類 巻説

一。九五二—六〇
冊 分類 巻説

一。九五二—六三
冊 分類 巻説

一。九五二—六六
冊 分類 巻説

一。九五二—六九
冊 分類 巻説

一。九五二—七二
冊 分類 巻説

一。九五二—七五
冊 分類 巻説

一。九五二—七八
冊 分類 巻説

一。九五二—八一
冊 分類 巻説

一。九五二—八四
冊 分類 巻説

一。九五二—八七
冊 分類 巻説

一。九五二—九〇
冊 分類 巻説

一。九五二—九三
冊 分類 巻説

一。九五二—九六
冊 分類 巻説

一。九五二—九九
冊 分類 巻説

一。九五二—一〇二
冊 分類 巻説

一。九五二—一〇五
冊 分類 巻説

一。九五二—一〇八
冊 分類 巻説

一。九五二—一一一
冊 分類 巻説

- 戦時原料保障論 (小澤重雄 昭和一二) 一九七〇一六一
- ソワイエトの重工業 (小島精一 昭和一二) 一九七〇一六三
- 日本重工業讀本 (小島精一 昭和一二) 一九七〇一六六
- 日本新興産業讀本 (岩井良太郎 昭和一二) 一九七〇一六八
- 現代日本工業全集 日本評論社發行 昭和一二
- 第五卷 醸造(高橋信造編) (四〇八頁) 一九七二一四
- 最工業大辭典 非凡閣發行 松元竹二編 昭和一二一〇一三 六九七二一五
- 第一卷 アイソレ(六〇二頁) 第二卷 イシニシ(六〇六頁)
- 第三卷 エシカカ(六〇六頁) 第四卷 カカーカン(六〇六頁)
- 第五卷 カシキヤ(六〇六頁) 第六卷 キリキケン(六〇六頁)
- 大阪府工業年報 昭和一二年版 同府經濟部工務課編 一九七三一九
- 工業仕入案内 昭和一二年版 日本工業新聞社編 一九七三二七
- 商標の出願手續とわが判例 内藤 隆 昭和一二 一九七五五六
- 登録實用新案分類總目錄及總索引 特許局編 昭和一二 一九七五五五
- 第一卷(明治三三—大正一二、八) 四四四頁
- 第二卷上(大正一三—八一) 四四四頁
- 第二卷下(昭和四、一—同八、二) 六三三七頁
- 特許局五十年史 (特許局編 昭和九 一九七五五六)
- 特許發明分類總目錄及總索引 特許局編 昭和一二 一九七五二七
- 第二卷(大正一二、四—昭和八、二) 三四〇頁
- 日本發明發見物語 (豊澤豊雄 昭和一二) 一九七五六一
- 發明獎勵費申請手續總覽 (田村一編 昭和一二) 一九七五六一
- 九七一 工業政策、工業經濟 (有澤廣巳) 昭和一二
- 日本工業統制論 (二九三頁) (日本經濟研究叢書第一卷) 一九七二一一
- 九七二 化學工業 (龜山直人 昭和一二) 一九七二一四
- 化學工業概論 (五八三頁) 田中芳雄、安藤一雄 昭和一二
- 最化學工業試驗法 上下巻 (上七〇八頁、下五五八頁) 昭和一二
- 新化學工業案内 (化學工業時報社編 昭和一二) 一九七二一六
- 製造工業化學 有機論下巻 (山村千三 昭和一二) 一九七二一六
- 製造工業化學 有機論下巻 (一七四頁) 一九七二一六
- 最炭素製造法及副産物處理法 (黒田泰造 大正七 一九七二一〇)
- 人造液體燃料工業 (伊本貞雄 昭和一二) 一九七二一〇
- 石油國策論集 第二輯 (長谷川尚一 昭和一二) 一九七二一〇
- 石炭と石油 (村田和也 昭和一二) 一九七二一〇
- 燃料石炭の焚き方 (平松末吉 大正九 一九七二一〇)
- 新燃料大觀 (燃料協會 昭和一二) 一九七二一〇
- 醇素液仕込酒造法概説 (東京稅務監督局鑑定部編 一九七二一〇)
- 醇素利用工業概論 (田所賢太郎編 昭和一二) 一九七二一〇
- 酵母の科學及利用 (大町芳文 昭和一二) 一九七二一〇
- 製鐵廠取回解工作法 上中下巻 飯野 香 昭和一二 一九七二一〇
- 模型製作ニユーハンドブック 誠文堂發行 昭和一二 一九七二一〇
- 第七篇 模型飛行機の設計と作り方(船野雅一) 二八〇頁
- 第八篇 植物實驗と觀察の仕方(小野一夫) 二六八頁
- 第九篇 ラヂオの作り方と其の應用工作(古澤匡一郎) 三五四頁
- 工場ケガキ(算書)作業 (宮橋保治 昭和一二) 一九七二一〇
- 西洋家具様式通論 (田中邦次郎 昭和一二) 一九七二一〇
- 箆筒と鏡台 (榎本安五郎 昭和一二) 一九七二一〇
- 木材工藝法 (本間一男 昭和一二) 一九七二一〇
- 九七四 織物其他工業 (木村六助 昭和一二) 一九七二一〇
- 機械學 下巻 (六四頁) 昭和一二 一九七二一〇
- 明治染織經濟史 (六六七頁) 昭和一二 一九七二一〇
- 羊毛工業論 (深澤甲子男 昭和一二) 一九七二一〇
- 抄紙機械解説 (瀧田清藏 昭和一二改訂) 一九七二一〇
- 人絹、ステイアル、最近の進 帝國人造絹絲株式會社編
- ファイバー、バルブ、歩を語る (二三五頁) 昭和一二 一九七二一〇
- 人絹年鑑 昭和一二年版 (岩本裕吉 昭和一二) 一九七二一〇
- 世界纖維工業 (大日本紡績聯合會編 昭和一二) 一九七二一〇

- 支那古陶磁研究の手引 上田恭輔 昭和一二 一九七五五六
- 繪具染料商工史 (大阪繪具染料同業組合編 昭和一二) 一九七五二七
- アルミニウム 昭和一二年版 (藤澤吉 昭和一二) 一九七五二七
- 總覽年鑑 昭和一二年版 (二二二頁)(英文) 一九二頁
- 輕金屬及輕合金最近の進歩 (倉橋藤治郎 昭和一二) 一九七五二七
- 第一篇 總論(鈴木清生)
- 第二篇 本邦輕金屬資源(田中隆一郎)
- 第三篇 滿洲の輕金屬資源(三田正徳)
- 第四篇 マグネシウム精錬(今富祥一郎)
- 第五篇 マグネシウム及マグネシウム合金(石田四郎)
- 第六篇 マグネシウム及マグネシウム合金の防蝕(藤田安)
- 第七篇 アルミニウム精錬(高橋本枝)
- 第八篇 金剛アルミニウムの性質(堀口貞雄)
- 第九篇 アルミニウム精錬用合金(大谷文太郎)
- 第十篇 耐蝕性アルミニウム合金(五十嵐男)
- 第十一篇 アルミニウム精錬(宮田聰)
- 第十二篇 航空機用輕合金(高橋孝二)
- 電熱工業化學 (向山善夫 昭和一二) 一九七五二七
- (四〇六頁)(二四二頁)
- 電氣化學工業最近の進歩 (倉橋藤治郎 昭和一二) 一九七五二七
- 九七三 機械工藝、諸製造 (倉橋藤治郎 昭和一二) 一九七五二七
- 罐詰の二重巻締機械 (橋本常隆 昭和一二) 一九七五二七
- 新機械工業大辭典 (岩山鐵雄 昭和一二) 一九七五二七
- 實習ねぢの切り方 (阿部 憲、吉原鐵夫等 昭和一二) 一九七五二七
- 製鐵廠取回解工作法 上中下巻 飯野 香 昭和一二 一九七五二七
- 模型製作ニユーハンドブック 誠文堂發行 昭和一二 一九七五二七
- 第七篇 模型飛行機の設計と作り方(船野雅一) 二八〇頁
- 第八篇 植物實驗と觀察の仕方(小野一夫) 二六八頁
- 第九篇 ラヂオの作り方と其の應用工作(古澤匡一郎) 三五四頁
- 工場ケガキ(算書)作業 (宮橋保治 昭和一二) 一九七五二七
- 西洋家具様式通論 (田中邦次郎 昭和一二) 一九七五二七
- 箆筒と鏡台 (榎本安五郎 昭和一二) 一九七五二七
- 木材工藝法 (本間一男 昭和一二) 一九七五二七
- 九七四 織物其他工業 (木村六助 昭和一二) 一九七五二七
- 機械學 下巻 (六四頁) 昭和一二 一九七五二七
- 明治染織經濟史 (六六七頁) 昭和一二 一九七五二七
- 羊毛工業論 (深澤甲子男 昭和一二) 一九七五二七
- 抄紙機械解説 (瀧田清藏 昭和一二改訂) 一九七五二七
- 人絹、ステイアル、最近の進 帝國人造絹絲株式會社編
- ファイバー、バルブ、歩を語る (二三五頁) 昭和一二 一九七五二七
- 人絹年鑑 昭和一二年版 (岩本裕吉 昭和一二) 一九七五二七
- 世界纖維工業 (大日本紡績聯合會編 昭和一二) 一九七五二七

日本紙業綜覧 昭和一 王子製紙株式会社編 昭和一二 二年版 (一〇九七頁寫真三三七枚)

九八〇 商業

商學提要 (三〇七頁) 昭和一二
商業經營指導講座 (四〇九頁) 昭和一二
商業經營論 (四〇九頁) 昭和一二

商店經營全集 トランシ社發行 昭和一二
第二卷 商品仕入の理論と實際 西下貞次 (三三〇頁)

商人經 (上野陽一) 昭和一二 (三〇七頁)

小賣店繁榮商略秘訣 (大塚政盛) 昭和一二 (四二四頁)

この呼吸でゆけ小賣店經營 河野才次郎 昭和一二 (三〇〇頁)

素人の店頭學 (相馬愛藏) 昭和一二 (四二二頁)

トコモ儲かる商賣秘訣 山下實治 昭和一二 (二九八頁)

配給理論 向井海次 昭和一二 (五五九頁)

販賣經營論 (鈴木保良) 昭和一二 (二七二頁)

百貨店論 (水野祐吉) 昭和一二 (四六四頁)

良店員になるまで (井原純) 昭和一二 (二〇八頁)

一〇九七五—二五

冊 分類 叢書

一〇九八一—二七

一〇九八一—二六

一〇九八一—二六

一〇九八一—二五

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

一〇九八〇—一七

九八一 商品

表解商品學の知識 同文館編輯部編 昭和一二 (四一八頁)

商品讀本 (三四〇頁) 昭和一二

九八二 廣告法、裝飾法

廣告研究 (光永眞三) 昭和一二 (一七六頁)

商業美術講座 濱田增治 昭和一二 (一七六頁)

第一卷 入門篇 (一九九頁) 第二卷 基礎篇 (一一二頁) 第三卷 平面篇 (一九九頁) 第四卷 立體篇 (七三三頁)

新時代の廣告文學 市山盛雄 昭和一二 (三三〇頁)

新聞廣告總覽 昭和一二 新聞廣告獎勵會編 (一七九頁) 昭和一二

九八四 銀行、會社

支那銀行論 (支、吳承緒著 王木英夫譯) 昭和一二 (二八七頁)

日本勸業銀行四十年志 (後藤幸雄編) 昭和一二 (四三五頁) 昭和一二

新會社實務の手引 (前納悦三) 昭和一二 (五九八頁)

ボケ會社職員錄 (石山哲男) 昭和一二 (八八二頁)

新法會社設立案内 (伊藤謙之助) 昭和一二 (九二四頁)

株主總會決議無効論 (西本寛一) 昭和一二 (二八〇頁)

株主總會の研究 (西村鐵也) 昭和一二 (三四九頁)

ダイヤモンド實務知識 (石山哲男) 昭和一二 (四八八頁)

冊 分類 叢書

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

九八七 貿易

國際貿易論 上卷 岡、G・H・ハラウ著 昭和一二 (松井清、岡倉伯士共譯) (三四一頁)

最近世界貿易概観 (國際聯盟事務局編) 昭和一二 (一八八頁)

九八九 會計學、簿記學

表解銀行簿記の知識 同文館編輯部編 昭和一二 (二五七頁)

工業簿記の研究 (山邊六郎) 昭和一二 (三三四頁)

工業簿記の知識 (池田壽太郎) 昭和一二 (三三四頁)

商業組合簿記精説 (青山金一郎) 昭和一二 (三三二頁)

易い新式商業簿記 (竹田正巳) 昭和一二 (二二二頁)

評價問題研究 (日本會計學會編) 昭和一二 (日本會計學會創立二十周年紀念論文集) 第一卷評價論 (二五—一頁)

評價序論 (吉田良三)

貸借對照表學說と評價論 (三邊金藏)

原價主義に關する一考察 (黒澤清)

時價主義の發展 (木村和三郎)

原價及び時價對照表の分析的觀察 (岩田巖)

貨幣價値の再認識と財産評價論の本質 (金子利八)

貨幣價値の變動と評價 (高瀬莊太郎)

増價論 (長谷川安兵衛)

自己金庫と評價 (杉本秋男)

資産評價法論序説 (岡田誠一)

評價學說の相對的眞實性及び階層性 (平井泰太郎)

商品の評價 (村瀬玄)

有價證券の評價 (橋本良平)

價權及び債務の評價 (原口亮平)

固定資産評價 (太田哲三)

減價消却 (林健二)

冊 分類 叢書

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

一〇九八一—三三

改ダイヤモンド實務知識 石山哲男 昭和一二 (六二二頁) 二〇版
日本窒素肥料事業大觀 山下登美雄編 昭和一二 (四版共六八頁)
滿洲市場株式会社二十年史 香取眞直 昭和一二 (四九二頁)
南滿洲鐵道株式会社三十年史 (松本豊三) 昭和一二 (七三三頁) 昭和一二

英國に於けるユニット (金融研究會) 昭和一二 (一七四頁)

九八五 取引所、株式、米相場

株式社債年鑑 昭和一二 山一證券株式會社編 (九八五頁) 昭和一二

株式年鑑 昭和一二 大阪府商店調査部編 (九八五頁) 昭和一二

株式賣買と株價觀測の知識 久保田正之 昭和一二 (三三三頁)

時局に關ふ事業株 (大阪府商店調査部編) 昭和一二 (一四〇頁)

躍の研究 (大野勇) 昭和一二 (二九七頁)

相場野線講義録 松島延之 昭和一二 (三四七頁)

第四卷 星足篇、棒足篇、段足篇、綜合觀測篇
第五卷 棒足篇、釣足篇、星足篇、綜合觀測篇

相場と信念の書 緒方勝次 昭和一二 (三〇八頁)

取引所論 (藤田敬太郎) 昭和一二 (三五二頁) (經濟學大系第八卷)

九八六 倉庫

購買管理及倉庫管理 (上野陽一) 昭和一二 (三四四頁)

日本倉庫史 (松本清) 昭和一二 (二二二頁)

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

一〇九八三—三三

無形資産の評価(陶山誠太郎)
 合理局財産評價問題批評(青木倫太郎)
 利益金の評價問題(東興五郎)
 税法上の評價問題(船田勇)
 損害保険未経過責任の評價法を論ず(渡邊義雄)

第三卷

評價學研究(三〇一頁)
 カウチマンの評價論(田中藤一郎)
 ハットフィールドの評價論(丹波康太郎)
 ケスターの評價論(沼田嘉穂)
 ベイトンの評價論(田島四郎)
 スキーニーの安定論(橋本誠)
 メレロウイツチの評價論(古川榮一)
 コフエローの評價論(小菅敏郎)
 オスベールの評價論(久保田晋二)
 シュマイレンバツハの評價論(土岐政藏)
 シュミット評價理論(山下勝治)

簿記學 山口亮平 昭和一二
 簿記精説 片野一郎 昭和一二

九九〇 交通、通信

交通文化物語 三井高陽 昭和一二
 朝鮮の通信事業 昭和一二年版 朝鮮總督府通信局編
 遞信官吏職員任官就職立身法 其輪香村編 昭和一二
 遞信講習所 入學試験問題 其輪香村編 昭和一一
 機軸解答集 (一) 四頁
 パス事業營業統計報告書の作り方 竹島賢十郎 昭和一二

- 一〇九一—三
- 一〇九二—六
- 冊 分類 叢書
- 一〇九三—四
- 一〇九四—二
- 一〇九五—六
- 一〇九六—四〇
- 一〇九七—四二

九九一 史 傳

日本交通史話 編加藤 昭和一二
 日本乗合自動車協會十年史 小川肇四郎 昭和一二
 昭和輸出入貨物取引港別又ハ國別(内務省土木局港灣課編) 昭和一二

- 冊 分類 叢書
- 一〇九八—九
- 一〇九九—二〇
- 冊 分類 叢書
- 一一〇〇—三五

九九二 海 運

危険性貨物要覽 神戸包裝協會編 昭和一二
 朝鮮鐵道史 第一卷(創始時代) 同史編纂委員會編
 鐵道員採用試験問題集 其輪香村編 昭和一一
 鐵道員採用試験讀本 鐵道受驗社編 昭和一二

- 冊 分類 叢書
- 一一〇一—七
- 一一〇二—八
- 一一〇三—七
- 一一〇四—七
- 一一〇五—七
- 一一〇六—七
- 一一〇七—七
- 一一〇八—七
- 一一〇九—七
- 一一一〇—七
- 一一一一—七
- 一一一二—七
- 一一一三—七
- 一一一四—七
- 一一一五—七
- 一一一六—七
- 一一一七—七
- 一一一八—七
- 一一一九—七
- 一一二〇—七
- 一一二一—七
- 一一二二—七
- 一一二三—七
- 一一二四—七
- 一一二五—七
- 一一二六—七
- 一一二七—七
- 一一二八—七
- 一一二九—七
- 一一三〇—七
- 一一三一—七
- 一一三二—七
- 一一三三—七
- 一一三四—七
- 一一三五—七
- 一一三六—七
- 一一三七—七
- 一一三八—七
- 一一三九—七
- 一一四〇—七
- 一一四一—七
- 一一四二—七
- 一一四三—七
- 一一四四—七
- 一一四五—七
- 一一四六—七
- 一一四七—七
- 一一四八—七
- 一一四九—七
- 一一五〇—七
- 一一五一—七
- 一一五二—七
- 一一五三—七
- 一一五四—七
- 一一五五—七
- 一一五六—七
- 一一五七—七
- 一一五八—七
- 一一五九—七
- 一一六〇—七
- 一一六一—七
- 一一六二—七
- 一一六三—七
- 一一六四—七
- 一一六五—七
- 一一六六—七
- 一一六七—七
- 一一六八—七
- 一一六九—七
- 一一七〇—七
- 一一七一—七
- 一一七二—七
- 一一七三—七
- 一一七四—七
- 一一七五—七
- 一一七六—七
- 一一七七—七
- 一一七八—七
- 一一七九—七
- 一一八〇—七
- 一一八一—七
- 一一八二—七
- 一一八三—七
- 一一八四—七
- 一一八五—七
- 一一八六—七
- 一一八七—七
- 一一八八—七
- 一一八九—七
- 一一九〇—七
- 一一九一—七
- 一一九二—七
- 一一九三—七
- 一一九四—七
- 一一九五—七
- 一一九六—七
- 一一九七—七
- 一一九八—七
- 一一九九—七
- 一二〇〇—七

鐵道工場見習工採用受驗案内 同指導會編 昭和一二
 鐵道公用文範 青木清一、横川四郎 昭和一二
 保安裝置精義 上、下巻 小川利一 昭和一二
 改鐵道の知識 酒井淳三 上二二頁下三三二頁
 正鐵道の知識 (三六一頁) 昭和一二 一一版

- 冊 分類 叢書
- 一一二一—二

九九三 鐵 道

外國電信實務讀本 瀧澤健吉 昭和一二

- 冊 分類 叢書
- 一一二二—三

福岡縣立圖書館和漢圖書增加目錄

(自昭和十二年四月至同十三年三月)

終

昭和十四年二月十八日印刷
 昭和十四年二月二十三日發行

福岡縣立圖書館

印刷者 吉 永 駒 吉
 福岡市荒戸村

印刷所 福岡印刷株式會社
 福岡市上名島町五十三番地

電話西(〇)六二番
 (五)一五〇番

317
984

317
984

終